



ライオンズクラブ国際協会331-B地区

2025-2026年度

第三回キャビネット会議要録



日時：2026年2月7日（土）
リモート ZOOM 会議



2025-2026 ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

釧路キャビネット

国際会長

L. A. P. シン

Arvinder Pal Shin

国際テーマ

【We Serve (われわれは奉仕する)】

国際会長メッセージ

【Lead to Serve, Serve to Lead.】

(リーダーシップこそ奉仕、
奉仕こそリーダーシップ。)

地区ガバナー

L. 大島 尚久

地区ガバナースローガン

【 豊かな地域づくりに獅子奮迅 】

◆釧路キャビネットピンバッヂ ◆ コンセプト



釧路川に架かるぬさまい橋から、港を臨むと世界三大夕日が見るものを圧倒し、目を移すと漁船が満を持して出港しようとしています。大漁でありますように！

さあ釧路キャビネットも ^{もやい} 船を解いていよいよ出航です。

第三回キャビネット会議次第

司会	運営委員長 L. 大森 一道	おおもり かずみちよ
1 開会宣言並びに開会ゴング	地区ガバナー L. 大島 尚久	おおしま なおひさ
2 出席者の紹介	運営委員長 L. 大森 一道	おおもり かずみちよ
3 物故会員への黙祷	運営委員長 L. 大森 一道	おおもり かずみちよ
4 地区ガバナー挨拶	地区ガバナー L. 大島 尚久	おおしま なおひさ
5 副地区ガバナー挨拶	第一副地区ガバナー L. 広瀬 寛人	ひろせ ひろと やなぎさわ ゆたか
	第二副地区ガバナー L. 柳澤 豊	やなぎさわ ゆたか
6 キャビネット報告		
報告第1号 :複合地区各種会議	CAB幹事 L. 木村 宏幸	きむら ひろゆき
報告第2号 :会員並びにクラブ活動状況報告集計表他	CAB幹事 L. 木村 宏幸	きむら ひろゆき
報告第3号 :331-B地区 LCIF交付金 使用状況中間報告	CAB幹事 L. 木村 宏幸	きむら ひろゆき
報告第4号 :緊急援助資金の活用について	CAB幹事 L. 木村 宏幸	きむら ひろゆき
7 審議事項		
議長就任	地区ガバナー L. 大島 尚久	おおしま なおひさ
議案第1号 :次期地区ガバナー立候補者届出	CAB幹事 L. 木村 宏幸	きむら ひろゆき
議案第2号 :次期第一副地区ガバナー立候補者届出	CAB幹事 L. 木村 宏幸	きむら ひろゆき
議案第3号 :次期第二副地区ガバナー立候補者届出	CAB幹事 L. 木村 宏幸	きむら ひろゆき
議案第4号 :331-B地区会計収支中間報告書	CAB会計 L. 大津 幸三	おおつ こうぞう
議案第5号 :331-B地区会計中間監査報告書	地区会計監査委員 L. 小野 哲也	おの の てつや
議案第6号 :地区年次大会における決算審議に関する件について	CAB会計 L. 大津 幸三	おおつ こうぞう
議案第7号 :献血運動推進費に関する件について	CAB会計 L. 木村 宏幸	きむら ひろゆき
議案第8号 :地区費等徵収金額の件について	CAB会計 L. 大津 幸三	おおつ こうぞう
議案第9号 :331-B地区緊急援助資金規則に基づく資金の補充について	CAB会計 L. 大津 幸三	おおつ こうぞう
議案第10号 :第72回地区年次大会組織表(案)	地区大会委員会委員長 L. 高瀬 力	たかせ つとむ
議案第11号 :第72回地区年次大会委員長アワード(案)	地区大会委員会委員長 L. 高瀬 力	たかせ つとむ
議案第12号 :第72回地区年次大会代議員総会プログラム(案)	CAB幹事 L. 木村 宏幸	きむら ひろゆき
議案第13号 :第72回地区年次大会代議員総会運営委員会構成(案)	CAB幹事 L. 木村 宏幸	きむら ひろゆき
議案第14号 :第72回地区年次大会決議委員会・分科会構成(案)	CAB幹事 L. 木村 宏幸	きむら ひろゆき
議案第15号 :第72回地区年次大会代議員推薦名簿(案)	CAB幹事 L. 木村 宏幸	きむら ひろゆき
議案第16号 :防災準備交付金申請書	CAB幹事 L. 木村 宏幸	きむら ひろゆき
提出議案 :地区内クラブより提出議案	CAB幹事 L. 木村 宏幸	きむら ひろゆき
8 地区GMTコーディネーター報告	L. 矢吹 定夫	やぶき さだお
9 地区GETコーディネーター報告	L. 村山 肇	むらやま あきら
10 地区GLTコーディネーター報告	L. 小路 泰孝	しょうじ たいこう
11 地区GSTコーディネーター報告	L. 櫻井 正人	さくらい まさと
12 地区LCIFコーディネーター報告	L. 坂本 肇	さかもと ひし
13 地区WYPTコーディネーター報告	L. 熊谷 一行	くまがい かずゆき
14 各委員会報告		
長期計画リサーチ委員会	委員長 L. 伊東 隆志	いとう たかし
地区大会委員会	委員長 L. 高瀬 力	たかせ つとむ
会則・コンプライアンス委員会	委員長 L. 高橋 哲也	たかはし てつや
国際大会・国際協調・LCIF委員会	委員長 L. 石田 健太郎	いしだ けんたろう
献血・献血・薬物防止委員会	委員長 L. 斎藤 修嗣	さいとう しゅうし
レオ・青少年委員会	委員長 L. 藤井 芳和	ふじい よしかず
YCE委員会	委員長 L. 小野寺 一史	おのでら かずし
M・IT委員会	委員長 L. 棚田 欣也	たなべ きんや
オセアルフォーラム特別委員会	委員長 L. 杉本 隆英	すぎもと たかひで
平和ポスターコンテスト委員会	委員長 L. 吉岡 幸二	よしおか こうじ
アラート委員会	委員長 L. 浅野 敬一	あさの けいいち
公益財団法人 日本ライオンズ特別委員会	委員長 L. 柳澤 豊	やなぎさわ ゆたか
献血運動推進委員会	委員長 L. 大島 尚久	おおしま なおひさ
15 質疑及びその他		
16 参考資料 : 2025-2026 331-B地区献血運動推進費積立金運用規程		146頁
	: 2026- 新しいシェアリング交付金 寄付レベルの枠組みについて	147頁
17 閉会宣言並びに閉会ゴング	地区ガバナー L. 大島 尚久	おおしま なおひさ

第三回キャビネット会議出席者名簿

キャビネット構成員(投票権を有す)			
	役 職	氏 名	出欠
1	地区ガバナー	L. おおしま なおりさ 大島 尚久	○
2	第一副地区ガバナー 地区LCIF副コーディネーター 長期計画リサーチ副委員長	L. ひろせ ひろと 広瀬 寛人	○
3	第二副地区ガバナー 長期計画リサーチ副委員長 公益財団法人日本ライオンズ 特別委員会委員長	L. やなぎさわ ゆたか 柳澤 豊	○
4	前地区ガバナー 地区名譽顧問 長期計画リサーチ委員長	L. いとう たかし 伊東 隆志	○
5	地区名譽顧問会議長 長期計画リサーチ委員長	L. なかや 中谷 宣巨	○
6	キャビネット幹事(全般) 長期計画リサーチ委員長	L. きむら ひろゆき 木村 宏幸	○
7	キャビネット会計(広報)	L. おおつ こうぞう 大津 幸三	○
8	地区GMT コーディネーター	L. やぶき さだお 矢吹 定夫	○
9	地区GET コーディネーター	L. むらやま あきら 村山 聰	○
10	地区GLTコーディネーター 長期計画リサーチ委員長 公益財団法人日本ライオンズ 特別委員会副委員長	L. しょうじ 小路 泰孝	○
11	地区GST コーディネーター	L. さくらい 櫻井 正人	○
12	地区LCIF コーディネーター	L. さかもと ひとし 坂本 斎	○
13	地区WYPT コーディネーター	L. きのした ひろゆき 木下 裕幸	○
14	第1R第1Z ゾーン・シェアーバーソン	L. わたべ こうじ 渡部 候司	○
15	第1R第2Z ゾーン・シェアーバーソン	L. はせがわ まつみ 長谷川 松美	○
16	第2R第1Z ゾーン・シェアーバーソン	L. きとう としひろ 佐藤 利博	○
17	第2R第2Z ゾーン・シェアーバーソン	L. たなか かおり 田中 香織	○
18	第3R第1Z ゾーン・シェアーバーソン	L. おおくま ひでゆき 大熊 秀之	○
19	第4R第1Z ゾーン・シェアーバーソン	L. はしちと しゃうじ 橋本 修司	○
20	第4R第2Z ゾーン・シェアーバーソン	L. ささ きたかひろ 佐々木 隆博	○
21	第4R第3Z ゾーン・シェアーバーソン	L. おかや しげつ 岡谷 繁勝	○
22	第5R第1Z ゾーン・シェアーバーソン 第5R 地区MIT・YCE委員長	L. かんとう まさひろ 関東 正浩	○
23	第5R第2Z ゾーン・シェアーバーソン	L. いとう みつたか 伊藤 光隆	○
24	地区大会委員長	L. たかせ つとむ 高瀬 力	○
25	会則・コンプライアンス 委員長	L. たかし てつや 高橋 哲也	○
26	国際大会・国際協調・ LCIF委員長	L. いしだけんたろう 石田健太郎	○
27	献血・献眼・薬物防止 委員長	L. さいとう しゃうじ 斎藤 修嗣	○
28	レオ・青少年委員長	L. ふじい よしかず 藤井 芳和	○
29	YCE委員長	L. おのでら かずし 小野寺一史	○
30	M・IT委員長	L. うめだ きんや 楠田 欣也	○
31	オセアルフォーラム 特別委員長	L. すぎもと たかひで 杉本 隆英	○
32	平和ボスター・コンテスト 委員長	L. よしおか こうじ 吉岡 幸二	○
33	アラート委員長	L. あさの けいいち 浅野 敬一	○

33名のうち、欠席 0名

キャビネット地区委員			
	役 職	氏 名	出欠
1	(職務代行)第3R第2Z ゾーン・シェアーバーソン	L. かがわ としお 香川 俊雄	○
2	地区GMT 副コーディネーター	L. おおた よしひろ 太田 好啓	○
3	地区GET 副コーディネーター	L. いしだ そうがん 石田十羽完	○
4	地区GLT 副コーディネーター	L. うめだ みき 梅田 三樹	○
5	地区GST 副コーディネーター	L. かわひと まさかず 川人 正和	○
6	地区WYPT 副コーディネーター	L. くまがい かずゆき 熊谷 一歩	○
7	地区大会事務局長	L. ふるや たつひこ 古谷 龍彦	×
8	地区大会事務局次長	L. あおき ひでのみ 秀史	○
9	地区大会事務局次長	L. あべ まさかず 阿部 将和	×
10	会則・コンプライアンス 副委員長	L. にしげ さとし 西池 聰	○
11	国際大会・国際協調・ LCIF 副委員長	L. ささ きりょうきら 佐々木 良吉	○
12	献血・献眼・薬物防止 副委員長	L. みやきた こうえつ 宮北 晃悦	○
13	レオ・青少年副委員長	L. せいの 清野 芳明	○
14	YCE副委員長 アラート副委員長	L. さとう ひでかず 佐藤 豪一	○
15	M・IT副委員長	L. ふなやま かずひろ 舟山 和宏	○
16	M・IT副委員長	L. ばば ひでき 馬場 英樹	○
17	オセアルフォーラム 特別副委員長	L. しまじ こうじ 島 孝治	×
18	オセアルフォーラム 特別副委員長	L. さとう くにひこ 佐藤 邦彦	○
19	オセアルフォーラム 特別副委員長	L. てらなか まさたけ 寺中 賢武	×
20	平和ボスター・コンテスト 副委員長	L. まつなみ まさゆき 松並 正幸	○
21	第1R 地区MIT・YCE委員	L. まつざき まさゆき 松崎 正幸	○
22	第2R 地区MIT・YCE委員	L. きたはし ひろし 北橋 完	○
23	第3R 地区MIT・YCE委員	L. かとう れいいち 加藤 礼市	○
24	第4R 地区MIT・YCE委員	L. ひがしはら よしゆき 東原 義幸	○
25	第2R・第2Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. はやかわ なおひさ 早川 直久	×
26	第3R・第1Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. まつもと みづのぶ 松本 光伸	○
27	第3R・第2Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. なかはら ひろゆき 中原 弘之	○
28	第4R・第1Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. まつだ はじめ 松田 肇	×
29	第4R・第2Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. みやじま みづぐ 宮島 貢	○
30	第4R・第3Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. まつもと たかゆき 松本 孝幸	○
31	第5R・第1Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. ためひろ ひろし 為広 裕司	×
32	第5R・第2Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. いいだ まもる 飯田 守	○
33	長期計画リサーチ委員	L. にのみや ゆういち 二宮 雄一	×
34	長期計画リサーチ委員	L. まとう けんじ 佐藤 健治	○
35	長期計画リサーチ委員	L. いしむら よしゆき 石邑 義幸	○
36	地区会計監査委員	L. さびしろ やすひと 淋代 靖人	×
37	地区会計監査委員	L. おのの てつや 小野 哲也	○

キャビネット会議総出席数73名

地区委員47名うち欠席 10名

出席要請 80名うち欠席10名

事務局

事務局長	L. たけだ ただし 武田 真使	○
事務局員	さとう けいこ 佐藤 祐雅子	○
事務局員	わかつき きよみ 若月 聖美	○

物 故 会 員

(2025年10月16日～2026年1月15日迄の物故者名)

獅子の魂は永遠に

獅子の肉体は滅びても培われた魂は滅びず、永く世に貢献する。北の大地で志を半ばにしてご逝去された、我が同士の雄姿を忘れるることは決してなく、獅子の栄誉は永遠に銘記されていく。故人に寄せる想いは去りがたく331-B地区会員一同謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

2025年11月23日	L. 船迫 郷子	72歳	(帯広さくらLC)
2025年12月 1日	L. 藤井 茂男	67歳	(旭川クリスタルLC)
2025年12月 6日	L. 田中 金藏	89歳	(白滝LC)
2025年12月14日	L. 佐藤 紀寿	54歳	(標茶LC)
2026年 1月 6日	L. 深井 信朗	90歳	(歌登LC)
2026年 1月 6日	L. 太田 武憲	81歳	(釧路LC)
2026年 1月 7日	L. 蝦名 大也	68歳	(釧路ゆうやけLC)

**地区ガバナー挨拶
副地区ガバナー挨拶**



地区ガバナー挨拶

L. 大島 尚久

第3回キャビネット会議に参加いただきありがとうございます。

今回はZOOM会議のため若干コミュニケーションが取りにくく、理解が難しくなる可能性があるということで、委員会によっては事前の会議を持っていただき却って時間的な拘束が長くなってしまい申し訳ありません。

さて現在2月のはじめということで釧路キャビネットも佳境を過ぎ、まとめに入る時期となってまいりました。M1.5につきましては何とか新クラブ、新支部結成が出来るかどうかの正念場を迎え、村山コーディネーター、矢吹コーディネーターには負担をかけてしまっておりますが引き続き宜しくお願ひします

また小路コーディネーターには、濱野元国際理事の講演会の準備をしていただいておりますが、大いに期待できる内容ですので楽しみしております。

LCIFコーディネーターの坂本ライオンには、昨年努力して頂き目標達成が見えてまいりましたことに対し感謝申し上げます。またゾーン・チェアパーソンと今回LCIFの委員になっていただいたゾーン委員の皆様にも改めて感謝申し上げます。

GST桜井コーディネーター、WYPT木下コーディネーターには引き続き事業推進をお願いいたします。

ゾーン・チェアパーソンの皆さまには第3回の諮問委員会開催をお願いしておりますが、必ず今回のキャビネット会議の報告を会員の皆さまに伝えていただくようお願ひいたします。

審議事項の中に防災準備交付金等の重要な議決事項もありますので宜しくお願ひいたします。

年次大会も順調に準備が進んでおりますので、皆さん期待して頂き、多くの会員の皆様の参加をお願いいたします。

残りの任期が少なくなってまいりましたが、キャビネットの方針や最初に提出していただいた行動計画に沿って、任期終了まで引き続きどうぞ宜しくお願ひいたします。

第一副地区ガバナー挨拶

L. 広瀬 寛人

新年あけましておめでとうございます。新年ご挨拶をお借りして釧路キャビネットから富良野キャビネットへの移行スケジュールをお知らせ致します。

本年5月23日に釧路年次大会が開催され翌週には、富良野市で新三役・事務局員セミナーが予定されています。該当者には、大変お忙しい日程となり申し訳ありません。

例年7月下旬から8月上旬に開催される、第1回キャビネット会議ですが、富良野市の夏観光事情を勘案して、ZOOM開催に致します。

その為に三役・事務局員セミナーに併せて、ZC・各委員長にもお集まり頂き、第0回キャビネット会議的な要素を、取り込む予定しております。

大島ガバナー率いる釧路キャビネットが有終の美で終えられること（会員増強とLCIFの達成）と、富良野キャビネットのスムースなスタートが切れるよう、後半戦を全力で駆け抜けたいと決意をしております。皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

第二副地区ガバナー挨拶

L. 柳澤 豊

331-B地区内会員の皆様、本年も宜しくお願ひ申し上げます。

さて、釧路キャビネットも早くも上期の事業及び運営が終了され、大島ガバナー始めそれぞれの地域でのキャビネット役員皆様お疲れ様です。

また、日頃より釧路キャビネットの運営にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。私も第二副地区ガバナーとして現在日々努力しているところではあります。11月上旬からWEBでのセミナーを6回終了し、その後に、広瀬第一副地区ガバナーと仙台にて第一・二副地区合同セミナーに参加し、その後12月1・2日と名古屋において第二副地区ガバナー研修会に参加いたしました。どちらも内容が違い有意義な研修で、今後のライオンズ活動を含め、自分が現場でのステップとなる様々な研修内容がありました。また、他地区の皆さんとの様々なキャビネット運営なども参考になり、今後の一助になったと思います。

各キャビネット役員の皆様、そして地区内クラブの会員においては次期の準備も重なる時期に入って来ますが、それぞれのクラブ会長を筆頭に当初の目的を達成され、会員同志が益々楽しいクラブ運営を務めて頂きたくお願ひ申し上げます。

報告事項



(報告第1号)

複合地区各種会議

● 第62回O S E A L フォーラム報告書	9 頁
● 一般社団法人日本ライオンズ	
◆ 理事会 議事録	
(2025. 9. 18) 第3回理事会議事要録	15 頁
(2025. 10. 31) 第4回理事会議事要録	22 頁
(2025. 11. 18) 第5回理事会議事要録	28 頁
(2025. 12. 8) 第6回理事会議事要録	34 頁
◆ 会則委員会 議事録	
(2025. 10. 8) 2025-2026 第2回会則委員会 (H B) 議事要録	38 頁
◆ 国際大会委員会 議事録	
(2025. 10. 1) 第3回WEB議事録	41 頁
(2025. 11. 25) 第4回WEB議事録	46 頁
(2025. 12. 10) 第5回WEB議事録	52 頁
◆ Y C E 委員会 議事録	
(2025. 10. 30) 2025-2026 第2回Y C E 委員会議事録	56 頁
(2025. 12. 4) 2025-2026 第3回Y C E 委員会 (WEB) 議事録	62 頁
◆ アラート委員会 議事録	
(2025. 11. 11) 2025-2026年度 第2回アラート委員会 (Web) 議事録	66 頁
● ライオン誌日本語版委員会	
(2025. 10. 7) 2025-2026 第2回会議 (ZOOM併用)議事録	68 頁
(2025. 11. 4) 2025-2026 第3回会議 (ZOOM)議事録	70 頁
(2025. 12. 4) 2025-2026 第4回会議 (ZOOM)議事録	72 頁

第 62 回東洋東南アジア・ライオンズフォーラム報告

(2025 年 10 月 23 日—26 日 日本・札幌)

一般社団法人日本ライオンズ
2025 年 10 月 31 日

1. フォーラム登録数 [10 月 25 日 17 時時点]

Dist.204	(グアム、北マリワナ諸島など)	27
MD300	(台湾)	850
MD301	(フィリピン)	254
Dist.303	(中国・香港、マカオ)	134
MD308・309	(シンガポール、マレーシア、ブルネイ)	144
MD310	(タイ)	102
MD330-337	(日本) * MD 別内訳不明	6940
MD354-356	(韓国)	1471
MD380-383		354
MD385-389	(中国・深圳、広東、大連、青島、北京、浙江、瀋陽、陝西)	
	(モンゴル)	16
その他	(米国、パキスタン、バングラデイシュ、インド、ブルネイ、イスラム、エクアドル、オーストラリア、コンゴ、スリランカ、ネパール、キプロス、レバノン・LCI ほか)	70
		10471

(名)

2. フォーラム決議

10/26 第 3 回議長と DG の会議で発表された決議案です。正式な決議については後日フォーラム委員会より発表予定です。

第 62 回東洋東南アジア・ライオンズフォーラム決議

(2025 年 10 月 23 日—26 日 日本 札幌)

・感謝決議 (プロトコル別に参加に対するお礼、省略)

・事務的決議 (第 3 回議長とガバナーの会議で発表)

- 日本の松岡勲元協議会議長 (335-C 地区・京都南ライオンズクラブ所属) を 2026-28 年度国際理事候補者として承認

2. 中国の林子钰 (Lin ZiYu) 元地区ガバナー (380 地区・深圳ライオンズクラブ所属) を 2026-28 年度国際理事候補者として承認
4. スイスの Carl Robert Rettby 元国際理事を国際第3副会長候補者として承認
5. 第 63 回 OSEAL フォーラム (2027 年 マレーシア・ペナン) FOC 委員長 Dato' Ooi Chao Syhuan 元協議会議長とフォーラム組織委員会へ感謝し、協力することを承認

◎各種会議等報告

10月 23 日 (木)

20:30-21:30 コーカスミーティング (非公式会議)

ジョンユル・チョイ元国際会長、山田實紘元国際会長、ワインクン・タム元国際会長が登壇され、会場には A.P.シン国際会長、ファブリシオ前国際会長、マーク S・ライオン国際第1副会長がお越しになりました。

タム元国際会長が会議を進行され、まずは OSEAL 会則地域からの 2026-28 年度*の国際役員候補者のエンドースメントが行われました。*国際会則第5条4項により 3 名

日本の松岡勲元協議会議長、中国の林子钰 (Lin ZiYu) 元地区ガバナーの 2 名がエンドースされました。国際理事候補者の残り 1 名については、韓国より輩出する予定であると発表があり、チョイ元国際会長より候補者の選定について補足説明がありました。

続いて、2026-27 国際第3副会長候補者として、スイスの Carl Robert Rettby 元国際理事をオセアル会則地域としてエンドースすることが決定された後、国際第3副会長候補者が 5 分、国際理事候補者は 3 分の挨拶を行いました。

最後に、OEC からの報告として 2027 年から今後 4 年間の国際理事候補者を輩出する国の割り当てについてタム元国際会長より説明がありました。

担当: 田崎

10月 24 日 (金)

8:00-9:00 第1回 協議会議長および地区ガバナーの会議

日本からは協議会議長 8 名・地区ガバナー 35 名全員が参加しました。

まずは FOC 委員長である鶴嶋浩二 LCIF 理事から歓迎の挨拶と開会宣言が行われ、A.P.シン国際会長をはじめとする国際役員の紹介と挨拶が行われました。LCIF 理事の紹介と挨拶については時間の都合により明日となりました。

フォーラムプログラム内容とフォーラムテーマが説明され、テーマである「共生と循環-未来の子供たちのために-」に併せ、MD331 では 12,000 本の植樹を行ったという報告がありました。

続いて、午後からの開会式の予定と、明日開催されるセミナーのスケジュール開催の予定が説明され、参加の呼びかけと、今回のフォーラムでは登録証の QR コードで参加者の管理を行うことの説明がありました。

タム元国際会長より、昨夜行われたコーカス会議の報告として、エンドースされた次期国際役員の候補者が紹介され、各候補者は一言挨拶を行いました。

日本ライオンズ発行<2025-26-C-08>
議案について、事前に上程された議案が無かったことが鶴嶋 FOC 委員長より報告されました。
担当:田崎

9:30-11:00 國際会長と地区ガバナーの会議

日本からは、ほぼすべての地区ガバナーが参加しました。
A.P.シン国際会長より、地区ガバナーをバスドライバーに例え、どこに向かうのかは地区ガバナーに責任があり、2025-26 年度のドライバーであるとお話をありました。
また、ミッション 1.5 については、組織をより強力なものにするために必要なものであり、会員増強には地区ガバナーの呼びかけがスタートであることを話されました。

若いメンバーを増やし新しいアイディアや活力を得ることの重要性や、異なるクラブが一緒に活動することでアイディアを共有し、お互いに学ぶ機会になると話されました。また、A.P.シン国際会長より、前回日本を訪れた際の地区ガバナー(当時の第 1 副地区ガバナー)の働きに対し、感謝が述べられました。

Q&A では、335-C 地区ガバナーの L 田端俊三より、リーダーシップの大切さと、クラブが基本であるという考えについての発言があり、A.P.シン国際会長も賛同されるとともに、クラブにおけるリーダーシップについてお話をしました。

また、335-B 地区ガバナーの L 笹部美千代より、地区ガバナーとクラブ会長の集まりを企画しているため、A.P.シン国際会長から正会員 20 名以下のクラブへメッセージが欲しいとの要望があり、快諾され、メールを送ってほしいとご案内されました。

担当:松本

13:00-15:30 開会式

大和ハウスプレミストドーム(札幌ドーム)で開催されました。
入場の際、進行上の都合により間が空きましたが、鶴嶋 FOC 委員長の開会宣言とゴングの後、札幌のインスタレーションが行われ、鶴嶋 FOC 委員長の歓迎挨拶の後、ホスト団代表として山田實紘元国際会長が挨拶を行いました。

鈴木直道北海道知事の代理として加納孝之副知事、秋元克広札幌市長がゲストとして登壇された後、A.P.シン国際会長がご挨拶され、ミッション 1.5 について日本をはじめ中国・韓国などアジア各国の言葉を引用しつつお話をされました。最後にミッション 1.5 を通じて共に強くなろう、成功には参加者一人一人のリーダーシップが必要である、フォーラムを成長の機会にしてほしいと呼びかけられました。

続いてミッション 1.5 関係の表彰が行われ、日本からは 334-D、336-C の地区ガバナーと GMT・GET コーディネーターが表彰されました。

担当:田崎

10月 25 日(土)

8:00-9:00 第2回 協議会議長および地区ガバナーの会議

日本からは協議会議長 8 名・地区ガバナー 35 名全員が参加しました
鶴嶋 FOC 委員長より開会式のお礼と、入場者数が 8,000 名を超えたという報告があり、その後、LCIF理事のご挨拶がありました。

現時点での登録数の確認後、第 63 回 OSEAL フォーラム(マレーシア・ペナン)委員長である、Dato' Ooi Chao Syhuan 元協議会議長より進捗報告が行われ、すでにWEB上で登録受付を開始しており日本語での案内も掲載されている旨、説明がありました。

続いて MD335 津田勝之議長より、大阪で 11 月 7 日から 9 日にかけて開催される第 6 回レオフォ

ーラムの進捗報告と登録へのお礼、参加の呼びかけがあり、335-B 笹部 美千代地区ガバナーより、海外のレオ 100 名を含む 400 名の登録をいただいているという補足報告がありました。

FOC からの決議事項が無いことが報告された後、自由討論の時間となり、昨日の開会式で中国・台湾からの参加者の間でトラブルが発生したことについて言及があり、両国の参加者がそれぞれの立場を主張しましたが、山田元国際会長が、「ライオンズは平和を旨としており、政治に関与すべきでなく、OSEAL も同様でありフォーラムは世界平和のための集会であること、ライオンズの力は政治的なものではなく LCIF への貢献といかに奉仕を行ったかが重要であり、暴力はライオンズとしてあるまじき行為である」と、ご発言されました。

田名部国際理事より、「OSEAL フォーラムのプログラムは学ぶことと成果を出すことに重点を置いて作成されており、フォーラムを通じて成功事例や奉仕の精神を共有するべきであり、皆さんのミッション 1.5 の成功例を話してほしい」と呼びかけがあり、呼びかけに応じた参加者よりミッション 1.5 や LCIF の成功事例報告がありました。

最後に、本日のスケジュール確認とセミナー参加への呼びかけ、公益財団法人日本ライオンズの事業であるフットサルエキシビションマッチ、ペットボトルキャップアートでワクチンの寄附とギネスへの挑戦を行っていることが紹介され、参加が呼びかけられました。

担当:田崎

9:30-10:30 第1副国際会長と第1副地区ガバナーの会議

濱島グループリーダーの下、日本より 34 名の第 1 副地区ガバナーが参加しました。

マーク S・ライオン国際第 1 副会長とジャスティン元国際理事が進行され、国際第 1 副会長より、インフォーマルに会議を進めていきたいとご発言がありました。

一番大切なことは「We Serve」であるとした上で、ミッション 1.5 への取り組みの重要性、特に女性や若い会員を増やしていくこと、気候変動や災害、食糧危機など LCIF を通じて世界が必要とする支援を行うこと、よりアクティブな奉仕や多様性の尊重などについてお話しされ、大変なこともありますが笑顔で、と呼びかけをされました。

2 月に行われるWEBセミナーや、7 月に開催される香港でのセミナーについての現時点での予定の説明も行われ、出席が前提であることと、楽しいセミナーにしますとお話しされました。

担当:田崎

9:30-10:30 国際会長とクラブ会長の会議

A.P.シン国際会長とサンギータ・ジャティア元国際理事が登壇し、講師を務められました。

若年会員や女性会員など、新しい会員の声に耳を傾けることの大切さや、子供たちがミーティングに参加する機会を作ることが家族全員でのサープにつながり、会員増強にも繋がることなどをお話しされました。

ライオンズメンバーが退会するのはクラブに原因があり、子供も含めたすべてのメンバーが快適に過ごし、楽しんでもらえる環境を作ることがクラブ会長の役割であるとお話しされました。

担当:松本

10:00-11:00 ゾーン・チェアパーソンセミナー

ゾーン・チェアパーソンセミナーは午前 10 時から 11 時まで 札幌コンベンションセンター の Room201・202 で行われ、GAT エリアリーダーの川島正行元国際理事(MD333)と識名安信元協議会

議長(MD337)、ライオンズ公認講師(LCIP)の渡辺博元地区ガバナー(333-E 地区)と加藤万寿夫地区 GLT エリアコーディネーター(334-B 地区)の4名が講師として行われました。開始前から立ち見が出るほどの盛況ぶりで、セミナーでは急速、追加席を用意して対応しました。前半はゾーン・チエアパーソンの役割や、成功するための秘訣などが共有され、国際協会のホームページ内の会員リソースセンターや地区及びクラブ健康診断レポートを活用するなど、参加者は多くの役に立つ情報を学びました。後半はグループディスカッション形式で行われ、グループ毎に今後の展望や改善点などを発表しました。セミナーの途中には、仁科良三国際理事と濱野雅司元国際理事が視察に来られ、熱い議論が交わされるグループディスカッションの様子に熱心に耳を傾けていました。

担当:吉田

11:00-12:00 マーケティングセミナー

ライオンズクラブ国際協会理事会アポインティで、MD308 協議会議長の L Potter Ka Kai Fong (マレーシア)が登壇し、講師を務められました。ライオンズを知つてもらうきっかけとなる SNS やソーシャルメディアの効果的な使い方を、クイズを交えてお話されました。セミナーの最後には、来年ペナンで開催される第 63 回 OSEAL フォーラム Facebook ページの紹介があり、その場で友達登録を行った参加者には、オリジナルピンが配布されました。

担当:松本

17:30-19:30 各国レセプション

日本の松岡勲元協議会議長、中国の林子钰(Lin ZiYu)元地区ガバナーの2名の国際理事候補者のレセプションが行われました。

担当:田崎

19:30-21:30 国際会長晚餐会

京王プラザホテル札幌にて開催されました。

食事の他、ステージパフォーマンスや写真撮影、表彰が行われました。

担当:田崎

10月 26 日(日)

8:00-9:00 第3回 協議会議長および地区ガバナーの会議

日本からは協議会議長全員と、多くの地区ガバナーが参加しました。

A.P.シン国際会長をはじめ、国際役員より挨拶が行われ、国別の登録者数が発表された後、前日の決議委員会で委員長を務めた MD331 諏訪昇三元協議会議長より、決議委員会報告が行われました。

鶴嶋FOC委員長が定数を確認した後(51名)、諏訪元協議会議長より出された動議にセコンドがつき、举手による投票の結果、賛成多数で決議が成立しました。

正式な決議文については、後日フォーラム委員会より送られる予定です。

その後の連絡事項では、MD336 山崎議長より学生会員の会費値下げについての質問があり、他国の参加者からは閉会式の時間について検討してほしいと発言がありました。

最後に山田實紘元国際会長より、今回の成功をきっかけとし、数年後に札幌へ国際大会を誘致したい、ぜひ OSEAL 一丸となり応援してほしい、と呼び掛けがありました。

担当:田崎

10:30-12:00 閉会式

本部ホテル・京王プラザホテル札幌2F エミネンスホールにて開催されました。

鶴嶋FOC委員長の挨拶の後、登録数が計 10,471 名である報告が行われ、政治的な対立を超えて平和を祈念するメッセージが伝えられました。

続いて Carl Robert Rettby 国際第 3 副会長候補者候補者、松岡勲国際理事候補者、林子钰 (Lin ZiYu) 国際理事候補者の挨拶の後、決議委員会からの報告と、鶴嶋FOC委員長からセミナー報告がありました。

その後、A.P.シン国際会長より 10/23 ゴルフ優勝者への表彰と、札幌コンベンションセンターで行われていたペットボトルアートが無事にギネス記録を達成した報告が行われ、OEC 委員長であるタム元国際会長に代わり、チョイ元国際会長が挨拶をされました。

マーク S・ライオン第一国際副会長、A.P.シン国際会長からの挨拶の後、フレンドシップバナーが各複合地区・地区・単一地区ごとに贈呈され、第 63 回フォーラム開催地であるマレーシア・ペナンの紹介の後、鶴嶋FOC委員長よりフォーラム旗が次年度 FOC 委員長である Dato' Ooi Chao Syhuan 元協議会議長へ手渡され、第 62 回札幌でのフォーラムは幕を閉じました。

担当:田崎

以上

(2025-26 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 25-26 年度第 3 回理事会 議事要録

◎日 時：2025 年 9 月 18 日(木)14:00-17:00

◎場 所：一般社団法人日本ライオンズ 会議室

◎出席者リスト

理事長	喜多 友一	(上田城南)
副理事長	諫訪 昇三	(札幌時計台)
副理事長	山崎 もとみ	(太田)
副理事長	廣田 晃一	(姫路中央)
専務理事	伊賀 保夫	(東京ピース)
常務理事	倉田 雅史	(小田原白梅)
常務理事	設楽 幸子	(札幌アカシヤ)
常務理事	車田 信彦	(玉川)
常務理事	水沼 孝夫	(真岡)
常務理事予定者	浜 一平	(岡谷)
常務理事予定者	津田 勝之	(大阪桜之宮)
常務理事	武永 健治郎	(都城きりしま)
理事	渡邊 俊弥	(仙台五城) 【WEB】
理事	佐藤 裕幸	(柏崎日本海)
理事	藤井 信英	(岡山みらい)
理事	濱田 浩平	(長崎南)
理事(前理事長)	松浦 淳一	(岩見沢はまなす) 【欠席】
理事(公益財団法人日本ライオンズ理事長)	小野寺 真悟	(札幌北の杜)
理事('25-27 国際理事)	仁科 良三	(長野みすず) 【WEB】
理事('25-27 国際理事)	田名部 智之	(八戸)
理事('25-26 LCIF 理事)	鶴嶋 浩二	(札幌中島) 【欠席】
監事(MD332 元議長)	下間 俊悦	(男鹿)
監事(MD333 元議長)	石橋 貞	(足利西)
監事(MD335 元議長)	小林 聰	(姫路広陵) 【欠席】
監事(MD337 元議長)	乗田 泰	(伊万里) 【WEB】

◎オブザーバー

法律顧問	池田 和司	(東京桜門) 【欠席】
会計顧問	吉田 宗一郎	(東京武蔵野)
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諫訪湖)
25-26 理事長事務局補佐	田中 俊彦	(上田城南)
25-26 理事長事務局補佐	小口 恒樹	(岡谷)

■議事録作成人の指名 :

MD337 武永常務理事、MD333 佐藤理事

■役員会議・委員会会議開催時の依頼 (喜多理事長) :

SDGs および経費削減、業務効率化の観点より、今後は以下の対応をお願いする

- ・飲食物は会場所定場所より各自が席に持参し、飲料水は飲み残しがあった場合、持ち帰る
- ・資料はメール配布 (データ) とし、各自持参とする (紙印刷もしくはデバイス持参)

◆議事**■審議事項****1. 第 62 回 OSEAL フォーラム札幌****【進捗確認】**

- ・9/17 現在の各地区登録数の確認を行った
 - ・50%以下の登録地区は、MD333、336、337、各議長からの進捗報告
 - ・公式サイト (Web) での登録申込締切は、10月9日 (開催 2 週間前)。それ以降は「現地=北海道庁旧本庁舎 (赤れんが庁舎)」にて登録となる。移動に時間を要するため、期限内の Web 登録を推進する (設楽 常務理事/F 副委員長)
- ▶伊賀専務理事より、ガバナー協議会前に締切が来る地区も多いため、各準地区ガバナーに直接呼びかけ、登録を進めていただきたいと申し合わせた

「国際会長歓迎晩餐会 (IPBQ)」【10/25(土)19:30~21:30@京王プラザホテル札幌】**(1)案内文 (案)**

- ・発信元は社団理事長と実行委員会との連名、宛先は議長宛てとする。ドレスコードを書き入れる
- ・締切は 10 月 6 日 (月) とする
- ・目標登録数は計 300 名で決定

【参考 : 割当数】

MD	330	331	332	333	334	335	336	337
人数	45	48	48	20	55	48	16	20

(目標計 300 名の場合 : 過去数参加人数%より割り出し)

- ・最終の席次は VIP(約 70 名)を外して、オセアルフォーラム札幌組織委員会と社団が作成する
- ・集金は、各MD→日本ライオンズとする ※詳細は追って通知

「ジャパンレセプション (JP レセプション)」【10/25(土)18:00~19:00@京王プラザホテル札幌】**(1)次第・役割分担 (案)**

- ・資料は松岡勲国際理事候補者支援委員会で作成する
- ・一般会員には案内しないことで決定

- ・約 300 人で検討
- ・議長からガバナーへの通達で、各MD、準地区にて人数を決めていただく
- ・スケジュールは、各種セミナー等の終了時間と、その後の IP バンケット開始時間および移動がありタイトとなるが、国際理事の協力を頂きながら行うことで決定（例年も同様、コンベンションセンターから車移動で 20 分をみている）

補足：同日開催日時

- ▽決議委員会 : 17:00～18:00
- ▽LCIF セミナー : 17:30～18:30
- ▽IPBQ : 19:30～21:30

►関わるセミナーが記載されたスケジュールは、追って社団に提供する

(設楽 常務理事/F 副委員長)

- ・VIP の顔写真と、名前のリストは社団で作成する
- ・この案件は引き続き執行理事会（10/6）で検討する

2. A.P.シン国際会長「公式訪問並びに歓迎晩餐会」

【10/26(日)15:00～／17:00～@京王プラザホテル札幌（閉会式後）】

(1) 案内文（案）

- ・締切は 10 月 6 日(月)で決定
- ・出席人数、割当は「第 2 回理事会（8/20）」承認通り

(2) 次第（案）〈日・英版〉

- ・次第案記載の各担当は会議内で申し合わされた
- ・社団が主管となる
- ・ドレスコードはビジネススタイル
- ・その他

閉会式終了が 12:00、13:00～14:30 で IP と議長の懇談会を調整中、国際会長のアテンドについても要検討

3. 8/4「第 1 回社員総会」動議決議についての文書（案）

- ・増澤事務長より説明
- ・キャンペーン名は、「ワン・プラス・ワンキャンペーン」で統一する
- ・通知には、別途上紙をつけ活動を激励する
- ・10 月初旬通知に向け再承認をとる

■協議事項

4. オリベイラ LCIF 理事長「公式訪問」進捗 〈9/22(月)-9/25(木)@名古屋〉

【9/24(水)10:00-会議、15:00-16:30 公式訪問、17:00-20:00 晩餐会】

- ・増澤事務長より説明
- ・式典、晩餐会のスケジュールを確認
- ・9月24日 議長との会食有り
- ・LCIF アワード贈呈については、OSEAL 調整事務局に確認(増澤事務長)
- ・記念品の贈呈は、\$3,000 とし、社団から LCIF 理事長へ 【全員承認】
- ・贈呈パネルの作成は、浜常務理事予定者に依頼
- ・公財)日本ライオンズの署名式について、LCIF が特定の財団とパートナーシップを結び交付金を出すことは名誉なこと。大きな事業であることをぜひ認識いただきたい

5. A.P.シン国際会長「公式訪問」日程【10/26～10/30 @札幌、東京、茨城・筑波】

- ・増澤事務長より説明
- ・スケジュールの確認
- ・10/27 「タウンホールミーティング」@TKP 新橋カンファレンスセンターは、OSEAL 調整事務局が担当、各準地区若手会員男女1名ずつが参加、懇親会あり。議長の参加依頼があるかは現時点では不明のため再確認する
- ・10/28 社団訪問の可能性有り
- ・帝国ホテル費用は、社団一般会計「国際協会関連費」より支出の予定

6. 「ミッション1.5女性特別チーム」(6名) ローカルプロトコール設定について

- ・国際プロトコールには無いが GAT チームの一員ということで理解していただきたい
- ・参考として、国際理事会方針書のプロトコールを確認

7. 「会則委員会」諮問案件事項

- (1) 国際理事候補者推薦における OSEAL 規約との調整 等
- (2) 「国際理事候補者資格審査委員会」と「国際理事候補者推薦委員会」の解釈
・総務人事委員会で案を作成し、執行理事会・理事会で諮る

8. 「第6回 OSEAL レオフォーラム大阪」登録案内

【11/7(金)～9(日)@関西エアポートワシントンホテル】

- ・津田常務理事予定者より説明
- ・まだ登録人数が少ないため、募集は延長とし登録を呼びかけた
※締切：宿泊有り参加は9/19(金)まで、宿泊無し参加は10/10(金)まで
- ・1日しか参加できない場合でも参加可能

9. 「第9回スペシャルオリンピックス2026東京(SO)」開催概要について

【2026年6/5(金)～7(日)、9/4(金)～6日(日)※26-27年度予定】

- ・増澤事務長より説明
- ・社団としてどう支援していくのかSO側と協議していくことで決定
- ・東京開催になるので見に行きやすい

その他

女性シンポジウムについて

- ・補助をしていただけないかと相談が来ている件
- ・「25-26ニューヴォイスシンポジウム申請書」を精査し、国際協会との協力体制を築いていく意味でも、社団から700,000円を助成することを決定
- ・これから作成する資料については社団の名前を入れていただき、理事長挨拶を予定いただく等を提案 **【承認】**

事務局員の守秘義務について

- ・増澤事務長より説明
- ・前理事会で内諾済みだったが、本会議にて全議長が揃ったので再確認
- ・各複合事務局・各地区キャビネット事務局に通知する事で決定 **【承認】**

OSEALフォーラム札幌 女性会員入会表彰

- ・設楽常務理事/F副委員長より説明
- ・OSEAL調整事務局から各複合を通じ、地区ガバナーへ通知済み
- ・10/5までに報告の女性会員入会クラブ会長には、表彰とGATトップの方との写真撮影の実施を準備中

■報告事項

10. 「各種集合会議出席者旅費補助規程」(最新版)確認

- ・増澤事務長より説明
- ・全員確認、質疑無し

11. 月次監査報告(7月)

- ・森田事務職員(経理)より説明
- ・8月月次監査は9/22(月)予定、来月会議にて報告予定
- ・全員確認、質疑無し

12. 「第5回理事会」@島根・出雲 開催について

- ・山崎もとみ副理事長より説明
- ・オンライン会議も設定予定

13. (公財)日本ライオンズ「第4回全国特別支援学校フットサル大会 東京大会」

【10/31(金)16:00～@ホテルヴィラフォンテーヌグランド東京有明】

(1) 開会式・懇親会概要と出欠確認

- ・伊賀専務理事より説明
- ・開・閉会式、懇親会会場が変更になった
- ・10月31日(金)理事会の開始時間は11:00、終了後移動することを確認

14. 各委員会報告

- ・(8/20) 第2回国際理事候補者資格審査委員会

諏訪副理事長報告

- ・(8/21) 第1回PRマーケティング委員会

廣田副理事長報告

- ・(8/25) 第1回YCE委員会_8/28配信

濱田理事報告

- ・(8/26) 第1回アラート委員会_9/9配信

藤井理事報告

- ・(9/2) 第2回国際大会委員会

伊賀専務理事報告

- ・(9/2) 第1回会則委員会

渡邊理事報告

-
- ・(8/20) 第2回理事会

- ・(9/1) 第2回執行理事会_9/12配信

■今後の予定

- ・ 10/1(水)10:00- 第3回国際大会委員会 (Web)
- ・ 10/6(月)13:30- 第3回執行理事会 (Web)
- ・ 10/7(火)14:30- 第2回ライオン誌委員会 (対面)
- ・ 10/8(水)14:00- 第2回会則委員会 (HB)
- ・ 10/30(木)PM 第2回YCE委員会 (対面)
- ・ 10/31(金)11:00- 第4回理事会 (対面)

以上

議事録作成人：

常務理事 武永 健治郎
理事 佐藤 裕幸

議事録署名人：

理事長 喜多 友一 【押印省略】
監事 下間 俊悦 【押印省略】
監事 石橋 貞 【押印省略】
監事 乗田 泰 【押印省略】

(2025-26 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 25-26 年度 第 4 回理事会議事要録

◎日 時：2025 年 10 月 31 日(金) 11:00-14:00

◎場 所：一般社団法人日本ライオンズ会議室(HB 開催)

出席者リスト

理事長	喜多 友一	(上田城南)
副理事長	諫訪 昇三	(札幌時計台)
副理事長	山崎 もとみ	(大田)
副理事長	廣田 晃一	(姫路中央)
専務理事	伊賀 保夫	(東京ピース)
常務理事	倉田 雅史	(小田原白梅)
常務理事	設楽 幸子	(札幌アカシヤ)
常務理事	車田 信彦	(玉川)
常務理事	水沼 孝夫	(真岡)
常務理事	武永 健治郎	(都城きりしま)
理事	渡邊 俊弥	(仙台五城)
理事	佐藤 裕幸	(柏崎日本海)
理事	藤井 信英	(岡山みらい)
理事	濱田 浩平	(長崎南)
理事 (前理事長)	松浦 淳一	(岩見沢はまなす) 【Web】
理事 (公益財団法人日本ライオンズ理事長)	小野寺 真悟	(札幌北の杜)
理事 ('25-27 国際理事)	仁科 良三	(長野みすゞ) 【Web】
理事 ('25-27 国際理事)	田名部 智之	(八戸) 【欠席】
理事 ('25-26 LCIF 理事)	鶴嶋 浩二	(札幌中島)
監事 (MD332 元議長)	下間 俊悦	(男鹿) 【欠席】
監事 (MD333 元議長)	石橋 貞	(足利西)
監事 (MD335 元議長)	小林 聰	(姫路広陵) 【欠席】
監事 (MD337 元議長)	乗田 泰	(伊万里) 【Web】

オブザーバー

常務理事予定者	浜 一平	(岡谷) 【欠席】
常務理事予定者	津田 勝之	(大阪桜之宮)
法律顧問	池田 和司	(東京桜門)
会計顧問	吉田 宗一郎	(東京武蔵野) 【Web】
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諫訪湖)
25-26 理事長事務局補佐	田中 俊彦	(上田城南) 【Web】
25-26 理事長事務局補佐	小口 恒樹	(岡谷)

◇出席者あいさつ

喜多理事長：オセアルフォーラムご参加ありがとうございます。本日の理事会でも多くの議事がありますのでよろしくお願ひします。

本日は、この後、公益財団法人日本ライオンズ全国フットサル大会開会式がありますので、地区の皆様に財団の活動を伝えられるようお願いいたします。

仁科国際理事：AP シン国際会長が無事に日本への滞在を終えられ、帰国されたことを報告された上で、オセアルフォーラム関係者に対してお礼を述べられました。

鶴嶋 LCIF 理事：オセアルフォーラム開催のお礼を含め、開催に関わった報告として予算の件や各トラブルの発生について、地元の経済効果のお話しをされ、札幌フォーラムは間違いなく成功であった、5 年に一度程度で日本での開催を行いたのでぜひ立候補してほしいと呼びかけを行われました。

小野寺公益財団理事長：フットサル事業の話に触れられ、最初は 70 数チームから始まり、今回は 138 チームになったことを報告されました。MD331・MD337 以外での公財についての周知が課題である点と、ライオンズはクラブが基本であるところから、公財についてまずはクラブへの浸透を目指したいとお話しされました。

松浦前理事長：自身の病気療養中の欠席を謝られ、2 ヶ月後位には対面参加できる事に触れ挨拶されました。

◇出席者確認：伊賀専務理事より書面記載による通り確認

◇議事録作成人の指名：伊賀専務理事より指名

倉田 雅史 常務理事, 設楽 幸子 常務理事

◇議事直前報告

第 3 回理事会で社団より 70 万円の支援を承認した「2025-26 年度ニューヴォイス・シンポジウム（全日本女性シンポジウム）」について、理事会で出た要望の通り、パンフレットに一般社団法人日本ライオンズ共催として掲載されることが伊賀専務より報告された。

◆第 3 回執行理事会からの審議事項

1. 各種セミナー支援

(1) キャンパスクラブカンファレンス【11 月 22 日(土)～23 日(日)】ウインクあいち開催

・伊賀専務理事より前回執行理事会で承認された、社団からの支援について説明。

キャンパスクラブメンバーの参加推進のため、45 万円を交通費補助として支援したい。

倉田常務理事より具体的な交通費金額について質問あり。

あくまで想定としての金額であると回答。またすでに案内が届いているはずであるので、各自確認をお願いする。

【挙手による採決の結果、賛成多数により承認】

2. 総務人事関係

(1)新入職員の承認

- ・増澤事務長より 2 名の新入職員が紹介される。拍手により承認。

(2)その他

- ・次回総務人事委員会開催日程の検討

増澤事務長より：近日中に委員会開催を行う予定である旨報告(日時は未定)あり。

- ・ダイナース法入カード申込について

増澤事務長より、社団としてダイナース法入カード発行の提案あり。

現在カード決済が必要な際は増澤事務長本人名義の個人カードを利用している事情説明あり。

- ・質疑、意見の交換：カードの管理者の問題（金庫内保管）、使用頻度（月に 1 度あるかないかの程度）、以前にライオン誌が使っていたカードで管理の問題があったため（現在は解約済み）、反対意見あり。必要がある場合は代表者(当該年度の理事長)のカードを使えば良いのではないか

【挙手による採決の結果、反対多数により却下】

今後のルールやオペレーションについては相談していく。

◆第 3 回執行理事会からの協議および事項

3. 第 62 回 OSEAL フォーラム（札幌）【10 月 23 日(木)–26 日(日)】振り返り

(1)日本ライオンズ作成 報告書案の確認

- ・次回までに各自確認いただき、内容に訂正などあればお知らせいただく。
- ・諏訪副理事長ならびに設楽常務理事よりフォーラム開催についての所感と、協力へのお礼が述べられた。

4. A.P.シン国際会長公式訪問振り返り

(1)日本ライオンズ負担費用案の確認

- ・増澤事務長より説明。まだ請求書などが揃っていないため、現時点での概要案が確認された。社団での負担の範囲や金額を決めておきたいと提案があり、理事長より飲食費は社団では負担できない旨の説明と、鶴嶋 LCIF 理事から今後は事前の打ち合わせが重要であると意見が出た。

(2)10/28 A.P.シン会長 一般社団法人日本ライオンズ事務所訪問の報告

- ・喜多理事長：大変有意義な時間であった。日本ライオンズや8複合の存在の意義について会長にお伝えし、他の国でも同様の組織があれば良いと言われたことを報告。
- ・伊賀専務理事より説明：APシン国際会長より、訪問の際にインドより Krishna Reddy 元国際理事を筆頭に、計 26 名のライオンが 2026 年 2 月 27 日(金)～3 月 9 日(月)の予定で来日したいと提案があった件を報告。まずは友好を深める目的で全国のアクティビティや例会の視察や参加を行い、将来的には姉妹クラブ、友好クラブとなることを希望されていると説明。
- ・費用の件や、今回来日されるクラブやメンバーについて詳細が知りたいと意見が出る。伊賀専務理事より、今回はまずは情報提供を行う目的であり、詳細についてはマーズ OSEAL 調整事務局長と相談すると発言。

5. 喜多理事長より下半期の改革案について

(1)次期議長の選任基準について

喜多理事長より資料に基づき説明：MD 議長は社団の 1 年目理事となる事を踏まえ、地区ガバナーとの兼任は避けていただきたい事を説明。

- ・資料に記載のある理事会欠席事項について、文書とすることは難しいが、紳士協定と考えてほしいと池田法律顧問からも意見があった。
- ・各 MD での議長選出基準について、各地区ローテーションでの選出は行わないでいただきたい旨、申し送りに書き入れてほしい。複合によりすでに廃止しているところもあると発言あり。

その他改革案について

・日本 GAT との連携

社団理事長として、ミッション 1.5 やキャンパスクラブへの取り組みを見据え、意見交換会を要望している最中である。松浦前理事長からも昨年度理事会内委員会に GAT 担当理事を配置した理由について 8 複合・準地区で ALL JAPAN での活動の指針を示すために、GAT 日本との提携が最も必要であると考えたためであり、今年度一年をかけて取り組んでいってほしいと発言。

さまざまな意見や質問、GAT の現状について話された後、議長より、地区からさまざまな GAT 日本への要望や疑問が出ている件について発言があったことを踏まえ、正しい方法で声を上げることが大切であると意見が出たことを受け、議長を通じて各準地区より GAT に対しての意見・質問を募集する案が出て、集約アンケート案を作成する。

・事務所内改革

IT改革として、パソコン関係はコストを比較の上、リースに変えていきたいことや、サーバー設置などの改革案が説明された。

GATとの協定などをはじめ、改革案は次回理事会(11/18)に引き続き協議を行う。

6. その他

・津田常務理事予定者より、11月7日(金) -9日(日) 大阪で開催される第6回レオフォーラムの事前報告と協力のお礼、イベントのドレスコードやフェローシップナイトでのプレゼント交換の予算など参加者へ向けての案内があった。現在登録数395名。

・設楽常務理事より質疑

・社団からMD事務局に対してコンプライアンスの書類が届いたが、今後のフォローについて質問あり。

書類の保管などを含め、案内文を作成して各MDに通知する事とする。

◇各種報告事項

7. 月次監査報告（8月）

・会計担当職員から報告。仁科国際理事より、数字の差異についてもう少し詳しく報告していただきたいと要望あり。

8. 委員会開催報告

・10/7（火）14:30-16:45 第2回ライオン誌日本語版委員会（対面）

廣田副理事長：ライオンズのPRも含め、一般の方にも広く分かるような誌面作りを目指している。今後は、委員がさらに積極的に取材を行っていきたい。

・10/8（水）15:30-17:00 第2回会則委員会（対面）

渡邊理事：役員必携とライオンズ必携と一緒にし、A4で発行するのはどうかと委員会で検討中であることと、同じく発行の目途についても検討中であることを報告。

・10/15（水）13:30-16:30 第1回クエスト・薬物乱用防止委員会（HB・2部制）

佐藤理事：2部制でライオンズクエストと薬物乱用防止委員会を行った。

今回は各地区現状報告を行い、2月ごろに対面会議を予定中。現状は地域差があるもののなるべく社団で主導していきたい。

仁科国際理事より、ライオンズクエストに関わった経験から、学校の先生方との連携をとつて進めていくよう意見が出された。

・10/30（木）第2回YCE委員会（対面）

濱田理事：冬季の派遣・受け入れの確認や、情報交換を行ったことを報告。YCE事業の今後については継続審議。

9. 今後の予定の確認

- ・11/1（土）第4回全国特別支援学校フットサル大会（東京）
- ・11/4（火）10:00-12:00 第3回ライオン誌委員会 WEB
- ・11/4（火）13:30-16:00 第4回執行理事会 WEB
- ・11/7(金)-11/9(日) 第6回 OSEAL レオフォーラム 2025 大阪
- ・11/11(火) 13:30-15:00 第2回アラート委員会 WEB
- ・11/14(金) 14:00-16:00 第2回 PR マーケティング委員会 WEB
- ・11/18(火) 14:00- 第5回理事会（出雲）

10. 講評

石橋監事並びに乗田監事に講評をいただいた。

- ・石橋監事より：フットサル大会には事情により参加ができず大変残念である。守秘義務文書についての報告と質問あり。
- ・乗田監事より：今回も白熱した議論が行われ、大変お疲れ様でした。
- ・喜多理事長の依頼により、伊賀専務理事より公益財団法人日本ライオンズの説明が行われた。まずは今日の開会式と明日の大会を見ていただき地区へ伝えてもらい、多くの方を巻き込んだ体制作りをお願いしたい。倉田常務理事からも本日の流れについて補足説明が行われた。

閉会の挨拶 諏訪副理事長

閉会宣言 伊賀専務理事より閉会宣言

以上

議事録作成人

常務理事 倉田 雅史

常務理事 設楽 幸子

議事録署名人

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 喜多 友一 【押印省略】

監事 石橋 貞 【押印省略】

監事 乗田 泰 【押印省略】

(2025-26 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 25-26 年度 第 5 回理事会議事要録

◎日 時：2025 年 11 月 18 日(金) 14:00-17:00

◎場 所：島根県出雲市「ツインリーブスホテル出雲」(HB 開催)

出席者リスト

理事長	喜多 友一	(上田城南)
副理事長	諫訪 昇三	(札幌時計台)
副理事長	山崎 もとみ	(大田)
副理事長	廣田 晃一	(姫路中央)
専務理事	伊賀 保夫	(東京ピース)

常務理事	倉田 雅史	(小田原白梅)
常務理事	設楽 幸子	(札幌アカシヤ) 【Web】
常務理事	車田 信彦	(玉川)
常務理事	水沼 孝夫	(真岡)
常務理事	武永 健治郎	(都城きりしま)

理事	渡邊 俊弥	(仙台五城)
理事	佐藤 裕幸	(柏崎日本海)
理事	藤井 信英	(岡山みらい)
理事	濱田 浩平	(長崎南) 【Web】
理事 (前理事長)	松浦 淳一	(岩見沢はまなす) 【Web】
理事 (公益財団法人日本ライオンズ理事長)	小野寺 真悟	(札幌北の杜) 【欠席】
理事 ('25-27 国際理事)	仁科 良三	(長野みすず)
理事 ('25-27 国際理事)	田名部 智之	(八戸)
理事 ('25-26 LCIF 理事)	鶴嶋 浩二	(札幌中島)

監事 (MD332 元議長)	下間 俊悦	(男鹿) 【Web】
監事 (MD333 元議長)	石橋 貞	(足利西) 【Web】
監事 (MD335 元議長)	小林 聰	(姫路広陵) 【Web】
監事 (MD337 元議長)	乗田 泰	(伊万里) 【Web】

オブザーバー

常務理事予定者	浜 一平	(岡谷)
常務理事予定者	津田 勝之	(大阪桜之宮) ¹
法律顧問	池田 和司	(東京桜門) 【欠席】
会計顧問	吉田 宗一郎	(東京武蔵野) 【欠席】
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諫訪湖)
25-26 理事長事務局補佐	田中 俊彦	(上田城南) 【Web】
25-26 理事長事務局補佐	小口 恒樹	(岡谷)

¹ 浜一平議長・津田勝之議長は理事会開催時の役職で記載。

◇開会宣言

専務理事 伊賀 保夫

冒頭、山崎もとみ副理事長より挨拶を頂いた

◇あいさつ

喜多理事長：Web 参加も含め全員出席に対してお礼をのべ、審議事項が多い事から効率的な会議進行をお願いされあいさつされた。

仁科国際理事：LCI と LCIF がパートナーシップを組んでいるように、日本 GAT と日本ライオンズもパートナーシップも組み、日本を一本にしていかなければならないとあいさつされた。

田名部国際理事：社団に対する期待や今後の方向性について話され、誤った方向へ行くことがなく、前進を止めないよう訴え、リーダーシップを発揮し他団体との連携を強化出来る様お話しされた

鶴嶋 LCIF 理事：社団賛助金の値上げにふれ、しっかりと使える金額を示された方が良いと提言され、理事の役割の再確認として、社団の中での決定事項は必ず地区に伝える事を話された。

松浦前理事長：地元に 25cm の雪が積もった件で災害対策などに触れられ、あいさつされた。

◇出席者確認：伊賀専務理事より書面記載による通り確認

◇議事録作成人の指名：伊賀専務理事より車田常務理事・水沼常務理事を指名。

◆議事

◆第 4 回執行理事会からの審議事項

1.今後の取り組みの承認

(1)ワンプラスワン・キャンペーン実施

倉田常務理事より、GAT とは違う切り口の方が良いのではないか。表彰はスポンサー数などを考慮し、クラブ単位とするのはどうかと提案。

津田常務理事予定者からは、期間についての質問があり、回答として期間を 2026 年 7/1~6/30 とする案が出る。

増澤事務長からは表彰規定を総務人事委員会にて考え、執行理事会に上程すると提案。

鶴嶋 LCIF 理事よりアワードの内容や予算、表彰の時期について質問があった。

その他会員増強データの取りまとめにサバンナを使用する案や、地区で取りまとめて MD へ報告を頂く案、特に顕著な成績のあった会員には特別賞を用意する案などが出る。

総務人事委員会や次回執行理事会でも話をし、継続して審議を行う。

(2)一般社団法人日本ライオンズ 10周年記念事業案

予算について質問が出、内容の検討と合わせ、改めて予算立てをしていくこととした。

2.第2回定時社員総会開催概要と議案の件

・2025年12月8日（月）13:30- AP日本橋 Fルームにて開催。

まずは議案について検討を行った。

1号議案：社員退社承認の件 (MD334 L.杉木議長退社)

2号議案：新入社員承認の件 (MD334 L.浜議長 MD335 L.津田議長)

議案については上記の2号議案までとすることを承認。

続いて社員総会での報告事項について協議。

日本ライオンズ活動報告について、報告期間の対象は11月までとする。

鶴嶋 LCIF理事より社団賛助会費値上げの40円の件もあり、国際会長公式訪問の件など、収支報告を行うよう要望。

出席対象者については、正社員、法律顧問、会計顧問、事務長、事務長補佐とし、上記以外のオブザーバー参加者について協議を行った。

社団より支援を行った行事について、社員総会の場で報告を行っていただくこととする。

山田元国際会長は社団名誉理事としてお声がけを行う。

小川晶子エリアリーダーより11/19 全女性シンポジウム報告を、山田実貴人LCIF MD334副コーディネーターより11/22-23 キャンパスカンファレンス報告をいただき、第62回オセアルフォーラムでエンドースされた松岡勲国際理事候補者にもあいさつをいただく。

OSEAL調整事務局 マーズ事務局長にも案内を出す。

3.ペーパレス化に伴う事務所改革予算の件

増澤事務長より説明：複合機のリース切り替えの説明が行われ、承認された。

◆第4回執行理事会からの協議および事項

4.今年度下半期活動指針と改革案

(1)喜多理事長発案 改革案の検討

喜多理事長説明：理事会の出席率を引き続き高くしていくため、さまざまな案を検討中であることを説明。

議長選出のガイドラインを設けるべきではと意見が出、継続で審議を行う。

(2)日本赤十字社との協定締結に関する打ち合わせ (11/5) 報告

伊賀専務理事並びに増澤事務長より報告：

前回理事会で要望のあった、協定締結によるライオンズへのメリットについても赤十字側に検討をいただくこととなった件の報告。

今後数回協議の場を持って、協定について進めていく予定。

(3) GAT との提携の件

・各 MD からのアンケート集約結果

現時点での集約結果が示された。まだ提出がない複合地区には提出が呼びかけられ、GAT との今後の提携へ向けて引き続き審議を行っていく。

(4) 総務人事委関係

増澤事務長より説明。就業規則（非正規）を委員会に付託すると報告。

その後理事会に上程する。

5. 公益財団法人薬物乱用防止センター理事長出版記念交流会案内と書籍購入の件

藤野理事長の出版物の価格は 2750 円／1 冊。

まずは社団で一括購入することを再確認。計 45 冊を購入。

その後複合地区に複合 1 冊、地区 1 冊を振り分け、本の料金は複合へ請求することで承認。

6. その他

ウェブ接続状況が悪い場合などに備え、ZOOM でチャットを行えるようにすることの提案があった。

7. 各種報告

◇各種行事報告

・11/1 開催 公益財団法人日本ライオンズ 第4回全国特別支援学校フットサル大会

倉田常務理事：

MD330 で全国大会が開催されたことについての報告とお礼。

12/1 に J-COM で放送予定であると紹介された。

・11/7(金)-11/9(日) 第6回 OSEAL レオフォーラム 2025 大阪

津田常務理事予定者：国内外のレオ・ライオンを合わせて約 390 名が参加し成功裏に終了。

来年はマレーシア開催。

・11/13 (木) サンジーブ・アフジャ国際本部事務総長との懇談会

仁科国際理事：事務総長との親交を大変深めることができたことと、事務総長よりお話し
があった香港国際大会について共有された。

◇委員会報告

・11/4（火）10:00-12:00 第3回ライオン誌委員会 WEB

廣田副理事長：昨年度より進めているライオン誌の個別送付をクラブ発送に切り替えてい
く件がまだ片付いていない、今後委員会内で協議して理事会に上程していく

10月の理事会で鶴嶋LCIF理事より指摘のあった、9月のLCIF理事長公式訪問にライ
オン誌取材が入らなかった件について再確認があり、委員会で喜多理事長より報告が行われ、
今後このようなことが無いようにしていくことを確認したと報告。

取材先の選定方法についても質問があり、取材先については委員会にて決定を行っている
ことと、各活動取材は各MDの委員が行っていくことが報告された。

・11/11(火) 13:30-15:00 第2回アラート委員会 WEB

藤井理事：全国アラートフォーラムが3/13（金）大阪で開催。

概要と予算の説明。日本ライオンズで預かっているアラートフォーラム繰越金より、18万
を補てんする件について、承認。

・国際理事会資格審査委員会委員長である諫訪副理事長より提案。

現在の規約には地区の審査の規定のみがあり社団の委員会として権限や規約がないことから、
国際理事候補者資格審査についてのガイドラインの制定を検討したい。

8.今後の予定の確認

・11/19(水) ライオンズクラブ国際協会全日本女性シンポジウム（東京）

・11/21（金）10:00-12:00 第1回総務人事管理委員会（HB）

・11/22-23(土・日) キャンパスライオンズクラブ・カンファレンス（名古屋）

・11/25（火）13:30-15:30 第4回国際大会委員会（HB）

・12/3（水）13:30-16:00 第5回執行理事会(WEB)

・12/4（木）10:00-12:00 第3回YCE委員会(WEB)

・12/4（木）14:00-16:00 第4回ライオン誌委員会(WEB)

・12/8（月）11:00-12:00 第6回理事会（対面）

・12/8（月）13:00-16:00 第2回社員総会（対面）

・12/9（火）11:00-14:00 第3回会則委員会（対面）

閉会の挨拶 諏訪副理事長

閉会宣言 伊賀専務理事より閉会宣言

以上

議事録作成人

常務理事 車田 信彦

常務理事 水沼 孝夫

議事録署名人

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 喜多 友一 【押印省略】

監事 下間 俊悦 【押印省略】

監事 石橋 貞 【押印省略】

監事 小林 聰 【押印省略】

監事 乗田 泰 【押印省略】

(2025-26 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 25-26 年度 第 6 回理事会議事要録訂正版

◎日 時：2025 年 12 月 8 日(月) 11:00-12:00x
 ◎場 所：一般社団法人日本ライオンズ会議室(HB 開催)

出席者リスト

理事長	喜多 友一	(上田城南)
副理事長	諏訪 昇三	(札幌時計台)
副理事長	山崎 もとみ	(大田)
副理事長	廣田 晃一	(姫路中央)
専務理事	伊賀 保夫	(東京ピース)
常務理事	倉田 雅史	(小田原白梅)
常務理事	設楽 幸子	(札幌アカシヤ) 【欠席】
常務理事	車田 信彦	(玉川)
常務理事	水沼 孝夫	(真岡)
常務理事	武永 健治郎	(都城きりしま)
理事	渡邊 俊弥	(仙台五城)
理事	佐藤 裕幸	(柏崎日本海)
理事	藤井 信英	(岡山みらい)
理事	濱田 浩平	(長崎南)
理事 (前理事長)	松浦 淳一	(岩見沢はまなす) 【欠席】
理事 (公益財団法人日本ライオンズ理事長)	小野寺 真悟	(札幌北の杜)
理事 ('25-27 国際理事)	仁科 良三	(長野みすず)
理事 ('25-27 国際理事)	田名部 智之	(八戸) 【Web】
理事 ('25-26 LCIF 理事)	鶴嶋 浩二	(札幌中島)
監事 (MD332 元議長)	下間 俊悦	(男鹿) 【欠席】
監事 (MD333 元議長)	石橋 貞	(足利西)
監事 (MD335 元議長)	小林 聰	(姫路広陵)
監事 (MD337 元議長)	乗田 泰	(伊万里)
【欠席】		

オブザーバー

常務理事予定者	浜 一平	(岡谷)
常務理事予定者	津田 勝之	(大阪桜之宮)
法律顧問	池田 和司	(東京桜門)
会計顧問	吉田 宗一郎	(東京武蔵野)
日本ライオンズ事務長 【Web】	増澤 義治	(諏訪湖)
25-26 理事長事務局補佐	田中 俊彦	(上田城南)
25-26 理事長事務局補佐	小口 恒樹	(岡谷)

進行：専務理事 伊賀保夫

◇開会宣言

理事長 喜多 友一

◇あいさつ

喜多理事長：本日は社員総会がありますのでよろしく願います、時間が短い理事会なので効率的な会議進行をお願いされあいさつされた。

仁科国際理事：日中関係に触れつつ、香港国際大会参加と投票へ参加をお願いしたいとあいさつされた。

田名部国際理事：体調不良のため本日は WEB 参加であることと、国際理事会での情報共有についてお話しされた。

鶴鳴 LCIF 理事：LCIF アジア豪雨災害被災地支援について一人当たり 1000 円程度の協力をお願いされあいさつされた。

小野寺公益財団理事長：財団の事業である全国支援学校フットサル大会と寺子屋事業についてお話しされ、ライオンズの本当の目的を再確認する必要についてお話しされた。

◇出席者確認：伊賀専務理事より書面通り確認。

◇議事録作成人の指名： 山崎副理事長・武永常務理事が指名される。

議事

◇12/8 第 2 回社員総会 進行の確認

本日の進行の確認。浜議長、津田議長の理事選任について定款上社員総会での承認が必要となることの確認。

◇国際大会委員会より第 108 回香港国際大会最新情報

仁科国際理事より 10 月に行われた、コルカタでの国際理事会決議事項についての説明。

2 年間をかけてアメリカからの国際理事を 2 名減らし、南米より 1 名、インドより 2 名を増やしたうえ、国際理事会アボインティを 1 名減らす案が香港で投票に附されるため日本としての立場を示すべく、多くの代議員の登録と投票が必要であることの説明と協力の呼びかけを行われた。

喜多理事長からも協力の呼びかけと、早期登録のご案内をすでに全国へお送りしたことが報告された。早期登録は 1 月 30 日まで、登録料 190 ドルとなる。

パレード領布品については 12 月 10 日の国際大会委員会にて再度検討を行う予定であることが大会委員長である伊賀専務理事より報告された。

◇第5回執行理事会(12/3)からの協議及び確認事項

・日本ライオンズ10周年特別実行委員会の設置について

喜多理事長説明：10周年事業・ワンプラスワンキャンペーンを含む特別委員会は執行部に一任して頂く。各複合地区から現議長もしくは前議長を含む1名以上は入って頂き、12名前後を想定している件を説明。今後のタイムラインや事業内容についても委員会で検討をいただく予定である。成多数で承認。

・国際理事資格審査委員会からの提案

国際理事資格審査委員会委員長である諏訪副理事長より説明：国際理事候補者資格審査委員会規約について、今までの経緯を説明、問題点を説明した。次年度以降の委員会へ向け、

①資格審査委員会の任務について

②審査におけるガイドラインの制定

の方向性を協議してきたい。年明け早々に委員会を行う予定である。

書類上の資格審査以上のことを行うべきではないという意見については一般社団法人へ資格審査を求められている以上、社団としての審査が必要であると考えていると回答。慎重に進めていくべき内容であるので、会則委員会、池田法律顧問にも相談して進め、理事会へ上程を行いたい。

鶴嶋LCIF理事より推薦委員会から資格審査委員会と名前が変わった時に規定の内容も検討するべきだった。今から検討を行うべきであるという意見。

様々な意見が出、協議が行われ、今年度は最終的に理事会での判断となったことなど審査を振り返り次年度以降の審査をスムースにし、国際理事を選出するため、引き続き検討を行っていくこととした。

・SON2026夏季東京大会について

2026年6月と9月に東京でSON夏季大会が東京で行われるため、例年に倣い日本ライオンズ内で委員会を立ち上げる報告。

◇各種報告事項

総務人事委員会報告：各規程についての若干の修正を行うことの報告。

アラート委員会：藤井理事：3月13日（金）アラートフォーラムが大阪で開催される。午前中に対象者を分けて行われる分科会の説明。社団主催では第1・第2副地区ガバナー向け分科会を開催する。

月次監査報告：経理担当職員より説明が行われた。

第72回 地区・複合年次大会 祝辞について、今年度も社団で一部対象者について取りまとめを行うことが周知された。

日本ライオンズ事務局冬季休暇について12/27-1/4となり、緊急連絡先は事務長となることを確認した。

閉会の挨拶 諏訪副理事長

閉会宣言 伊賀専務理事より閉会宣言

以上

議事録作成：

副理事長 山崎 もとみ

常務理事 武永 健治郎

議事録署名人：

一般社団法人ライオンズ

理事長 喜多 友一【押印省略】

監事 石橋 貞【押印省略】

監事 小林 聰【押印省略】

(2025-26 年度)

第2回 会則委員会 HB 議事要録

◎日 時： 2025年10月8日（水）15：30～17：00

◎場 所： 日本ライオンズ事務所+ZOOM

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ：

理 事 長	喜多 友一	(上田城南 LC)
専 務	伊賀 保夫	(東京ピース LC) 【欠席】
委 員 長	渡邊 俊弥	(仙台五城 LC)
副委員長	設楽 幸子	(札幌アカシヤ LC) 【WEB】

複合地区会則委員：

330 複合地区	森川 明治郎	(西入間 LC)
331 複合地区	佐々木 忠康	(小樽 LC) 【WEB】
332 複合地区	荒川 友成	(郡山西 LC)
333 複合地区	椎名 健二	(牛久茎崎 LC)
334 複合地区	山本 基博	(恵那 LC)
335 複合地区	中谷 豊重	(岸和田 LC)
336 複合地区	松岡 謙	(福山久松 LC) 【WEB】
337 複合地区	曾山 純廣	(霧島みらい LC)

オブザーバー

日本ライオンズ事務局長 増澤 義治 (諏訪湖 LC)

- ① 開会宣言 招集権者 一般社団法人日本ライオンズ会則委員会委員長 渡邊 俊弥
- ② 日本ライオンズ理事長あいさつ 喜多 友一
- ③ 出席者確認
- ④ 議事録作成人の指名 MD332 荒川委員・MD333 椎名委員を指名。

議案：**1. 第1回会議の振り返りと今年度の方針の決定**

渡邊委員長より提示された「第1回会則委員会を経て」に基づき第1回会則委員会内容の振り返りながら、今年度の方針を検討した。

- ① ライオンズ必携の前文の内容検討については、前年度で大筋検討済みである、ということを前提に第1回に検討し、今回修正文が提出されている。
- ② 会費の値上げに関しては金額を外して条文を整理する予定である。
- ③ ライオンズ必携の最新版には「2024年国際大会(オーストラリア・メルボルン)」「2025年国際大会(アメリカ・オーランド)にて可決された公式通達文章を追記する予定。また、国際理事会決議内容も精査し、修正していく必要がある。
- ④ ライオンズ必携発行スケジュールと発行部数について
スケジュールについては、第61版のスケジュールと同様にそって進めていく予定。発行部数については、各複合地区にアンケートを実施し、合計に部数に近い数、プラス予備を印刷部数とすることを検討中。
- ⑤ TOPPANとの関係については、必携のデータをもらうことは現状難しい。
コンパクト版(ライオンズ必携)はスマホで見られるようにすべきであり、紙ベースについては、現在のライオンズ必携と役員必携を合わせたものをA4版で作成しても良いのでは。
森川委員より60版と61版をデータにすることは出来る。1ヶ月あればPDFデータをWordに変換できるので、それを基に変更点を修正すればよい。
そういうことをふまえ、今後はTOPPANに限定しなくてもよいのではないか。
- ⑥ 国際理事候補者の資格について、喜多理事長より会則委員会へ推薦基準に人格的要件を含めるべきかなど相談があった。社団としてどこまでの権限を持つべきかなど協議が行われ、内規で行動指針を作成するなど案が寄せられた。

2. 2025-26年度版 ライオンズ必携・役員必携発行の可能性の検討

=今年度の発行の場合のスケジュール案と修正箇所=

- ・ライオンズ必携62版は国際理事会方針書に記載されている標準版「複合地区会則」「地区会則」「クラブ会則」をそのまま掲載する。内容や編集方法については協議が行われ、まずは変更すべき内容を確認することを優先事項とする。
- ・「役員必携」と「ライオンズ必携」を合本しサイズを「A4サイズ」にして発行する案が出る。
- ・名称を「ライオンズ必携」にして「ライオンズ会則編」「役員編」としてはどうか。

- ・合本版の「ライオンズ必携」の発行を目指していきたい。印刷版はページ数を少なめにし、データ化して、QR コードからパソコンやスマートフォン等で読めるようにすることも検討中。

3. その他

- ・森川委員が作成した「たたき台」をもとに第3回会則委員会で検討していく。

- ・次回開催日程の確認

期日：令和7年12月9日(火)

時間：午前11時より

場所：一般社団法人日本ライオンズ事務局

⑤ 閉会挨拶

会則委員会副委員長

設楽 幸子

以上

議事録作成人

MD332 委員 荒川 友成

MD333 委員 椎名 健二

2025-26 年度

一般社団法人日本ライオンズ 第 3 回国際大会委員会(WEB) 議事要録

◎日 時：2025 年 10 月 1 日（水）10:00-12:00

◎場 所：ZOOM システム

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	喜多 友一	(上田城南 LC)
副理事長	諏訪 昇三	(札幌時計台)
副理事長	廣田 晃一	(姫路中央)
国際大会委員会委員長/専務理事	伊賀 保夫	(東京ピース LC)
国際大会委員会副委員長/副理事長	山崎 もとみ	(大田 LC)

複合地区国際大会委員

330 複合地区	細川 孝雄	(東京赤坂 LC)
331 複合地区	須藤 敏幸	(伊達 LC)
332 複合地区	高 橋 寛	(和賀 LC)
333 複合地区	岡野 良男	(土浦環 LC) 【途中退出】
333-C 地区国際大会委員長	杉本 潤哉	【代理出席】
334 複合地区	戸祭 宏樹	(鰐江王山 LC)
335 複合地区	江草 長史	(和田山 LC)
336 複合地区	日下 真二	(出雲中央 LC)
337 複合地区	吉見 章一	(宮崎ひむか LC)

第 62 回 OSEAL フォーラム札幌 組織委員会

委員長/LCIF 理事	鶴嶋 浩二	(札幌中島 LC)
-------------	-------	-----------

2025-27 年度国際理事

本部大会委員会所属	仁科 良三	(長野みすず LC)
-----------	-------	------------

オブザーバー

国際大会委員会副委員長 予定者	浜 一 平	(岡谷 LC)
-----------------	-------	---------

ウイントラベル東京営業支店	加藤 勉
---------------	------

日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖 LC)
------------	-------	----------

◎開会宣言 国際大会委員長/専務理事

伊賀 保夫

◎札幌フォーラム組織委員会委員長/LCIF 理事 ご挨拶

鶴嶋 浩二

札幌オセアルフォーラムまで 1 カ月を切った。現在の登録者数が最終ではないか。

引き続きご協力を宜しくお願ひしたい。

◎一般社団法人日本ライオンズ理事長 ご挨拶

喜多 友一

登録者数が伸びていない。

最終登録締め切り日の 10 月 9 日までに一人でも多く、参加登録をしてほしい。

◎国際理事（本部大会委員会所属）ご挨拶

仁科 良三

札幌フォーラムへ 100% の登録、できる限りのご参加をお願いしたい。

最新の登録者数を日々更新し、皆さんに周知していただきたい。

1. 本日の出席者確認及び進行について

全員の出席を確認。伊賀保夫 国際大会委員長が進行。

2. 議事録作成人の指名

MD336 日下眞二 国際大会委員を指名。

3. 議案および確認事項

■第 62 回 OSEAL フォーラム（2025 年 10 月 23 日-26 日 北海道・札幌）**【最新情報の確認】****（登録関係）**

1. 各 MD 現在の登録状況(9/30 時点)

…資料 1-1

MD	330	331	332	333	334	335	336	337	8MD
目標数	800	3,000	800	1,200	1,300	1,000	1,050	1,050	10,200
10/1 時点 の登録数	671	1,857	463	658	890	770	388	367	6,088 (GEST24 名を含む)
達成率	84%	62%	58%	55%	68%	77%	37%	35%	60%

• 330 複合地区

- 現状 671 名、達成率 84%。最終登録者数は 700 名程度になる見込み。
- クラブの旅行例会化で参加促進。

- 331 複合地区
 - 目標 3,000 名に対し達成率 62%、危機感を持っている。
 - 27 日の国際理事就任祝賀会で各地区ガバナー・名誉顧問に現状を共有し、掘り起こしを依頼予定。
- 332 複合地区
 - 達成率 58%
 - A・B・D 地区はおおむねクリア。C・E・F が低調。
 - 登録だけでもお願ひしている。
- 333 複合地区
 - 達成率 55%。按分した数字を各地区に提示し、代議員数の登録をお願いしている。
 - 複合地区の締め切りは 10 月 2 日。10 月 3 日に議長を含めて複合地区で国際大会委員会を開催し、再度動員依頼。
- 334 複合地区
 - 議長から臨時ガバナー協議会、または直接電話で地区ガバナーへ働きかける予定。
- 335 複合地区
 - 把握している数字とほぼ一緒のため、実数ではないか。
 - 一本釣りをして、目標の 800 名に近づけたい。
- 336 複合地区
 - 現時点 417 名。若干の伸び悩みあり。
 - 今週を勝負期間として未登録のクラブ会長へ直電で登録促進。
 - 代議員登録の徹底、未登録クラブへの働きかけを継続。
- 337 複合
 - 8/29 締め切り時 217 人→現状 367 人。ツアーコーディネーター課題が大きい。
 - 各地区ガバナーへの依頼やフォーラム・講師訪問の発信を継続。
 - 最新の登録者数を、再精査して報告予定。

2. 参加登録締め切りの確認

…資料 1-2

登録締め切りは 10 月 9 日。OSEAL フォーラム in 札幌ホームページに掲示済み。

締め切りまで 1 日 1 日、数字の確認をしっかりと行っていく。

(行事関係)

3. 【ジャパン・セレブション 10/25 (土) 18:00-19:00】について

・次第 (9/18 第 3 回理事会承認版)

…資料 2-1

- 主催は一般社団法人日本ライオンズ。日本からの次の国際理事候補者のお披露目が主な目的。当該複合地区と協力して運営する。
- 資料 2-1 の次第案は例年の構成。ドリンク・乾杯のタイミングなど詳細は、10 月 7 日午前中、候補者及びフォーラム委員会と打ち合わせ予定。
- 会場は京王プラザホテル本館 地下 1 階プラザホール。
受付スペースは制約 (2 人掛け × 5 本 = 10 席程度)。

・招待状 (案) について

…資料 2-2

- 海外 VIP 向け招待状 30~40 部を事務局で作成し、ホテル客室へ投函予定。

- 招待状にはご挨拶依頼のご案内文書を添える。
- 全日本では、元国際会長のみ招待状をお渡しし、その他のメンバーにはプログラムに会場情報が記載されているので、周知する。
 - ・会場レイアウト図、その他 …資料 2-3
- 会場のレイアウト図は確認中。
- コンベンションセンターで行われる中国レセプションと時間重複のため、国際役員の移動がタイトなスケジュール。
- 国際会長晚餐会参加の議長および地区ガバナーは、タキシードのまま参加推奨。
- 受付の机はメイン 1 本・海外 VIP 1 本・8MD で 3 本、計 5 本を配置する予定。招待客は約 200 名を想定。
- 受付担当の申し込み締め切りは 10 月 8 日。
- ジャパン・レセプション受付は 17:30 開始、18:15 頃完了見込み。
国際会長晚餐会の受付は社団事務局職員が先行し、国際大会委員は後から合流する。

4. 【国際会長晚餐会 10/25（土）19:30-21:30】について

- ・国際会長晚餐会ご案内文書（9/19 発信）の確認 …資料 3-1
- 開催は 10 月 25 日（土）19:30～21:30
複合地区別割当数は 9 月 19 日に社団より発信済み。
参加登録の締め切りは 10 月 6 日、登録料 2 万円。
- 一般社団法人日本ライオンズより各複合地区に参加人数分の請求書をお送りする。
- チケットは社団事務局が一括預かり、各 MD 分を現地で仕分けを行い、23 日頃に国際大会委員へ一斉配布。分散配布は紛失・未入場リスクがあるため不採用。
- 席割は、全日本 300 名分の情報を社団事務局がフォーラム委員会から受け取り、プロトコール順に配席する。
 - ・受付担当者選出のご案内文書（9/30 発信）の確認 …資料 3-2
- 各複合地区より国際大会委員を含めた 2 名を受付担当として選出していただきたい。
- 10/8 締め切り予定。

5. フォーラム日程および役職者別参加行事一覧 …資料 4

- 9/30 時点の最新案を共有。協会や OEC の要請により、再度調整が入る可能性があるが、こちらを本線として進めていきたい。

6. 各会場位置関係(地図)および開会式会場の駐車場について …資料 5

- 札幌ドーム駐車場は 1 日 1,000 円で貸し切り、誰でも利用可。
- コンベンションセンターにも十分な駐車場有り。隣接駐車場含め収容可。

7. その他

登録キット配布について

- 登録キットは全てセット済みで発送できる状態。事前送付を希望する地区は、メールでご連絡いただければ発送手配可能。
- 配布拠点は北海道庁「旧赤レンガ」。文化財を見ながら受け取ることができる。
- 組織委員会が MD 毎に分けてキットを渡し、各複合地区の事務局員・ボランティアが仕分け・引き渡し。
- 登録証（ID カード）には地区名（例：331A/331B/335A/335B 等）、クラブ名（ローマ字入力）、氏名が記載されている。受付は地区・クラブ名・氏名で確認。
- 名簿も準備済み。

次回開催日程について

次回委員会は 11 月以降に開催する予定。

◎閉会宣言 国際大会副委員長

山崎 もとみ

以上

議事録作成人

336 複合地区委員 日下 真二

(2025-26 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 第4回 国際大会委員会 (HB) 議事要録

◎日 時：2025年11月25日（火）13:30-15:30

◎場 所：一般社団法人日本ライオンズ 会議室+Zoom システム

出席者リスト

一般社団法人 日本ライオンズ

理事長	喜多 友一	(上田城南)	【欠席】
副理事長	諫訪 昇三	(札幌時計台)	【欠席】
副理事長	廣田 晃一	(姫路中央)	【web】
国際大会委員会委員長／専務理事	伊賀 保夫	(東京ピース)	
国際大会委員会副委員長／副理事長	山崎 もとみ	(大田)	【web】

2025-26 年度 複合地区 国際大会委員

MD330 委員	細川 孝雄	(東京赤坂)	
MD331 委員	須藤 敏幸	(伊達)	【web】
MD332 委員	高橋 寛	(和賀)	【欠席】
MD332 議長	車田 信彦	(玉川)	【代理出席】
MD333 委員	岡野 良男	(土浦環)	【web】
MD334 委員	戸祭 宏樹	(鰐江王山)	【web】
MD335 委員	江草 長史	(和田山)	【web】
MD336 委員	日下 真二	(出雲中央)	
MD337 委員	吉見 章一	(宮崎ひむか)	【web】

2025-27 年度国際理事

本部大会委員会所属	仁科 良三	(長野みすず)	
-----------	-------	---------	--

オブザーバー

国際大会委員会副委員長 予定者	浜 一平	(岡谷)	【web】
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諫訪湖)	

以上

◎開会宣言 国際大会委員会 委員長/専務理事

伊賀 保夫

◎2025-27 年度国際理事（本部大会委員会所属）ご挨拶

仁科 良三

香港国際大会はまだ先のように感じる方もいらっしゃるでしょうが、今からしっかりとや
っていきたい。大事な議案も上程されますので、昨年以上に多くの代議員に参加してい
ただき、投票していただきたい。

◎一般社団法人日本ライオンズ副理事長 ご挨拶

廣田 晃一

OSEAL フォーラム札幌では1万人を超える登録を頂き、委員会の皆様にはお世話にな
りました。

1. 本日の出席者確認及び進行について

伊賀 保夫国際大会委員長が出欠を確認し、進行。

2. 議事録作成人の指名

MD333 岡野 良男国際大会委員を指名。

3. 議案および確認事項

I. OSEAL フォーラム関連

(1) 第62回 OSEAL フォーラム in 札幌 (2025年10月23日-26日)

- ・フォーラム報告書の確認 …資料 1
- ・報告及び反省

フォーラム報告書を確認後、各複合地区の委員より札幌フォーラムの報告及び反省
点が発表された。

【330 複合地区 細川 孝雄委員】

準地区ごとに登録者数の増減はあったが、トータルとしては予定通りだった。

【331 複合地区 須藤 敏幸委員】

皆様のご協力により開催できたことに、感謝いたします。

【332 複合地区 車田 信彦議長】(332 複合地区 高橋 寛委員の代理)

皆様には大変お世話になりました。332 複合地区としても出来る限りの動員をかけたので、なんとか協力できたのかと思います。

議長・ガバナーの会議の開始時間がもう少し遅目だと良い。国際会長晚餐会と国際会長公式訪問のスケジュールをもう少し早目に確定していただければ、より募集がかけやすかった。

ご尽力いただいた331 複合地区の皆様に感謝を申し上げます。

【333 複合地区 岡野 良男委員】

大会登録者数が予定数を超えて安心した。

開会式の会場が広く、席の確保が簡単であった。

【334 複合地区 戸祭 宏樹委員】

複合地区別の最終登録者数が出ていないので、共有してほしい。

フォーラムは成功したと思う。

【335 複合地区 江草 長史委員】

当複合地区で目標の1,000名を達成できなかったことは心残り。

大会登録を行わずに現地に行っているメンバーもいたので、今後、改めて登録を周知していきたい。

早期登録、普通登録、現地登録に金額の差が少なかったので、金額にメリハリをつけてもらえたなら、なお良かったと思う。

【336 複合地区 日下 真二委員】

当複合地区の目標登録者数に届かなかったことは残念。

ご参加いただいたメンバーより、運営、会場ともに良かったが、登録証の受け渡し場所がもう少し近いと良かったという意見もあった。

【337 複合地区 吉見 章一委員】

複合地区別の最終登録者数がわかれば、次回に活かしたく、教えていただきたい。

総登録者数が目標を超えたことは成功だと思う。

会場が分散していたのが難点と感じた。

【仁科 良三国際理事】

複合地区別の最終登録者数は後ほどお知らせできるようにしたい。

ざっくり計算すると、各複合地区で900名弱程度の登録者数となる。

北海道の皆様と8複合地区の皆様の努力に感謝する。

【浜 一平国際大会副委員長予定者】

フォーラムらしさがでて、良い大会だった。OSEAL フォーラムの楽しさを実感した。北海道までの交通機関の関係で、スケジュールの調整が多少難しかった。いずれにしても、成功に終わり良かった。

【廣田 晃一副理事長】

主催側のご苦労が良く分かった。
各議長・国際大会委員会の皆様の努力に感謝申し上げる。
ジャパン・レセプション多くのゲストにご来場いただき、素晴らしかった。

【山崎 もとみ副委員長】

札幌フォーラムは大成功だった。ホストの皆様のご苦労に感謝する。
参加することが大切。

【増澤 義治事務長】

大会に携われた方々に感謝。良い形で幕が閉じられた。
今後、日本の他の地区で OSEAL フォーラムが開催されることもあると思うが、日本一丸となって協力していくことが大事。

【伊賀 保夫委員長】

OSEAL フォーラムや国際大会にせっかく参加するのであれば、各国の交流を行うなど、参加してよかったですを増やしていくことができれば、若いメンバーの参加率も上がっていくのではないか。
国際大会委員会としては、なるべく早くスケジュールをキャッチしてメンバーの皆様にご案内することで、皆様にとって、より興味深いフォーラムになっていくのではないか。

(2) 第 63 回 OSEAL フォーラム in ペナン (2026 年 11 月 12 日-15 日)

・**基本情報の確認 (開催日時/場所/スケジュール)** …資料 2
ペナンフォーラム公式ウェブサイトには登録のフォームが出来ている。
大まかなスケジュールも発表されているため、各自確認してほしい。

II. 「第 108 回香港国際大会 (2026 年 7 月 3 日-7 日)」最新情報の確認

(1) **日程及び大会スケジュール** …資料 3
香港国際大会公式サイト上に掲載されている、大会スケジュールを共有。

(2) 大会登録について

…資料 4

・大会登録料及び登録期限（早期/普通/現地料金）

大会登録料及び登録期限についての説明が行われた。

・早期登録割引料金 US190 ドル 2026 年 1 月 30 日まで

・普通料金 US265 ドル 2026 年 1 月 31 日～6 月 30 日

・現地料金 US340 ドル 2026 年 7 月 1 日～7 日

なるべく早く皆様にご案内をして、早期登録を促したい。

・グループ登録担当責任者およびツアービジネス 団体登録要請フォームについて
香港国際大会公式サイト上に現時点で出ている情報の共有が行われた。

(3) 公認ツアーコーディネーターについて

…資料 5

・MD330-337 公認ツアーコーディネーター規定 修正の検討

現状と異なる一部の規定について、確認が行われた。

・各 MD 公認 TC 決定状況の確認

国際大会委員各位より今年度の 8MD の公認ツアーコーディネーター決定状況の報告が行われた。

未定の複合地区は早めに公認 TC を決めていただくよう、伊賀国際大会委員長よりお願いがなされた。

(4) 大会会場ならびに LCI 提携ホテル情報について

…資料 6

・大会会場

・LCI 提携ホテル一覧

大会会場周辺にはあまりホテルが無いので、全日本として確保する予定のホテルが離れる可能性があることをご承知おき願いたい。

代議員朝食会場については、開会式会場（アジアワールド・エキスポ）との距離を考慮した上で、検討する予定。

4. その他（次回開催日程など）

・頒布品について

MD335 松岡 熱国際理事予定者よりご提案いただいた、パレード時に着用するポロシャツとキャップのセット、記念ピンについての説明がなされた。

・香港国際大会 代議員登録者数について

仁科 良三国際理事

2025/10/9～12 にインド・コルカタで開催された国際理事会の決議要約について説明がある。

会則及び付則委員会の決議 3 について慎重な検討が必要だと考える。

日本として昨年以上に多くの代議員を出していただき、投票をお願いしたい。

委員会内で協議の上、執行理事会・理事会に提出する、香港国際大会参加の代議員登録目標数が設定された。

・次回開催日程について

12/10(水)13:30～15:30 ZOOM

◎閉会宣言 国際大会委員会 副委員長/副理事長

山崎 もとみ

以上

議事録作成人

MD333 委員 岡野 良男

一般社団法人日本ライオンズ 第5回 国際大会委員会 (WEB) 議事要録

◎日 時：2025年12月10日（水）13:30-15:30

◎場 所：Zoomシステム（各デバイスより接続）

出席者リスト

一般社団法人 日本ライオンズ

理事長 喜多 友一（上田城南）

副理事長 謙訪 昇三（札幌時計台）【欠席】

副理事長 廣田 晃一（姫路中央）

国際大会委員会委員長／専務理事 伊賀 保夫（東京ピース）

国際大会委員会副委員長／副理事長 山崎 もとみ（大田）

国際大会委員会副委員長／MD334議長 浜 一平（岡谷）

2025-26 年度 複合地区 国際大会委員

MD330 委員 細川 孝雄（東京赤坂）

MD331 委員 須藤 敏幸（伊達）

MD332 委員 高橋 寛（和賀）

MD333 委員 岡野 良男（土浦環）

MD334 委員 戸祭 宏樹（鰐江王山）

MD335 委員 江草 長史（和田山）

MD336 委員 日下 真二（出雲中央）

MD337 委員 吉見 章一（宮崎ひむか）

2025-27 年度国際理事

本部大会委員会所属 仁科 良三（長野みすず）【欠席】

オブザーバー

2026-28 年度 国際理事候補者 松岡 勲（京都南）

ウィントラベル株式会社 加藤 勉

日本ライオンズ事務長 増澤 義治（諫訪湖）

◎開会宣言 国際大会委員会 委員長/専務理事	伊賀 保夫
◎一般社団法人日本ライオンズ 理事長 ご挨拶	喜多 友一
◎一般社団法人日本ライオンズ 副理事長 ご挨拶	廣田 晃一
◎2026-28 年度国際理事候補者 ご挨拶	松岡 勲

1. 本日の出席者確認及び進行について、出欠リストを元に確認。
2. 議事録作成人の指名 MD330 細川委員を指名。
3. 議案および確認事項

「第 108 回香港国際大会（2026 年 7 月 3 日-7 日）」最新情報の確認

(1) 大会登録について

・各 MD 登録状況の報告と代議員登録目標数の確認

前回設定した代議員登録目標数の確認。目標は合計 1,845 名であり、9 月 30 日時点でのクラブ数に 0.7 倍して算出している。執行理事会でも難しいという意見ではあったが、今大会では特に多くの代議員の参加をお願いするにあたり、努力目標として残しておく予定である。

・早期登録のお願い 発信文書の確認

国際理事 2 名と社団理事長・大会委員長の連名で配信済である。

今回は早期登録が 1 月 30 日と前回に比べて締め切りが早く、多くの皆様へ経済的にご参加をいただくことの周知を目的に文書を配信している。

・登録者数について

今後の国際大会委員会開催時に、各 MD 委員長より提出をお願いする。都度委員会にて登録状況の進捗を確認していく。

登録者数の集計方法については、準地区で取りまとめていただいた上、複合地区委員会の際に、準地区より報告いただくようにお願いする。

・各 MD の公認 TC による国際大会参加登録代行料についての質問あり。現時点において全国で代行料の統一をするなどの申し合わせについては、現時点で行われていないことが報告された。

(2) 公認ツアーコーディネーターについて

・各 MD 公認 TC 決定状況について事前に複合地区事務局へ確認した資料が示された。

MD330 ウィントラベル株式会社

MD331 未定

MD332 ウィントラベル株式会社

MD333 ウィントラベル株式会社

MD334 ウィントラベル株式会社

MD335 JTB

MD336 近畿日本ツーリスト

MD337 JTB（まだコンタクトが取れておらず変更の可能性あり）

・日中関係を懸念し、大会本部より安全性についての案内などが出されていないか質問あり。現時点では本部より文書などは出ておらず、日本からの香港への入国制限なども行われてはいないが、引き続き状況を注視していく。

・各MDが国際大会開催に合わせ、現地で主催している晩餐会については、開催エリアや規模などを旅行会社へMD担当者よりリクエストを行っていただきたい。香港ではテーブルごとに料金を算出することが多く、留意しておいてほしい。

(3) 大会会場/LCI 提携ホテル情報ならびに香港の交通機関について

・大会会場/LCI 提携ホテル 最新情報の確認

ウイントラベル加藤氏より報告。本部より提示されているホテルの中から、日本ホテルとして、2件並んでいる「ニューワールドミレニアム香港ホテル」「インターチンチネンタル グランド スタンフォード 香港」をリクエスト中である。なお、HPに掲載されている料金表に税金が加算されることについて、注意が必要。

現在はツイン200室・シングル100室の合計300室をリクエスト中。

前回のオーランド大会では全体で7割ほどの使用率となり、使用しなかった部屋数にはペナルティ料金が発生し、前回はTCが負担した。また部屋を抑える際にもデポジットが必要になる。

ペナルティ料金の発生を回避し、ツアーデ金を下げるためにも各MDで本当に必要な部屋数をご提出いただき、本部担当者と調整を行う予定。

伊賀国際大会委員長より、社団としても社団負担でのツアーデスク設置など、公認旅行会社利用の参加者のみがツアーデスク代を負担するという状況を改善し、ご参加いただきやすくするための取り組みを行っていく。ホテル部屋数についても、提出した部屋数を確実にご利用いただくようお願いする。

(4) パレード頒布品及びコンペ開催について

・2026-28年度松岡国際理事候補者(MD335)から提案されたパレード頒布品(キャップとポロシャツのセット・記念ピン)について、デザインの意図などが説明される。委員会内で慎重審議の結果、国際理事候補者側よりご提案いただいた、ポロシャツ&キャップのセット(色:JAPANブルー)および記念ピン1種類を採用させていただくことを決定した。

今回は、制作を担当する公認業者で申込みの対応や発送を行っていただく予定。ロット数毎の値段などは国際理事候補者より詳細を確認いただく予定。

・また、協議の結果、国際理事候補者にご提案いただいた記念ピンとは別に、交換ピンおよび缶バッジ、その他小物について、コンペを行うことを申し合わせた。

2026年1月5日（月）をデザイン提出締め切りとし、1月7日（水）13時30分からの次回大会委員会を2部制とし、コンペ・大会委員会会議を行うこととする。

4. その他（次回開催日程など）

代議員朝食会場については、開会式当日の早朝より会場であるアジア・エキスポに近いリーガル・エアポート・ホテルを検討中である。今後、国際理事とも打ち合わせを行う予定。

- ・代議員登録の手順について再確認。クラブからライオンポータルを通じて登録が必要。今後、委員会でも登録方法について共有を行っていく予定である。
- ・社団負担で設置するツアーデスクについては、公認TCへ業務を担当いただく予定。ツアーデスク代金についてはホテル確定後に理事会にも上程し、慎重に進める。
- ・パレードルートについての質問あり。まだ情報が出されていないことが確認された。
- ・第62回OSEALフォーラムのMDごとの最終登録者数が札幌フォーラム実行委員会より送られ、データが参加者へ示された。後ほど大会委員長に送付を行う。

◎閉会宣言 国際大会委員会 副委員長/副理事長

山崎 もとみ

- ・一致団結し、目標数へ向かって頑張っていきたい。

以上

議事録作成人

MD330委員 細川 孝雄

(2025-26 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 第 2 回 YCE 委員会【対面】議事要録

◎日 時：2025 年 10 月 30 日（木） 14:00-16:30

◎場 所：一般社団法人日本ライオンズ 会議室

出席者リスト

一般社団法人日本ライオンズ

理 事 長 喜 多 友 一 (上田城南)

専務理事 伊 賀 保 夫 (東京ピース) 【欠席】

YCE 委員会委員長 濱 田 浩 平 (長崎南)

YCE 委員会副委員長予定者 津 田 勝 之 (大阪桜ノ宮)

25-26 年度 各複合地区 YCE 委員

MD330 委員 田 代 哲 也 (南足柄)

MD331 委員 佐 藤 豪 一 (帯広かしわ)

MD332 委員 渡 部 政 介 (郡山西)

MD333 委員 星 野 勝 美 (太田)

MD334 委員 今 泉 雅 雄 (豊橋南)

MD335 委員 団 英 男 (神戸みなと)

MD336 委員 住 吉 孝 文 (玉野)

MD337 委員 中 川 誠 (宮崎フェニックス)

オブザーバー

日本ライオンズ事務長 増 澤 義 治 (諏訪湖)

以上

1. 開会宣言 招集権者

一般社団法人 日本ライオンズ YCE 委員会委員長 濱田 浩平

皆さん、こんにちは第二回 YCE 委員会を開催したいと思います。先週は札幌オセアルフォーラムお疲れ様でした。前回は Web での一回目会議でしたが、今回対面での会議です。今期の YCE の派遣状況等報告を頂いて課題等があれば皆さんで共有していこうと思いますので、よろしくお願ひします。

2. 一般社団法人 日本ライオンズ理事長 挨拶

喜多 友一

皆さん、お疲れ様です。北海道の OSEAL フォーラムではお疲れ様でした、一回目は Web でしたが、対面での開催は、集まるのが大変だと思いますが。よろしくお願ひします。

3. 出席者の確認 出席者リストの通り確認。

4. 議事録作成人の指名

MD336 住吉委員を指名。

5. 議題 確認事項および協議事項

【1. 前回議事録の確認】

第 1 回議事録の確認。

【2. 夏期交換反省と情報共有】

MD331 委員

1 週間キャンプを行いましたが、冷房が効かないトラブルがありました。今年は北海道でも気温が 37 度もあり、今後、扇風機・冷風機等の対策を行わないといけない。

MD332 委員

キャンプ開催にあたって、カムチャッカでの地震があり、津波警報での対応に苦慮しました。今後緊急事態にあたって対応マニュアルの検討を行おうと思います。

MD333 委員

受け入れには、問題がありませんでしたが、受け入れ終了後に日本旅行して帰った方が 2.3 名いました。終了後空港まで送り届けて、文

章にてサインをもらいライオンズの責任はここまでであると、責任の所在をはっきりさせておくことが必要。

MD334 委員

MD334 でも、日本に残り家族で旅行する方がいました。事前に現地コーディネータのサイン・家族のサインをもらい了解をいただき、空港に送り届けた後の責任の所在確認についても行っています。また、名古屋空港の発着便が少ないので、成田・羽田に来日する方が多かったので、前泊にて迎える費用がかさむことから、相手国と交渉後、中部空港に集約できるようになりました。

MD335 委員

派遣の件ですが、帰国後家族に話した内容ですが、マレーシアへの派遣生が夜遅くまでお酒を提供する店に連れていかれた、男性と車の中で二人にされたと、派遣生の家族からクレームがありました。現地クラブにも連絡しましたが、相手国の国民性などもあるかもしれませんが、今後この様なことが起こらないように申し入れを行っています。

MD336 委員

モルドバから 2 名受け入れ生が沿ドニエストル共和国（註：モルドバ東部、ウクライナ国境に接している地域にあり、ロシアの支援のもとでモルドバからの独立を宣言している事実上の独立国家であるが、国際的には未承認である）の子でした。帰国時に豪雨の為新幹線が運休し、1 人が予定通りに帰国できず変更した帰国便の費用をモルドバ負担で行いました。もう一人についてはホストファミリーの方が関西空港まで車で送り、帰国しました。
緊急時の負担については事前に取り決めが必要であると思われます。

MD337 委員

派遣生保険の写しを忘れた等書類不備がありました。

質問・意見

日本ライオンズ理事長 喜多 友一

受け入れ生について、皆さんの地区ではおもてなしについてどのようなことを行っていますか？行先など要望があると思いますが、どうですか？

MD332

東京に送って行く時に観光でディズニーに連れて行きます。ただ、

やりだすと自由時間が欲しいとか色々言ってくるので線引きはしますが。

MD330

日帰りで1日京都に連れて行きます。思い出の一つとして行っています。後は自宅で日本料理やウエルカムパーティーを行っています。また、各家庭の食事の写真はSNSにアップしないように取り決めています。

MD336

地元の高校に2日間体験授業を行っています。また、日本の子達と一緒にUSJや広島の原爆ドームに連れて行きます。

MD331

写真についてはWhatsAppというメッセージアプリで共有を行っています。

MD337

長崎原爆資料館など見学を行っています。

MD334

WhatsAppを使って家族と共有を行っています。YCEのOB・OG含めUSJに連れて行っています。

・その他意見として、日本からの派遣生も相手国にておもてなしを頂いているという意見の他、おもてなしは日本の文化であると思われるが、行き過ぎていなかどうかが懸念であるなどの意見がありました。

【質問・意見】

YCE委員会委員長 濱田 浩平

コロナ後YCEのOB・OGとの連絡について皆さんの地区ではどうですか？

MD330

今ディレクトリを上げると世界中より応募があり、たとえば25人募集に対して25人以上の募集が来るとキャンプ地で出来なくなる恐れがあり、受け入れについて検討中。

MD337

現在はシンガポールに絞って事業を行っている。

【3. 今年度冬期派遣/来日予定人数について】

(1) 各MDより人数報告と共有事項の確認

MD330	受入 マレーシア 3 名	派遣 0 名
MD331	受入 ニュージーランド 0 名	派遣 0 名
MD332	受入 マレーシア 1 名	派遣 2 名 マレーシア
MD333	受入 0 名	派遣 0 名 夏季のみ行う
MD334	受入 イタリア 5 名	派遣 4 名 イタリア
	受入 ドイツ 4 名	派遣 4 名 ドイツ
		派遣 4 名 台湾
	受入 マレーシア 10 名	派遣 0 名
MD335	受入 マレーシア 13 名	派遣 5 名 マレーシア (派遣について、マレーシアは MD335 が窓口となっているため、 他MDも含む。内訳 MD332 2名・MD335 1名 MD337 2名)
MD336	受入 台湾 10 名	派遣 10 名 台湾
MD337	受入 マレーシア 2 名	派遣 0 名
	受入 シンガポール 8 名	派遣 0 名

【4.YCE 事業の今後について】

(1) 各 MD 委員長より所感

各MD窓口国以外への、派遣・受入については8MDにて調整する
直接連絡が来た場合は受入等行なっていただき、報告をお願いします。
夏季予定についても日程スケジュールを早めに設定し、情報共有行う。

質問

キャンプを行う人数を教えてください

MD330 25名 MD331 25名 MD332 26名 MD333 25名 MD334 34名
MD335 25人 MD337 35名 MD336 36名

【5.その他】

【次回委員会日程の調整】

12月4日10時～ Webにて

6. 閉会の挨拶 YCE 委員会副委員長予定者 津田 勝之

皆様お疲れ様でした。委員長様方大変ご苦労をされていると思いますが、情報共有を行っていただき、良いものを作り上げていただきたいと思います。

以上

議事録作成人

MD336YCE 委員 住吉 孝文

(2025-26 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 第3回 YCE 委員会【WEB】議事要録

◎日 時：2025年12月4日（木） 10:00-12:00

◎場 所：Zoom システム

出席者リスト

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	喜多 友一	(上田城南)
専務理事	伊賀 保夫	(東京ピース)
YCE 委員会委員長	濱田 浩平	(長崎南)
YCE 委員会副委員長予定者	津田 勝之	(大阪桜ノ宮)

25-26 年度 各複合地区 YCE 委員

MD330 委員	青木 秀茂	(東京吉祥寺)【代理出席】
MD331 委員	佐藤 豪一	(帯広かしわ)
MD332 委員	渡部 政介	(郡山西)
MD333 委員	星野 勝美	(太田)
MD334 委員	今泉 雅雄	(豊橋南)
MD335 委員	団 英男	(神戸みなと)
MD336 委員	住吉 孝文	(玉野)
MD337 委員	中川 誠	(宮崎フェニックス)

オブザーバー

日本ライオンズ事務長 増澤 義治 (諏訪湖)

以上

1. 開会宣言 招集権者

一般社団法人 日本ライオンズ YCE 委員会委員長濱田 浩平より開会宣言。
MD335 団委員長がベストテン YCE 委員長を受賞したことが報告された。

2. 一般社団法人 日本ライオンズ 理事長 挨拶 喜多 友一

3. 出席者の確認

出席者の確認が濱田委員長よりあり出席者が確認された
MD332 の渡部委員は交通事情により遅れての出席。

4. 議事録作成人の指名

濱田委員長から MD335 団委員が指名された。

5. 議題 確認事項および協議事項

【1. 前回議事録の確認】

事前に送付された前回委員会議事録が異議なしで確認された。
MD336 で発生した悪天候による交通機関の停止等、緊急の際のあらかじめの取り決めの確認が必要である件など。

【2. 今年度冬季派遣最新情報】

①最新交換数の確認

派遣・来日の各複合地区の報告に基づき調整（修正）。
受け入れは 52 名（リストでは 56 名だったが一部重複していたので調整）。
派遣は 26 名で確定した。

②各MDより報告

フリー窓口化に伴い、MD へ非常に多くの国から連絡が寄せされることによる調整の複雑化、MD337 では複合事務局負担の増加により、複合を通さず地区単位で他のMD との交渉を行い派遣の調整を行っていることが報告された。

MD334 からはアイルランド・ダブリンで行われたヨーロッパフォーラムを訪れ、計 26 か国の委員長と交換について合意を行ったことが報告された。今後各MDへ欧州各國より連絡が直接行われる予定であり、MD334 を通さず直接交渉を行っていただく。

交換生が行きたい国へ行けるようにするためにどうすればよいか、の協議が行われ、

クラブごとで各国との交渉など意見が出たが、各 MD における派遣・来日についての調整は、YCE 委員会の場で必ず必要であるという意見あり。次回以降委員会で検討を進めていきたい。

相手国に対して派遣と来日を同数で調整する制度を採用していたが、近年同数での調整が難しくなっていることが課題として共有された。

【3. 次年度春・夏季事業交換予定の共有】

①各 MD 事業実施計画の確認

春は MD330 グアム・タイ。3/23-4/3 の予定である。

MD331:12-15 名でキャンプ予定。今夏、猛暑の中エアコンが故障したことを受けキャンプ地変更予定。派遣は 5 名ほど。現在 1 名ニュージーランド、1 名ヨーロッパ希望。

MD332:現在 12 か国より問い合わせあり。

MD333:夏季 10 名受け入れ確定。近年は派遣生を探すことが大変であるため早めに選定を行いたい。交換生との連絡用として、WhatsApp というアプリを導入提案。

MD334:欧州からの受け入れ開始、日本語ができる来日生 20 名ほどを予定。

MD335:派遣は詳細未定。受け入れについては B 地区が主管となり 20 名ほどのサマーキャンプを予定。

MD336:派遣・交換各 10 名を予定。台湾 3 名派遣以外は未定。台湾については、

MD335 で 2 名ほど受け入れ予定。3 月ごろより案内を出す予定。

MD337:派遣 12 名予定。5 地区で数を割り振っているが大幅に希望を上回る地区もあり、今後他 MD にも相談しつつ、調整を行っていくことになると思われる。

- ・各地区で募集・調整を進める。派遣・来日の人数バランスについては柔軟に対応を行っていく。
- ・ホストファミリー・交換生との連絡手段改善 (WhatsApp 等) を検討。
- ・現在さまざまな国より各 MD に直接寄せられている問い合わせについては、一度日本ライオンズ YCE 委員会において集計や情報交換が必要ではないかという意見あり。

②チェコ・スロバキアからの夏季交換連絡の共有

11月初旬に連絡をもらっていた MD333 で交渉が進んでいる中だが、チェコ・スロバキアの担当者より各 MD へキャンプ・交換について連絡があり。

MD333 で今後について協議した結果が共有され、後日改めて各 MD へ先方より連

絡がある予定である。今後対応方法の統一を検討していく。

【4. その他】

- ・現時点での窓口確認。現在のところ変更希望などなし。
- ・寒波による体調管理の注意喚起、連絡手段多様化の課題について共有。

【5. 次回委員会日程の調整】

1月末～2月上旬に東京で対面開催。詳細は後日決定する。

6. 閉会の挨拶 日本ライオンズ YCE 委員会副委員長予定者 津田 勝之

以上

2025年12月5日

議事録作成人
ライオンズクラブ国際協会
335複合地区YCE委員長 団 英男

(2025-26 年度)

第 2 回アラート委員会 (Web) 議事要録

◎日 時：2025 年 11 月 11 日 (火) 13:30-15:00

◎場 所：Zoom

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

2025-26 年度 理事長	喜多	ともかず	(上田城南 LC)
2025-26 年度 専務理事	伊賀	やすお	(東京ピース)
2025-26 年度 アラート委員会委員長	藤井	のぶひで	(岡山みらい LC)
2025-26 年度 アラート委員会副委員長	車田	のぶひこ	(玉川 LC)

2025-26 年度 アラート委員

330 複合地区	大屋	たもつ	保 (川越 LC)
331 複合地区	浅野	けいいち	敬一 (北見中央 LC)
332 複合地区 (副委員長)	三瓶	こういち	浩一 (郡山東 LC) 【代理出席】
333 複合地区	三枝	ひさお	久夫 (佐野西 LC) 【欠席】
334 複合地区 (MD 奉仕委員会委員長・GST CN)	山本	もとひろ	基博 (恵那 LC)
335 複合地区	吉川	しげひろ	繁浩 (堺 LC)
336 複合地区	廿日出	かずはる	廿日出 (東広島あきつ LC)
337 複合地区	高野	ゆうこ	裕子 (熊本平成 LC)

2025-26 年度 日本ライオンズ アラートチーム

アラートアドバイザー	新里	まさお	正雄 (沖縄 LC)
東日本統括リーダー	木村	ともり	知紀 (青森 ZERO LC)
西日本統括リーダー	畠中	なかゆき	隆之 (岡山みらい LC)

オブザーバー

日本ライオンズ事務長	増澤	よしはる	義治 (諏訪湖 LC)
------------	----	------	-------------

1. 議事録作成人の指名

MD331 浅野 敬一 委員、 MD335 古川 繩浩 委員

2. 議 案

(1) 「全国アラートフォーラム in大阪」開催進捗 (2026年3月13日)

MD335古川委員報告

3月13日にリーガロイヤルホテル大阪で全国アラートフォーラムを開催予定。分科会、フォーラム本体、交流会の3部構成とする。予算案の提示。フォーラム参加費2000円、懇親会費1万円

藤井委員長

会場費や参加人数の見積もりに疑問があり、大阪市内の安価な会議室利用を検討してはどうか。

参加者動員数は過去の実績を踏まえて計画を立て、予算案は詳細な収支計画を再検討し理事会に提出。

参加者周知を早急に行い、参加者の増加を各地区に要請する。

各地区委員

各地区委員より、現時点での予測参加人数の報告

坂本L報告

分科会の詳細の説明

第一分科会は第一、第二副地区ガバナー及びオブザーバーとして、LCIF委員会、アラート委員会構成メンバーとする。

第二分科会は、リジョン、ゾーンチェアパーソン、準地区LCIFコーディネーター、委員長 準地区アラートコーディネーター、委員長 他一般会員とする。

(2) 「日本アラート委員会」への提案

東日本統括リーダー木村L

規定改定の提案

ライオンズクラブのアラート活動の重要な規定

これまでの規定をブラッシュアップし、それぞれの役割の明確化と、被災者、被災地に対し素早い支援活動が行えるよう作り直した。

第3回アラート会議にて協議し理事会に提出したい。

(3) 各MD活動報告、その他

第3回アラート委員会はZOOMではなくリアルで行いたい。

(4) 次回、アラート委員会開催日程 未定 2026年 1月19日の週に行いたい。

以上

2025年11月12日

議事録作成人：

MD331アラート委員 浅野 敬一

MD335アラート委員 古川 繩浩

2025-26年度

第2回ライオン誌日本語版委員会 議事要録

◎日 時： 2025年10月7日（火）14:30～16:45

◎場 所： 一般社団法人日本ライオンズ 会議室（Zoom併用）

◎出席者：

国際理事

仁科 良三（長野みすずLC） *欠席

国際理事

田名部智之（青森県・八戸LC） *欠席

【一般社団法人日本ライオンズ】

理事長

喜多 友一（長野県・上田城南LC）

専務理事

伊賀 保夫（東京ピースLC）

PRマーケティング委員会委員長

廣田 晃一（兵庫県・姫路中央LC）

PRマーケティング委員会副委員長

水沼 孝夫（栃木県・真岡LC） *欠席

事務長

増澤 義治（長野県・諏訪湖LC）

【ライオン誌日本語版委員会】

編集長／337複合地区委員

渕野二三世（大分LC）

330複合地区委員

田中 明（埼玉県・和光LC）

331複合地区委員

馬場 哲也（北海道・函館東LC） *欠席

332複合地区委員

岡田 殉（青森県・五所川原LC） ○Zoom

333複合地区委員

後藤 一男（栃木うづまLC） ○Zoom

334複合地区委員

前田 磨（静岡県・三島LC）

335複合地区委員

秋山洋一郎（京都紫明LC）

336複合地区委員

山田 隆嗣（岡山県・津山衆楽LC）

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

① 2024年7月～25年8月 ライオン誌関係会計報告

収入のうち国際協会の補助金及び翻訳料は半期終了後に入金となることを確認。

費用の直接出版費（印刷版）の原稿料・編集費で予算を上回る費用が乗じていることについて、社団事務長から、今期予算決定後にレイアウト費用の科目的変更を行ったことによるもので、全体の収支への影響はないとの説明があった。

印刷版の発送について、住所登録の不備による返送分が毎回150件程度あると報告あり。次回委員会でデータを確認して対応を検討する。

2. ウェブマガジン編集関係

① 2025年10月号（10月1日公開）出来

発行済みの10月号の仕上がりを確認。特に問題なし。

② 2025年11月号以降更新予定（案）

11月号は予定通りに進行中。12月号、26年1月号の取材対象候補を選んだ。

「取材リポート」はできるだけ対象クラブの所属複合地区の委員が取材を担当し、交通費は前年度委員会で決定した通り支給。

3. 印刷版編集関係

① 2025年秋号（10月25日発行予定）台割

台割に沿って編集した記事を確認した。

② 2026年冬号（1月25日発行予定）台割（案）

基本36ページの台割を確認し、未定の7ページの内容を検討。10～11月に行われる札幌フォーラム、国際会長公式訪問他の公式行事は取材記事で取り上げることとし、4ページ増やして台割を修正する。

③ 読者感想・意見

夏号「読者プレゼント」応募者から寄せられた感想・意見を確認し、意見交換。読者からの要望にあったアーカイブ記事を再開する。

4. その他

① ライオン誌活用促進とウェブマガジン普及

メールニュースの配信結果を確認。

ライオン誌LINE登録者を増やすため、登録増に向けて各委員が活動する。

② 2025年版クラブ・アンケート集計

アンケート集計結果を確認、次回実施時の追加項目を検討。

③ 「ライオンズクラブ入門」改訂

改訂に向け、前回委員会後に各委員が内容を確認した。国際会則の改訂等に伴う変更や、用語の統一などの修正を行う。

<次回開催予定>

第3回委員会： 11月4日（火）10:00～12:00（Zoom）

第4回委員会： 12月4日（木）14:00～16:00（Zoom）

議事録作成 田中 明（330複合地区委員）

2025-26年度

第3回ライオン誌日本語版委員会（ウェブ） 議事要録

◎日 時：2025年11月4日（火）10:00～12:00

◎場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議室（Zoom）

◎出席者：

国際理事	仁科 良三（長野みすずLC）
国際理事	田名部智之（青森県・八戸LC） *欠席

【一般社団法人日本ライオンズ】

理事長	喜多 友一（長野県・上田城南LC） *欠席
専務理事	伊賀 保夫（東京ピースLC）
PRマーケティング委員会委員長	廣田 晃一（兵庫県・姫路中央LC）
PRマーケティング委員会副委員長	水沼 孝夫（栃木県・真岡LC）
事務長	増澤 義治（長野県・諏訪湖LC）

【ライオン誌日本語版委員会】

330複合地区委員	田中 明（埼玉県・和光LC） *欠席
331複合地区委員	馬場 哲也（北海道・函館東LC）
332複合地区委員	岡田 殉（青森県・五所川原LC）
333複合地区委員	後藤 一男（栃木うづまLC）
334複合地区委員	前田 磨（静岡県・三島LC）
335複合地区委員	秋山洋一郎（京都紫明LC）
336複合地区委員	山田 隆嗣（岡山県・津山衆楽LC）
337複合地区委員	渕野二三世（大分LC）

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

① 2025年7月～25年9月ライオン誌関係会計報告

前回の報告以降大きな動きはなく、順調に推移している。印刷版発送料に関し、前回委員会でデータを検証することにした個人発送の不達分については、10月発行の秋号のデータを確認する。

2. ウェブマガジン編集関係

① ウェブマガジンのドメイン変更

10月16日にウェブマガジンへのアクセスが停止した件について事務局から経過報告があった。新ドメインで20日にアクセスが再開し、複合地区及び地区に通知。リンク切れにより写真が表示されていない記事は、手作業で順次修正する。

② 2025年11月号（11月1日公開）出来

特に問題なし。配信が遅れていた「国際会長メッセージ」は編集作業中で、準備ができ次第公開する。

③ 2025年12月号～26年1月号更新予定（案）

12月号「取材リポート」（大分県・中津LC）は渕野編集長（337）、1月号「取材リポート」（愛知県・名古屋みなとLC）は前田委員（334）、同（高知桜LC）は廣田委員長が取材を担当する。

④ 取材対象候補

2026年1、2月実施予定のアクティビティのリストを基に取材対象候補を協議。各委員が候補に挙げた活動の実施予定日を事務局で調べた上、取材の可否を検討する。取材対象候補はクラブアンケートで回答のあった情報や取材依頼があった活動から選考しているが、地区の事業も対象とし、各委員が複合地区内の情報を収集する。

また、11月に実施される主要行事の取材予定と担当を確認。オセアルレオフォーラム（11/7-9 大阪）は秋山委員（335）が担当。全日本女性シンポジウム（11/19 東京）とキャンパスクラブカンファレンス（11/22-23 名古屋）は主催者側に原稿を依頼し、写真は事務局が撮影する。

3. 印刷版編集関係

① 2025年秋号（10月25日発行／79,200部）出来

発行済みの秋号の仕上がりを確認。渕野編集長から各委員に、クラブや会員の反応を収集するよう要請があった。

② 2026年冬号（1月25日発行予定）台割（案）

前回委員会での検討を踏まえて通常の台割に8ページ増やし44ページの台割を確認した。札幌フォーラム、国際会長公式訪問、GAT関係の催しなど日本国内で行われた主要行事の記事を掲載する。

4. その他

① ライオン誌活用促進とウェブマガジン普及

10月のメールニュース配信結果とLINE公式アカウントの登録数を確認。LINEの登録数は昨年12月からやや減少している。登録を増やすには複合地区及び地区においてPR活動が必要。ライオン誌活用促進に向けて各複合地区及び地区との連携を図るため、廣田委員長からPRマーケティング委員会との合同委員会開催の提案があり、2026年2月に開催することとした。

② 「ライオンズクラブ入門」改訂

改訂作業がやや遅れているが、11月後半に完了予定との報告が事務局からあった。

＜次回開催予定＞

第4回委員会： 2025年12月4日（木）14:00～16:00（Zoom）

第5回委員会： 2026年 1月8日（木）14:00～16:00（Zoom）

第6回委員会： 2026年 2月4日（水）14:30～16:45（日本ライオンズ事務所／Zoom併用）

* 第6回はPRマーケティング委員会と合同開催

議事録作成：前田 磨（334複合地区委員）

2025-26年度

第4回ライオン誌日本語版委員会 議事要録

◎日 時 : 2025年12月4日 (木) 14:00～16:00

◎場 所 : 一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議室 (Zoom)

◎出席者 :

国際理事 仁科 良三 (長野みすずLC)

国際理事 田名部智之 (青森県・八戸LC)

【一般社団法人日本ライオンズ】

理事長 喜多 友一 (長野県・上田城南LC)

専務理事 伊賀 保夫 (東京ピースLC)

PRマーケティング委員会委員長 廣田 晃一 (兵庫県・姫路中央LC)

PRマーケティング委員会副委員長 水沼 孝夫 (栃木県・真岡LC) *欠席

事務長 増澤 義治 (長野県・諏訪湖LC)

【ライオン誌日本語版委員会】

編集長／337複合地区委員 淀野二三世 (大分LC)

330複合地区委員 田中 明 (埼玉県・和光LC)

331複合地区委員 馬場 哲也 (北海道・函館東LC)

332複合地区委員 岡田 殖 (青森県・五所川原LC) *欠席

333複合地区委員 後藤 一男 (栃木うづまLC) *欠席

334複合地区委員 前田 磨 (静岡県・三島LC)

335複合地区委員 秋山洋一郎 (京都紫明LC)

336複合地区委員 山田 隆嗣 (岡山県・津山衆楽LC)

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

① 2024年7月～25年10月ライオン誌関係会計報告

正味財産増減計算書を確認し、印刷版の出版費は予算執行率28.3%で問題無く推移しているとの説明がなされた。また、出版費の原稿料・編集費の執行率が288.8%になっているが人件費から一部費用を移動し増加したものでトータルでは大幅な変動はないとの説明がなされた。この件に関しては、予算の補正や勘定科目の調整を行い正確な予算状況を示すことが望ましいとの意見が出された。

② 印刷費値上げ要請

印刷会社から印刷費値上げの希望があり、当初見積で17.25%増のところ交渉の結果12.83%増に抑えられた事が報告された。2026年冬号からの値上

げ要請に応じる事を承認した。

2. ウェブマガジン編集関係

① 2025年12月号（12月1日公開）出来

12月号ウェブマガジンの取材報告として、現場取材を行った委員から報告があり、実際の活動の様子を深く理解したとの感想を共有した。渕野編集長が担当した中津ライオンズクラブの取材記事に対し、名誉顧問から感謝のメールが届き、例会で配布されるなど好評を得たとの報告がなされた。

② 2026年1～2月号更新予定（案）

1月号取材の報告として、廣田委員長が取材経験を述べ、記事作成のポイントや和気あいあいとした活動の雰囲気、当日は新聞社の取材も入ったことなどが報告された。写真撮影には一眼レフカメラを用いたが、取材時には相応の機材を使用することが望ましいとの指摘があった。2月号の取材候補について、前回委員会で挙げた活動の実施日と内容について事務局から詳細説明があった。その中から、332複合地区内のクラブの取材候補事業について岡田委員の取材可能性を確認し、調整することが決定された。1月末と2月実施予定の活動については、3月号の候補として333、335、337複合地区内の事業を選んだ。選定された取材候補については複合地区選出の委員が積極的な取材活動を推進することが合意された。

3. 印刷版編集関係

① 2025年秋号 読者感想・意見

読者プレゼント応募者216人の感想を基に、春号特集の企画ヒントや編集への反映について意見交換を行った。

② 2026年冬号（1月25日発行予定）台割（案）

冬号の基本構成案を確認した。「新会員の横顔」の掲載候補者発掘など企画対象者探しが課題となっており、各複合地区委員各位に候補者探しの協力を依頼。「日本ライオンズ情報」ページの執筆者選定は委員長に一任された。

③ 2026年春号（4月25日発行予定）台割（案）

春号の基本構成案を確認。渕野編集長より世界遺産シリーズの表紙案の説明があった。特集の企画案としてYCE、夫婦や親子メンバー、スペシャルオリエンピックス日本、小児がん・一型糖尿病、災害支援などのテーマが提案され、意見交換が行われた。

会員増強と特集企画の方向性について議論し、YCE経験者の会員や親子会員・夫婦家族会員、またクラブ支部を取り上げることで、会員増強につながる企画が望ましいとの意見が出された。春号特集はこれら三つに絞って特集を組むことを想定し、具体的な情報を各複合地区委員が収集して12月22日までに事務局へ提供して、次回委員会で確認することとした。提案された他の

テーマについては春号以後の特集の候補とし、各委員が情報収集を進める。特集企画では具体的なクラブやメンバーの取材を重視し、八複合地区の委員から積極的に情報提供してもらい、記事作成に活用する事が重要とされた。欠席委員にも情報提供の重要性を伝え、積極的な情報共有を依頼する。

4. その他

① 印刷版個人発送返戻分

ライオン誌の個人発送の到達率はほぼ100%であるが、ライオン誌の活用促進と発送費用削減のため、クラブ一括発送への移行を今年度中に検討したい意向が廣田委員長から示され、複数の委員からクラブ一括発送の賛同意見が出された。事務局が幹事の自宅住所となり年単位での住所変更が必要となるなどの課題を認識しつつも、事務局一括発送により例会での配布を行い記事閲読率向上も期待できる為、早期の実施を望む声が多く、例会での配布を通じて情報の周知拡大を図る方針が共有された。委員会で早急に方針を決定し、理事会に提案して進めるべきとの意見が出された。

② ライオン誌活用促進とウェブマガジン普及

配信メールの送達率は99%だが開封率は約3割で横ばい。LINE公式アカウントの登録者数は頭打ち傾向にある。ライオン誌の閲覧率向上と、LINE登録を促進するための例会を、年2～4回実施する案が提案された。

③ PRマーケティング委員会との合同会議

2月4日にPRマーケティング委員会との合同会議を日本ライオンズ事務所で開催し、ライオン誌のPR戦略について意見交換を行う予定で、廣田委員長がより多くの委員参加を呼びかけた。

<次回開催予定>

第5回委員会： 1月8日（木）14:00～16:00（Zoom）

第6回委員会： 2月4日（水）14:30～16:45（日本ライオンズ事務所／Zoom併用）

* 第6回はPRマーケティング委員会と合同開催

議事録作成：秋山洋一郎（335複合地区委員）

(報告第2号)

● 会員並びにクラブ活動状況報告集計表他

- ・ サバンナ基本集計表 2025年12月度
- ・ サバンナLCIF寄付実施状況一覧 2025年12月度
- ・ LCIF1000 ドル寄付者一覧 2025年7月～12月

			アクティビティ			労力奉仕			例会出席率	会員異動						女性内訳		会員内訳			特典会員を除く	さらに支部会員を除く
R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	期首	前月末	入会	退会	当月末	女性	正会員	子会員	正会員	支部	特典会員					
1	1	釧路	0	0	1	1	100	27	27	0	0	27	7	1	6	20	9	7	20	11		
1	1	白糠	0	0	0	0	100	7	7	0	0	7	0	0	0	7	0	0	7	7		
1	1	標茶	1	90,000	0	0	100	33	33	0	1	32	4	0	4	28	0	4	28	28		
1	1	釧路みなと	1	156,547	0	0	90.6	57	59	2	0	61	18	3	15	45	13	16	45	32		
1	1	釧路温泉	1	4,000	0	0	100	17	17	0	0	17	1	1	0	17	0	0	0	17		
1	2	根室	2	135,655	0	0	85.1	36	38	0	0	38	14	3	11	27	0	11	27	27		
1	2	羅臼	0	0	2	8	100	15	13	0	0	13	5	0	5	8	0	5	8	8		
1	2	釧路ぬさまい	3	151,735	1	9	60.8	63	63	0	1	62	20	2	18	36	0	26	36	36		
1	2	中標津	3	0	0	0	100	17	17	0	0	17	3	3	0	17	0	0	0	17		
1	2	釧路ゆうやけ	2	81,300	0	0	63.6	44	51	0	0	51	3	1	2	49	16	2	49	33		
		リジョン小計	13	619,237	4	18		316	325	2	2	325	75	14	61	254	38	71	254	216		
			アクティビティ			労力奉仕			例会出席率	会員異動						女性内訳		会員内訳			特典会員を除く	さらに支部会員を除く
R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	期首	前月末	入会	退会	当月末	女性	正会員	子会員	正会員	支部	特典会員					
2	1	旭川	25	72,620	0	0	80	26	28	0	0	28	5	2	3	25	0	3	25	25		
2	1	旭川大雪	46	720,130	0	0	68.1	42	48	0	0	48	1	1	0	46	0	0	0	46		
2	1	旭川平和	0	0	0	0	76.6	28	31	0	0	31	0	0	0	31	0	0	0	31		
2	1	当麻	4	150,331	3	5.5	90.6	16	16	0	0	16	0	0	0	16	0	0	0	16		
2	1	愛別	2	70,000	0	0	86.9	23	23	0	0	23	0	0	0	23	0	0	0	23		
2	1	東川	0	0	0	0	71.1	26	28	0	0	28	1	1	0	26	0	0	0	26		
2	2	旭川中央	0	0	0	0	100	14	16	0	1	15	3	1	2	13	0	2	13	13		
2	2	富良野	2	237,227	2	53.5	85.3	64	67	0	0	67	14	8	6	61	2	6	61	59		
2	2	上富良野	0	0	0	0	82.8	34	34	0	0	34	7	7	0	34	0	0	0	34		
2	2	旭川ナカマド	0	0	0	0	100	26	28	0	0	28	2	2	0	26	0	0	0	26		
2	2	旭川クリスタル	0	0	2	22	83.3	17	18	0	1	17	2	2	0	17	0	0	0	17		
2	2	旭川バーチャル	0	0	22	60	78.5	20	21	0	2	19	1	1	0	19	0	0	0	19		
		リジョン小計	79	1,250,308	29	141		336	352	0	4	348	36	25	11	337	2	11	337	335		
			アクティビティ			労力奉仕			例会出席率	会員異動						女性内訳		会員内訳			特典会員を除く	さらに支部会員を除く
R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	期首	前月末	入会	退会	当月末	女性	正会員	子会員	正会員	支部	特典会員					
3	1	帯広	1	50,000	0	0	76.4	22	22	0	0	22	5	1	4	17	0	5	17	17		
3	1	本別	2	427,500	2	10.5	60.8	25	24	0	0	24	3	2	1	23	0	1	23	23		
3	1	十勝池田	1	30,000	0	0	75	15	16	0	0	16	0	0	0	16	0	0	0	16		
3	1	音更	0	120,000	0	0	66.3	41	46	0	0	46	6	6	0	46	0	0	0	46		
3	1	浦幌	4	110,000	0	0	55.5	13	13	0	0	13	1	1	0	13	0	0	0	13		
3	1	豊頃	21	125,628	0	0	84.2	18	19	0	0	19	0	0	0	19	0	0	0	19		
3	1	幕別	1	30,000	0	0	100	17	17	0	0	17	1	1	0	17	0	0	0	17		
3	1	帯広かしわ	2	175,776	2	93	100	24	24	0	0	24	2	2	0	24	0	0	0	24		
3	2	帯広中央	0	0	0	0	73.3	27	27	0	2	25	5	0	5	20	4	5	20	16		
3	2	帯広平原	14	241,391	1	18	66	26	29	0	0	29	4	3	1	28	0	1	28	28		
3	2	鹿追	4	95,687	0	0	72.2	17	18	0	0	18	0	0	0	18	0	0	0	18		
3	2	上士幌	0	50,000	0	0	76.3	18	19	0	0	19	0	0	0	19	0	0	0	19		
3	2	芽室	3	100,000	0	0	75	25	20	0	0	20	1	1	0	20	0	0	0	20		
3	2	帯広鉢蘭	4	22,326	4	42	100	16	15	1	0	16	5	1	4	12	0	4	12	12		
3	2	帯広さくら	4	35,000	4	32	50	11	11	0	0	11	11	8	3	8	0	3	8	8		
		リジョン小計	61	1,613,308	13	195.5		315	320	1	2	319	44	26	18	300	4	19	300	296		
			アクティビティ			労力奉仕			例会出席率	会員異動						女性内訳		会員内訳			特典会員を除く	さらに支部会員を除く
R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	期首	前月末	入会	退会	当月末	女性	正会員	子会員	正会員	支部	特典会員					
4	1	留萌	0	0	0	0	81.2	24	24	0	0	24	9	3	6	18	0	6	18	18		
4	1	羽幌	1	50,000	0	0	84.4	41	41	0	0	41	13	1	12	29	0	12	29	29		
4	1	留萌みなと	0	0	0	0	76.3	56	57	0	2	55	21	4	17	37	0	18	37	37		
4	1	遠別	3	85,000	0	0	66.8	15	16	0	1	15	1	1	0	15	0	0	0	15		
4	1	増毛	27	527,030	55	11	86	26	26	0	1	25	3	3	0	24	0	1	24	24		
4	2	名寄	2	10,000	2	10	81	45	47	0	1	46	4	3	1	44	0	2	44	44		
4	2	土別	2	165,847	1	1	73.5	39	38	0	0	38	1	0	1	37	0	1	37	37		
4	2	美深	0	0	0	0	88.4	13	13	0	0	13	0	0	0	13	0	0	0	13		
4	3	稚内	2	139,390	2	50	90.4	27	29	0	0	29	11	4	7	21	0	8	21	21		
4	3	枝幸オホーツク	2	68,000	0	0	70	18	18	0	1	15	5	2	3	12	0	3	12	12		
4	3	幌延	0	0	0	0	58.3	18	18	0	0	18	4	4	0	18	0	0	0	18		
4	3	歌登	0	0	0	0	75	15	17	0	0	17	7	1	6	11	0	6	11	11		
4	3	猿払	3	300	0	0	59	22	22	0	0	22	1	1	0	22	0	0	0	22		
4	3	稚内北斗	5	215,000	2	26	48.6	74	74	0	0	74	23	9	14	52	13	22	0	22		
		リジョン小計	47	1,260,567	62	98		431	438	0	6	432	103	36	67	353	13	79	353	340		
			アクティビティ			労力奉仕			例会出席率	会員異動						女性内訳		会員内訳			特典会員を除く	さらに支部会員を除く
R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	期首	前月末	入会	退会	当月末	女性	正会員	子会員	正会員	支部	特典会員					
5	1	北見	1	38,000	1	5	100	36	38	0	0	38	3	3	0	38	0	0	38	38		
5	1	置戸	1	50,000	0	0	58.3	11	12	0	0	12	1	1	0	12	0	0	12	12		
5	1	遠軽	0	0	0	0	77	25	24	0	1	23	0	0	0	23	0	0	0	23		
5	1	北見白樺	2	415,744	1	5	70.5	76	78	0	1	77	29	11	18	56	9	21	56	47</		

LCIF寄付実施状況一覧 2025年12月度 (報告第2号)会員並びにクラブ活動状況報告 集計表

今期目標15万ドル			実績	\$110,809	74%
MJF			\$59,000	\$1000未満	\$51,809

1000ドル寄付者

2025~2026 1000ドル寄付					寄付額	回数	人数
月	R	Z	クラブ名	会員氏名			
7月	1	1	釧路みなと	大島 尚久	5,000	13	23
	1	1	釧路みなと	井田 正昭	3,000	25	
	1	1	釧路	中谷 宣巨	1,000	28	
	1	1	釧路みなと	大津 幸三	1,000	2	
	1	1	釧路みなと	武田 真使	1,000	2	
	1	1	釧路みなと	松並 正幸	1,000	2	
	1	1	釧路みなと	佐々木 良吉	1,000	1	
	1	1	釧路みなと	浅野 一弘	1,000	3	
	1	1	釧路みなと	浅野目 充	1,000	1	
	1	1	釧路みなと	吉岡 幸二	1,000	1	
	1	1	釧路みなと	石田 健太郎	1,000	1	
	1	1	釧路みなと	熊谷 明男	1,000	1	
	1	1	釧路みなと	菅野 貴光	1,000	1	
	1	1	釧路みなと	西池 聰	1,000	1	
	1	1	釧路みなと	木村 宏幸	1,000	1	
	1	1	釧路みなと	大森 一道	1,000	1	
	1	1	釧路みなと	小原 修幸	1,000	1	
	2	1	当麻	佐藤 利博	1,000	1	
	2	2	富良野	佐藤 信雄	1,000	14	
	2	2	富良野	滝谷 正文	1,000	1	
	2	2	富良野	坂本 斎	1,000	3	
	3	2	帯広中央	香川 俊雄	1,000	18	
	4	1	羽幌	橋本 修司	1,000	1	
8月	2	2	富良野	広瀬 寛人	1,000	7	11
	2	2	富良野	奥野 裕史	1,000	5	
	2	2	富良野	小山 芳明	1,000	1	
	3	1	帯広	石邑 義幸	1,000	8	
	3	2	帯広平原	矢吹 定夫	1,000	4	
	3	2	帯広平原	田邊 宏	1,000	3	
	3	2	帯広平原	清野 芳明	1,000	1	
	4	1	留萌みなと	柳澤 豊	1,000	5	
	5	1	北見	伊東 隆志	2,000	8	
	5	2	北見中央	浅野 敬一	1,000	19	
	5	2	北見中央	伊藤 光隆	1,000	8	
9月	1	1	標茶	木下裕幸	1,000	2	8
	1	1	釧路みなと	井田 正昭	1,000	26	
	1	1	釧路みなと	榎田 欣也	1,000	1	
	3	1	音更	林 郁雄	1,000	1	
	3	1	音更	大熊 秀之	1,000	1	
	3	1	音更	松本 光伸	1,000	1	
	3	1	帯広さくら	高橋 好志子	1,000	6	
	4	2	名寄	村山 聰	1,000	8	
10月	1	1	標茶	熊谷 一行	1,000	1	7
	1	1	釧路みなと	井田 正昭	1,000	27	
	1	1	釧路みなと	大島 尚久	1,000	14	
	1	2	中標津	長谷川 松美	1,000	7	
	3	1	帯広	稻川 議一	1,000	3	
	4	3	稚内北斗	井ノ浦 義明	1,000	39	
	5	2	北見中央	浅野 敬一	2,000	21	
11月	1	1	釧路みなと	井田 正昭	1,000	28	1
12月	1	1	釧路みなと	井田 正昭	1,000	29	1

L C I F交付金 使用状況中間報告

今年度、地区シェアリング交付金申請可能額→33,762 ドル

◆これまでの申請状況◆

地区シェアリング交付金

2025年4月9日 海洋プラスチックゴミによる
海洋汚染問題について小学生への啓蒙活動
7,677 ドル 交付済 資料①

クラブシェアリング

(1) 2025年6月 旭川平和LC
1,148 ドル 交付済 資料②

(2) 2025年10月 鈴鹿ぬさまいLC
2,007 ドル 交付済 資料③

(3) 2025年10月 稚内北斗LC
1,376 ドル 交付済 資料④

(4) 2025年11月 北見中央LC
3,648 ドル 交付済 資料⑤

(5) 2025年11月 鈴鹿ぬさまいLC
2,030 ドル 交付済 資料⑥



地区及びクラブシェアリング交付金申請書/DCG Application

提出先：lcifdistrictandclub@lionsclubs.org

1 申請の概要/Project Description 申請年月日/Submission Date 2025年 4月 9日

① 申請者/Applicant 地区申請 地区名 331-B
 クラブ クラブ名 _____ クラブ番号 _____

② 申請者の連絡先/Contact 代表者(事業内容を説明できる人)
氏名(漢字) 大島 尚久 (ローマ字) Oshima Naohisa
電話 090-6871-6496 Eメール honosae5@outlook.com

③ プロジェクト名と実施場所/Project Name and Location

- a. プロジェクト名 海洋プラスチックゴミによる海洋汚染問題について小学生への啓蒙活動
- b. 実施場所 331-B 地区内 3ヶ所で講演、地区内小学校約 400 校へ教材の配布、清掃活動

④ この事業で支援する人道的なニーズ/Description of unmet needs addressed by the project

小学生に対する環境教育を考えた時これから深刻化すると思われる、プラスチックゴミによる海洋汚染を避けては通れないと思われます。海は地球の 7 割を占めます。331-B 地区は 3 つの海(太平洋、日本海、オホーツク海)に囲まれた世界でも珍しい地区です。港町に暮らし、身近に海を見ている子供たちに海の環境が加速度的に破壊されつつあることを知ってもらうとともに、カーボンニュートラルという大きな視点で考え、SDGs14 番目の海の豊かさを守ろう! の目標とともに、一人一人に授業の中で身近なことで出来ることを考える機会を持ってもらいたい。これから世代に北海道の豊かな海を守っていくための一助となるような教材は、それをライオンズクラブが使用し講師となり、授業として毎年行い、子供たちや保護者と一緒に海岸清掃、河川清掃等を行うきっかけとなります。海はもちろん、川、山、陸全体の清掃活動に波及させ、それを持続的に行う事は、ライオンズクラブの奉仕のインパクトを高め、広く地域社会貢献に結びつく事となりそれを目指します。

⑤ この事業の受益者と人数/Beneficiaries 下記 a.及び b.で記載ください。

- a. この事業が奉仕する人々(受益者)の説明/Description of beneficiaries

留萌市立留萌小学校、網走市立白鳥台小学校、釧路鳥取小学校児童 約 70 名、地区内小学校約 400 校、地区内全体で海岸清掃、海岸のない場所は河川清掃等を行う、毎年持続して活動するので受益者は増え続けます。

- b. 受益者の数/# of beneficiaries 1,000 人

⑥ 事業計画/Plan and Schedule

- a. 事業実施日と企画から実施までのスケジュール/Schedule (実施日は年月日を明記し時系列で説明)

【2025.9】 日本海に面した留萌市、留萌市立小学校で講演 9/5、オホーツク海に面した網走市、白鳥台小学校 5.6 年生で講演 9/24(その授業は毎年恒例とする予定)、太平洋に面した釧路市、釧路市鳥取小学校 6 年生の授業で講演 9/25

・講師は北海道博物館より招き、海洋プラスチックゴミ問題の講演、その様子を録画。

【2025.11】 録画した授業内容、海岸で撮影したごみの実態等を編集し DVD を作成し、地区内約 400 校、地区内ライオンズクラブ 66 クラブへ配布、その後、地元ライオンズクラブから自治体、小学校へ働きかけてもらい DVD を活用した授業を行ってもらうとともに、一緒に清掃活動をする。

- b. 事業に参加するライオンズや協力団体とそれぞれの役割/Lions and partners involved and their roles
- ・釧路市、網走市、留萌市、各教育委員会…事業についての周知の側面からの支援
 - ・北海道博物館 …講師の派遣
 - ・釧路市立鳥取小学校、網走市立白鳥台小学校、留萌市立留萌小学校…授業の実施
 - ・331-B 地区ライオンズクラブ 66 クラブは自治体に働きかけて授業を実施し、海洋プラスチックゴミ問題の啓蒙活動を行うとともに一緒に清掃活動を行う

2 交付金申請額と事業予算/DCG amount and project budget (下記の表に項目別予算を記入して下さい)

- a. 交付金申請額/DCG requested to LCIF \$ 7, 677 (1 ドル以下は切り上げてください)

- 下記の予算書に基づいた申請額になっているか確認してください。

b. 予算書の作成/Project Budget

- 収入の「交付金申請額」は地区またはクラブが保有する交付金申請可能額を上限に、事業に必要な額を申請する月のライオンズレートでドル計算して記載してください。合計もドルに換算した金額を記載してください。
- 支出は費目別の記載は日本円で記載し、合計金額のみ申請する月のライオンズレートでドル計算して記載してください。支出合計と収入合計が一致する予算書になることを確認してください。
- 必要に応じて行を追加してください。

収入/Income		支出/Expenses	
交付金の他に、クラブの事業予算や他団体からの収入を事業で使用する場合は、その他収入源に記載		この事業で支払う全経費を費目別に記入。交付金で費用の一部のみ賄う場合には、どこに交付金が使われるのか明記	
交付金申請額/Amount of DCG funds requested	7,677 ドル (1,095,000 円)	1. DVD制作費用+税 (動画撮影、編集)	330,000 円 (2,313 ドル)
その他収入源/Other Sources 1.	円 ドル*	2. DVDダビング+税 (1,000 円×500 枚)	550,000 円 (3,856 ドル)
2.		3. 送料 (レターパック) @430×500 ケ所	215,000 円 (1,508 ドル)
3.		4.	円 (ドル)
合計	1,095,000 円 7,677 ドル	合計	1,095,000 円 7,677 ドル*

* 申請する月のライオンズレート/Lions rate used を記載ください。 \$1.00=¥ 142.635387

このレートで換算したドル額を記入してください。1 ドル以下は切り上げてください。

地区及びクラブシェアリング交付金申請書/DCG Application

提出先:lcifdistrictandclub@lionsclubs.org

1 申請の概要/Project Description

- ① 申請年月日/Submission Date 2025 年 6 月 30 日
- ② 申請者/Applicant 地区申請 地区名 _____
 クラブ クラブ名 旭川平和ライオンズクラブ クラブ番号 24808
- ③ 申請者の連絡先/Contact 代表者（事業内容を説明できる人）
氏名（漢字） 佐藤達哉（ローマ字） Sato Tatsuya
電話 080-4201-6336 E メール asahikawatubasa@gmail.com
tsubasa@marble.ocn.ne.jp
tougou8lc@chorus.ocn.ne.jp
- ④ プロジェクト名と実施場所/Project Name and Location
a. プロジェクト名（事業内容が分かる名前）第38回旭川平和ライオンズクラブ杯争奪少年柔道大会
b. 実施場所 旭川市総合体育館（別称：リクルートスタッフィング・リック&スー旭川体育館）
（北海道旭川市花咲町5丁目）

⑤ この事業で支援する人道的なニーズ/Description of unmet needs addressed by the project

この事業（旭川平和ライオンズクラブ杯争奪少年柔道大会の開催）は、当クラブの児童青少年育成事業のひとつとして毎年行なっているものである。

柔道は、わが国発祥の武道（格闘技）である。オリンピックでは、男子にあっては 1964 年の東京大会から、女子にあっては 1988 年ソウル大会からそれぞれ正式種目とされていて、現在では世界中に競技者がある。

当クラブは、格闘技としての柔道の最大の特徴は、「心・技・体」の三面が整っていることが特に重視されている点、つまり、力や技術の修練・最大化を目的とするにとどまらず、「心」（精神）の修養や礼儀作法もが重視されるところにあると考えている。この柔道の思想を踏まえた選手・指導者の取り組みにより、自律・節制、他者への敬意や協調性が育まれ、総合的な人格的成长を遂げることが期待できるのである。

児童においても、このような柔道によって自己の人格的成长・自己の実現をはかろうとする者は少なくない。彼らは、保護者らの支援を受けながら、日々道場に通い、指導者のもとで練習や練習試合を重ね、研鑽と修練を積んでいる。しかしながら、社会は彼らに対して公式試合の機会を十分には与えていない。そこで当クラブは、過去 37 回にわたり、旭川柔道連盟と連携してこの大会を開催してきた。

この大会では個人戦と団体戦とを行う。個人戦においては、幼児（未就学児童）から小学校 6 年生までの選手を学年別・男女別の階級に分け、各階級ごとにトーナメントまたは総当たり方式による試合を行っている。団体戦は、選手が所属しその活動の基盤とするチームであるところの「道場（Dojo）」から選ばれた 5 選手が、その道場の代表として他の道場の 5 選手と試合を行い、その結果によって成績優秀な道場を定めるも

のである。

これまで、当クラブは、このような公式試合の場を提供することによって選手児童らのニーズの充足を支援してきた。柔道少年や保護者、指導者や旭川柔道連盟からは、毎年、この大会の開催に強い期待が寄せられている。これらの期待に応え、2025年度においても、第38回となるこの大会を開催・実施するものである。

⑥ この事業の受益者と人数/¥

a. この事業で直接的に奉仕する人々の説明/Description of beneficiaries

旭川平和ライオンズクラブの全会員（29名）

b. 奉仕を受ける人の数/# of beneficiaries 約200人

上記の内訳：参加児童（選手）約60人、参加道場の監督・コーチ約20人

上記のほか、参加児童の保護者ら約120名も間接的に奉仕を受ける

⑦ 事業計画/Plan and Schedule

a. 事業の企画から実施までのスケジュール/Schedule（年月日を明記して時系列で説明）

2025年9月下旬 大会プログラムの原稿作成・印刷、看板・メダル等の発注と検収

旭川柔道野球連盟との調整

2025年10月5日（日） 大会実施

b. 事業に参加するライオンズや協力団体とそれぞれの役割/Lions and partners involved and their roles

・ 参加ライオンズクラブ・・・主催者である当クラブのみ

・ 協力団体・・・・・・・旭川柔道連盟（北海道旭川市7条通14丁目）

2 交付金申請額と事業予算/DCG amount and project budget (下記の表に項目別予算を記入して下さい)

a. 交付金申請額/DCG requested to LCIF \$ 1,148 (1ドル以下は切り上げてください)

- 下記の予算書に基づいた申請額になっているか確認してください。

b. 予算書の作成/Project Budget

- 収入の「交付金申請額」は地区またはクラブが保有する交付金申請可能額を上限に、事業に必要な額を申請する月のライオンズレートでドル計算して記載してください。合計もドルに換算した金額を記載してください。
- 支出は費目別の記載は日本円で記載し、合計金額のみ申請する月のライオンズレートでドル計算して記載してください。支出合計と収入合計が一致する予算書になることを確認してください。
- 必要に応じて行を追加してください。

収入/Income		支出/Expenses	
交付金の他に、クラブの事業予算や他団体からの収入を事業で使用する場合は、その他収入源に記載		この事業で支払う全経費を費目別に記入。交付金で費用の一部のみ賄う場合には、どこに交付金が使われるのか明記	
交付金申請額/Amount of DCG funds requested	1,148 ドル	1.連盟諸費用 (旭川柔道連盟に対して支払う)	50,440 円 (見積書①)
その他収入源/Other Sources 1.		2.看板等／(有)スタークイン・オオタデザイン	27,500 円 (見積書②)
2.		3.賞状用紙／(株)フジマキネクタイ	9,570 円 (見積書③)
3.		4.メダル・楯／(株)道北トロフィー商会	78,188 円 (見積書④)
4.			
5.			
合計	1,148 ドル	合計	(165,698 円) 1,148 ドル

申請する月のライオンズレート/Lions rate used \$1.00= 144.384097 円¥

3/4

Revised Oct. 2024

地区及びクラブシェアリング交付金申請書/DCG Application

提出先:lcifdistrictandclub@lionsclubs.org

1 申請の概要/Project Description

① 申請年月日/Submission Date 2025年 10月 1日

② 申請者/Applicant 地区申請 地区名 331-B
 クラブ クラブ名 釧路ぬさまいライオンズクラブ クラブ番号 31715

③ 申請者の連絡先/Contact 代表者（事業内容を説明できる人）
氏名（漢字） 竹内 智彦 （ローマ字） TOMOHIKO TAKEUCHI
電話 090-5077-8535 Eメール nusamai@saturn.plala.or.jp

④ プロジェクト名と実施場所/Project Name and Location

a. プロジェクト名（事業内容が分かる名前） 令和7年度釧路ぬさまいライオンズカップ
第4回小・中学校アイスホッケー大会

b. 実施場所 釧路市内 (KKS 釧路厚生社アイスアリーナ・NISSHO アイスアリーナ)

⑤ この事業で支援する人道的なニーズ/Description of unmet needs addressed by the project

釧路ぬさまいライオンズクラブカップ 少年アイスホッケー大会は当クラブの青少年育成事業の一環として毎年行われている事業である。

本来、第46回にも及ぶ日本製紙杯争奪小中学校アイスホッケー大会として行われていたが日本製紙釧路工場の撤退により大会も廃止せざるを得ない中、当クラブがYCE青少年教育委員会の事業として釧路学校アイスホッケー連盟より依頼を受け、氷都くしろの歴史と伝統であるアイスホッケーを受け継ぎ次代を担う子供たちに一つでも多くの大会を経験させたいとの思いから支援・開催している。アイスホッケーを通じて、チームの勝利に不可欠なチームワークやフェアプレイ精神を養い、礼儀や礼節の大切さを学び、成長段階における子供たちの人格形成に寄与する教育的価値を高める事を期待するものである。

今大会は小学校大会（4日間開催）、2ブロックリーグ戦とリーグ戦上位2チームによる決勝戦を行い、中学生大会（1日間開催）は2チームにより決勝戦を行う。

大会結果によって優勝、準優勝チーム、各チームから優秀選手賞（小学生5名、中学生2名）を定め200名に参加賞を進呈する。

毎年、この大会の開催にあたり、選手や保護者、指導者及び釧路学校アイスホッケー連盟釧路教育委員会、釧路市小中学校校長会、釧路アイスホッケー連盟からの強い要望を受けており2026年度においても 第4回となるこの大会を開催・実施するものである。

⑥ この事業の受益者と人数/¥

a. この事業で直接的に奉仕する人々の説明/Description of beneficiaries

ぬさまいライオンズクラブ会員 37名

b. 奉仕を受ける人の数/# of beneficiaries 400人

(参加人数内訳 呉童 200名 ・ 監督・コーチ 50名 ・ 保護者 150名)

⑦ 事業計画/Plan and Schedule

a. 事業の企画から実施までのスケジュール/Schedule (年月日を明記して時系列で説明)

2025、12 上旬 大会プログラム作成及びトロフィー、賞状発注

釧路アイスホッケー連盟と連携

2026、1 小学校大会開催

2026、2 中学校大会開催

b. 事業に参加するライオンズや協力団体とそれぞれの役割/Lions and partners involved and their roles

釧路ぬさまいライオンズクラブ

釧路学校アイスホッケー連盟

釧路市教育委員会

釧路市小中学校校長会

釧路アイスホッケー連盟

2 交付金申請額と事業予算/DCG amount and project budget (下記の表に項目別予算を記入して下さい)

a. 交付金申請額/DCG requested to LCIF \$ 2007 \$ (1 ドル以下は切り上げてください)

- 下記の予算書に基づいた申請額になっているか確認してください。

b. 予算書の作成/Project Budget

- 収入の「交付金申請額」は地区またはクラブが保有する交付金申請可能額を上限に、事業に必要な額を申請する月のライオンズレートでドル計算して記載してください。合計もドルに換算した金額を記載してください。
- 支出は費目別の記載は日本円で記載し、合計金額のみ申請する月のライオンズレートでドル計算して記載してください。支出合計と収入合計が一致する予算書になることを確認してください。
- 必要に応じて行を追加してください。

収入/Income		支出/Expenses	
交付金の他に、クラブの事業予算や他団体からの収入を事業で使用する場合は、その他収入源に記載		この事業で支払う全経費を費目別に記入。交付金で費用の一部のみ賄う場合には、どこに交付金が使われるのか明記	
交付金申請額/Amount of DCG funds requested	2007 ドル	1. リンク使用料	84080 円
その他収入源/Other Sources	円	2. 大会パンフレット	57000 円
1.	ドル		
2.		3. トロフィー・記念品	157300 円
3.		4.	円
4.		5.	円
5.		6.	円
6.		7.	円
合計		合計	
	2007 ドル		2007 ドル

申請する月のライオンズレート/Lions rate used \$1.00= 148.706863 円¥

地区及びクラブシェアリング交付金申請書/DCG Application

提出先:lcifdistrictandclub@lionsclubs.org

1 申請の概要/Project Description

① 申請年月日/Submission Date 2025 年 10 月 6 日

② 申請者/Applicant 地区申請 地区名 _____
 クラブ クラブ名 稚内北斗 LC クラブ番号 56038

③ 申請者の連絡先/Contact 代表者（事業内容を説明できる人）
氏名（漢字） 萩谷克行 (ローマ字) Minoya Katsuyuki
電話 090-1694-8331 E メール kacchi.7693@icloud.com

④ プロジェクト名と実施場所/Project Name and Location

a. プロジェクト名（事業内容が分かる名前） 外国人実習生共生事業 「外国人実習生による日本語弁論大会」
b. 実施場所 稚内市総合文化センター 小ホール（仮）

⑤ この事業で支援する人道的なニーズ/Description of unmet needs addressed by the project

- 毎日勉強している日本語の成果発表の場の提供。
- 外国人と共生する上で必要な「町づくり」のヒントを得る。

⑥ この事業の受益者と人数/Beneficiaries 下記 a.及び b.で記載ください。

a. この事業が奉仕する人々（受益者）の説明/Description of beneficiaries
外国人実習生
その他、稚内に住む外国人
b. 受益者の数/# of beneficiaries 600 人

⑦ 事業計画/Plan and Schedule

a. 事業実施日と企画から実施までのスケジュール/Schedule (実施日は年月日を明記し時系列で説明)
事業実施日 令和8年3月25日
令和7年11月～令和8年1月 発表者募集
令和8年2月～3月 詰めの最終打ち合わせ
b. 事業に参加するライオンズや協力団体とそれぞれの役割/Lions and partners involved and their roles
稚内北斗ライオンズクラブ …… 運営全般、会場費・賞品等の提供
稚内市役所 …… 出演者募集（声かけ）

2 交付金申請額と事業予算/DCG amount and project budget (下記の表に項目別予算を記入して下さい)

a. 交付金申請額/DCG requested to LCIF \$ 1,376 (1ドル以下は切り上げてください)

- 下記の予算書に基づいた申請額になっているか確認してください。

b. 予算書の作成/Project Budget

- 収入の「交付金申請額」は地区またはクラブが保有する交付金申請可能額を上限に、事業に必要な額を申請する月のライオンズレートでドル計算して記載してください。合計もドルに換算した金額を記載してください。
- 支出は費目別の記載は日本円で記載し、合計金額のみ申請する月のライオンズレートでドル計算して記載してください。支出合計と収入合計が一致する予算書になることを確認してください。
- 必要に応じて行を追加してください。

収入/Income		支出/Expenses	
交付金の他に、クラブの事業予算や他団体からの収入を事業で使用する場合は、その他収入源に記載		この事業で支払う全経費を費目別に記入。交付金で費用の一部のみ賄う場合には、どこに交付金が使われるのか明記	
交付金申請額/Amount of DCG funds requested	1,376 ドル	1. 会場費	15,000 円
その他収入源/Other Sources	円	2. 一文字（垂幕） 看板等	49,500 円
1.	ドル*		
2.		3. 賞状・賞品等	80,000 円
3.		4. 広告代	60,000 円
4.		5.	円
5.		6.	円
合計		合計	204,500 円
	1,376 ドル		1,376 ドル*

*申請する月のライオンズレート/Lions rate used を記載ください。 \$1.00=¥ 148.706863

このレートで換算したドル額を記入してください。1ドル以下は切り上げてください。



地区及びクラブシェアリング交付金申請書/DCG Application

提出先：lcifdistrictandclub@lionsclubs.org

1 申請の概要/Project Description

① 申請年月日/Submission Date 2025 年 11 月 7 日

② 申請者/Applicant 地区申請 地区名 331-B
 クラブ クラブ名 北見中央ライオンズクラブ クラブ番号 24853

③ 申請者の連絡先/Contact 代表者（事業内容を説明できる人）
氏名（漢字）小池 唯夫（ローマ字）Tadao Koike
電話 090-2692-1334 Eメール k-tadao@kk-koike.jp

④ プロジェクト名と実施場所/Project Name and Location

a. プロジェクト名（事業内容が分かる名前）

第41回北見中央ライオンズクラブ旗争奪兼第29回北見地区冬季交歓ミニバスケットボール新人大会兼6年生大会

b. 実施場所

道立北見体育センター、北見市立体育館、各小学校、訓子府町スポーツセンター

⑤ この事業で支援する人道的なニーズ/Description of unmet needs addressed by the project

近年、少子化の影響により子供たちのスポーツ人口が減少している中、管内から約30チーム約650名の子供たちが参加する大会は近未来社会を担う方々を応援すべく青少年育成に力をあげて活動しています。

⑥ この事業の受益者と人数/¥

a. この事業で直接的に奉仕する人々の説明/Description of beneficiaries

管内約30チーム、参加人数約650名、指導者や審判員など約50名

b. 奉仕を受ける人の数/# of beneficiaries 約700人

⑦ 事業計画/Plan and Schedule

a. 事業の企画から実施までのスケジュール/Schedule（年月日を明記して時系列で説明）

・2025年12月頃 参加チーム及び運営状況の確認
・2026年2月 大会実施

b. 事業に参加するライオンズや協力団体とそれぞれの役割/Lions and partners involved and their roles

北見中央ライオンズクラブと北見地区バスケットボール協会が主催するバスケットボール大会。協会が参加チームを募り、当クラブが開催資金（メダル、参加賞、体育館使用料等）と運営の補助をサポートする。

2 交付金申請額と事業予算/DCG amount and project budget (下記の表に項目別予算を記入して下さい)

a. 交付金申請額/DCG requested to LCIF \$ 3, 648 (1ドル以下は切り上げてください)

- 下記の予算書に基づいた申請額になっているか確認してください。

b. 予算書の作成/Project Budget

- 収入の「交付金申請額」は地区またはクラブが保有する交付金申請可能額を上限に、事業に必要な額を申請する月のライオンズレートでドル計算して記載してください。合計もドルに換算した金額を記載してください。
- 支出は費目別の記載は日本円で記載し、合計金額のみ申請する月のライオンズレートでドル計算して記載してください。支出合計と収入合計が一致する予算書になることを確認してください。
- 必要に応じて行を追加してください。

収入/Income		支出/Expenses	
交付金の他に、クラブの事業予算や他団体からの収入を事業で使用する場合は、その他収入源に記載		この事業で支払う金経費を費目別に記入。交付金で費用の一部のみ賄う場合には、どこに交付金が使われるのか明記	
交付金申請額/Amount of DCG funds requested	3,648 ドル	1. メダル、賞状 (アミタ MCF)	176,550 円
その他収入源/Other Sources	円 1. ドル	2. 参加賞タオル 750 枚	231,000 円
2.		3. 開会式道立体育館・市立体育館 使用料	107,520 円
3.		4. 閉会式訓子府スポーツセンター使用料	35,000 円
4.		5. レプリカカップ (ハリカ北見)	10,000 円
5.		6.	円
6.		7.	円
合計	560,070 円 3,648 ドル	合計	560,070 円 3,648 ドル

申請する月のライオンズレート/Lions rate used \$1.00= 153.559083 円

地区及びクラブシェアリング交付金申請書/DCG Application

提出先:lcifdistrictandclub@lionsclubs.org

1 申請の概要/Project Description

- ① 申請年月日/Submission Date 2025年 11月 4日
- ② 申請者/Applicant 地区申請 地区名 331B
 クラブ クラブ名 釧路ぬさまいライオンズクラブ クラブ番号 31715
- ③ 申請者の連絡先/Contact 代表者 (事業内容を説明できる人)
氏名 (漢字) 竹内 智彦 (ローマ字) TOMOHIKO TAKEUCHI
電話 090-5077-8535 Eメール nusamai@saturn.plala.or.jp
- ④ プロジェクト名と実施場所/Project Name and Location
a. プロジェクト名 (事業内容が分かる名前) 釧路ぬさまいライオンズカップ U-12 フットサル大会
b. 実施場所 釧路町総合体育館・釧路市内学校体育館
- ⑤ この事業で支援する人道的なニーズ/Description of unmet needs addressed by the project

釧路ぬさまいライオンズクラブカップ 丸山フットサル大会は当クラブの青少年育成事業の一環として昨年より行われている事業である。

本来、第22回にも及ぶ丸山記念フットサル小学校大会として行われていたが、長引く釧路経済低迷の影響で協賛スポンサーの撤退が続き、大会の縮小・廃止も検討され始めた中、当クラブがYCE青少年教育委員会の事業として一般社団法人ドリームサポートネットワークより依頼を受け、長い間釧路地区の指導者育成及び釧路地区サッカー協会の発展に尽力され、釧路サッカーの礎を築かれた故丸山氏の意思を受け継ぎ、多くの子供たちにこの大会を経験させたいとの思いから支援・開催している。

サッカーを通じて、チームワークやフェアプレイ精神を養い、他者を尊重し規律や礼儀の大切さを学び成長過程における子供たちの人格形成に寄与する教育的価値を高める事を期待するものである。

今大会は2日間で開催され、16チームによる4チーム、4ブロックのリーグ予選を行い各リーグ戦上位2チームによる決勝トーナメント及び順位トーナメント戦を行う。

大会結果によって優勝、準優勝チーム、各チームから優秀選手賞を定める。

この大会開催にあたり、選手や保護者、指導者及びフットサル連盟、釧路市教育委員会、釧路町教育委員会からの強い要望を受けており、2026年度においてもこの大会を開催・実施するものである。

⑥ この事業の受益者と人数/¥

- a. この事業で直接的に奉仕する人々の説明/Description of beneficiaries

児童 200 人 監督・コーチ 60 人 保護者 300 人

釧路ぬさまいライオンズクラブ会員

- b. 奉仕を受ける人の数/# of beneficiaries 560 人

⑦ 事業計画/Plan and Schedule

- a. 事業の企画から実施までのスケジュール/Schedule (年月日を明記して時系列で説明)

2026/1 大会プログラム作成 トロフィー・賞状発注

ドリームサポートネットワーク、釧路フットサル連盟と打ち合わせ

2026/2 大会開催

- b. 事業に参加するライオンズや協力団体とそれぞれの役割/Lions and partners involved and their roles

釧路ぬさまいライオンズクラブ→景品・フラッグ発注・当日運営

一般社団法人ドリームサポートネットワーク→プログラム作成・当日運営

釧路フットサル連盟→審判

北海道フットサル連盟→審判

釧路市教育委員会→告知

釧路町教育委員会→告知

2 交付金申請額と事業予算/DCG amount and project budget (下記の表に項目別予算を記入して下さい)

a. 交付金申請額/DCG requested to LCIF \$ 2030 (1ドル以下は切り上げて下さい)

- 下記の予算書に基づいた申請額になっているか確認してください。

b. 予算書の作成/Project Budget

- 収入の「交付金申請額」は地区またはクラブが保有する交付金申請可能額を上限に、事業に必要な額を申請する月のライオンズレートでドル計算して記載してください。合計もドルに換算した金額を記載してください。
- 支出は費目別の記載は日本円で記載し、合計金額のみ申請する月のライオンズレートでドル計算して記載してください。支出合計と収入合計が一致する予算書になることを確認してください。
- 必要に応じて行を追加してください。

収入/Income		支出/Expenses	
交付金の他に、クラブの事業予算や他団体からの収入を事業で使用する場合は、その他収入源に記載		この事業で支払う全経費を費目別に記入。交付金で費用の一部のみ賄う場合には、どこに交付金が使われるのか明記	
交付金申請額/Amount of DCG funds requested	2030 ドル	1.会場費	20,000 円
その他収入源/Other Sources 1.	円 ドル	2.大会横断幕	55,000 円
2.		3.チャンピオンフラッグ	16,500 円
3.		4.景品①	166,320 円
4.		5.景品②	5,800 円
5.		6.審判料	48,000 円
6.		7.	円
合計	311,620 円 2030 ドル	合計	311,620 円 2030 ドル

申請する月のライオンズレート/Lions rate used \$1.00= 153.559083 円¥

緊急援助資金の活用について

●東南アジア豪雨被災地支援について

モンスーン豪雨に加え、二つの熱帯低気圧の影響で、スリランカ、インドネシア、スマトラ島、タイ南部、マレーシア北部が大雨に見舞われ、大規模な洪水や土砂災害により、約1,500人が亡くなっています。

最も大きな被害を受けたスリランカやインドネシアでは、数十万人が避難所に身を寄せ、清潔な水や食料確保に苦労している状況が現在も続くな、大洪水によって家屋や地域のインフラが破壊された被災地には、早急な救援物資、避難所が必要な状態です。

こうした状況を受け、LCIFより大災害復興支援交付金50万ドルが直ちに決定しましたが、同じアジアのライオンズとして、組織単位での支援として、一人1,000円の義援金を早急に会員に募って欲しい旨の要請文書が、LCIF理事と(一社)日本ライオンズからも届いております。

331-B地区としては、地区緊急対応案件との理解の元、「331-B地区緊急援助資金規則」に則り、地区緊急援助資金から正会員(1,622名)一人1,000円の合計1,622,000円をLCIFを通じて支援いたしましたのでご報告いたします。

➤ 331-B地区 緊急援助委員会 臨時委員会議事録について

➤ 331-B地区 緊急援助委員会援助資金拠出の報告



釧路 CAB 第 58 号
2026 年 1 月 13 日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区
緊急援助委員会 委員各位

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区
地区ガバナー L. 大島 尚久

331-B 地区 緊急援助委員会
臨時委員会 (ZOOM 会議) 議事録

標記委員会議事録を下記の様にご報告いたします。どうぞご査収ください。

記

1. 開催日 2026 年 1 月 8 日 (木) 18:30~ (ZOOM 会議)
2. 開催場所 釧路キャビネット事務局 (ZOOM 会議)
3. 出席者 331-B 地区緊急援助委員会 構成委員
❖ 委員長 L. 大島 尚久
❖ 委員 L. 広瀬 寛人 L. 柳澤 豊 L. 木村 宏幸 L. 大津 幸三
L. 渡部 候司 L. 長谷川 松美 L. 佐藤 利博 L. 田中 香織
L. 大熊 秀之 L. 橋本 修司 L. 佐々木 隆博 L. 岡谷 繁勝
L. 関東 正浩 L. 伊藤 光隆 【以上 15 名うち 1 名欠席】
❖ 審議事項 【東南アジア豪雨災害 被災地支援への緊急援助資金の拠出の件】

331-B 地区緊急援助資金規則に基づき、特典会員を除く 1,622 名 × 1,000 円で合計

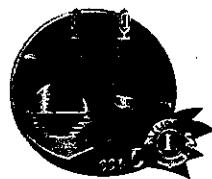
1,622,000 円の資金援助を行いたい。

【全員一致で承認】

上記決議を明確にするため、議事録署名人において確認、次に記名押印する。

2025 年 1 月 8 日 釧路キャビネットにて

議事録署名人 キャビネット幹事 L. 木村 宏幸
キャビネット会計 L. 大津 幸三



ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区
2025-2026 年度 釧路キャビネット事務局
〒085-0031 釧路市中島町 6-25
TEL 0154-68-5647 FAX 0154-68-5648
E-mail : kushirocab331b@marimo.or.jp

SPECIAL REPORTING FORM FOR DESIGNATED FUND DONATIONS
For Southeast Asia (Indonesia & Sri Lanka) Flooding 2025
2025年東南アジア豪雨被災地支援
MD/DISTRICT FORM

この報告用紙は「2025年東南アジア豪雨被災地支援」指定寄付を複合地区・地区としてまとめ報告いただくためのものです。

This form is for MD/District to use for reporting Southeast Asia Flooding 2025.

複合地区/地区名

MD/DISTRICT NAME

District331B

ローマ字で記入してください

連絡先

電話番号/Eメールアドレス

0154-68-5647

kushirocab331b@marimo.or.jp

銀行振込日 Bank deposit made on

13/01/2026

複合地区・地区としてとりまとめてお振込みいただく際には、それぞれに割り当てられたみずほ銀行バーチャル口座の2番をご使用ください。
口座番号がご不明の場合にはお問い合わせください。

寄付タイプ	寄付合計額（日本円）	寄付額（米ドル） 入金額を振込月のライオンズレートで換算した金額を記入してください。	備考欄
Fund Designation	Donation Amount (JPY)	Donation Amount (USD)	Remarks
2025年東南アジア豪雨被災地支援 Southeast Asia Flooding 2025	¥1,622,000	\$10,371.68	

■ この災害指定で個人寄付をされる場合（個人の寄付実績として記録される寄付）には、通常の寄付書式を使用してください。

その場合、寄付の種類で災害指定寄付を選び、「2025年東南アジア豪雨被災地支援」または"Southeast Asia Flooding 2025"と備考欄にご記入ください。

■ 災害指定された寄付金は、100%その災害復興のために使用されます。そのため、地区クラブシェアリング交付金を利用するための資金の対象とはなりません。

■ 寄付の内訳（クラブまたは準地区ごと）がある場合には、次ページの内訳表をご使用ください。

お問い合わせ先

OSEAL調整事務局 LCIF課

LCIFTokyo@lionsclubs.org

電話 : 050-1791-5824

※事務局記入欄 Notes from OSEAL Office staff to Donor Service Dept.

複合地区・地区寄付報告内訳表

#	クラブ名または準地区名 ※アルファベットでのご記入をお願いします (Club Name/Sub-District Name)	クラブの場合はクラブ番号 Club ID	寄付金額（日本円での金額） Donation in JPY	寄付金額（米ドルでの金額） Donation in USD
1	District 331 B	66207	¥1,622,000	\$10,371.68
2				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
合計 Total			¥1,622,000	\$10,371.68
※合計金額は1枚目の報告金額と一致させてください。必要に応じて列を増やしてご使用ください。				

審議事項



【議案第 1 号】

◆2026-2027 年度 3 3 1 - B 地区 地区ガバナー立候補者届出書

- ・地区ガバナー立候補者届出書
- ・推薦状
- ・次年度ホストクラブ同意書

【議案第 2 号】

◆2026-2027 年度 3 3 1 - B 地区 第一副地区ガバナー立候補者届出書

- ・第一副地区ガバナー立候補者届出書
- ・推薦状

【議案第 3 号】

◆2026-2027 年度 3 3 1 - B 地区 第二副地区ガバナー立候補者届出書

- ・第二副地区ガバナー立候補者届出書
- ・推薦状

2026-2027年度 331-B地区 地区ガバナー立候補者届出書

	届出年月日	2025年9月27日			
	所 属	第2R第2Z 富良野ライオンズクラブ			
	ふりがな	ひろせ ひろと			
	立候補者名	L. 広瀬 寛人			
	生年月日	1963 (S38)年7月11日		62歳	
	自 宅	〒	076-0023		
		住 所	富良野市栄町7番5号		
		電 話	0167-22-1963		
		携 帯	090-3018-1573		
	勤務先	〒	076-0031		
住 所		富良野市本町2番3号			
勤務先名		株式会社富良野タクシー	役職名	代表取締役	
電 話		0167-22-3516			
E-mail		ftaxi@furano.ne.jp			
ライオン歴 (年度順) ・入会 ・クラブ役職 ・準地区 ・複合地区役員 ・授賞 アワード	2005年 3月 2006年～2007年 2007年～2008年 2011年～2012年 2012年～2013年 2014年～2015年 2021年～2022年 2022年11月～2023年6月 2023年～2024年 2024年～2025年 2025年～2026年 2025年 9月	富良野ライオンズクラブ 入会 クラブ理事 クラブ理事 クラブ幹事 331-B地区 キャビネット会計 クラブ会計 富良野ライオンズクラブ第60代クラブ会長 331-B地区 GET副コーディネーター クラブ会計 331-B地区 GLTコーディネーター 331-B地区 第二副地区ガバナー 331-B地区 長期計画リサーチ委員会 副委員長 331-B地区 公益財団法人日本ライオンズ 特別委員会副委員長 331-B地区 GLTコーディネーター 331-B地区 第一副地区ガバナー 331-B地区 LCIF副コーディネーター 331-B地区 長期計画リサーチ委員会 副委員長 メリビン・ジョーンズ・フェロー7回			
職歴 主要なものを列記し、 その役職名を併記	1991年4月 株式会社富良野タクシー 代表取締役				
最終学歴	東京経済大学 昭和61年 3月 卒業				
公職・叙勲・賞罰	富良野地方交通安全協会 会長 富良野保護司会 支部長				
家族 同居家族氏名・続柄 職業・年齢・性別	妻 広瀬久美 株式会社富良野タクシー 取締役 61歳				
現在、主として勤務してい る法人・団体等の内容 商号、本店、資本金等	株式会社富良野タクシー 代表取締役 1000万円				
<p>ライオンズクラブ国際協会 331-B地区 地区ガバナー L. 大島 尚久</p> <p>私儀、ライオンズクラブ国際協会331-B地区 地区ガバナーとして 立候補いたしたく、クラブ推薦状を添え、届出いたします。</p> <p>ライオンズクラブ 署名 </p>					

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区
地区ガバナー L. 大島 尚久

富良野ライオンズクラブ
会長 L. 濱谷 正文

推 薦 状

2026-2027 年度 331-B 地区 地区ガバナー立候補者として全会員の
承諾を得て、当クラブ会員 L. 広瀬 寛人 を推薦いたします。

2025 年 9 月 12 日

第 2 リジョン 第 2 ゾーン 富良野ライオンズクラブ

会長 濱谷 正文 

幹事 小山 芳明 

会計 安田 光則 

(注) 地区ガバナー立候補者は、ライオンズクラブ国際協会付則第 9 条第 4 項により、次の資格を要します。

1. 所属单一又は準地区内のグッドスタンディングの正ライオンズクラブにおけるグッドスタンディングの正会員であること。
2. 所属クラブの推薦、あるいは所属单一又は準地区内過半数のクラブの推薦を受けていること。
3. 現在、所属地区の第一副地区ガバナーを務めている者でなければならない。

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

地区ガバナー L. 大島尚久

次年度ホストクラブ同意書

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

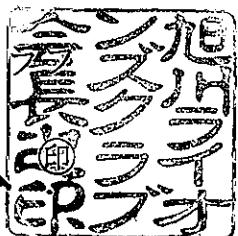
2026年7月～2027年6月の地区キャビネット運営全般に関し、富良野ライオンズクラブ L. 広瀬 寛人が次期ガバナーに立候補し、当クラブがホストクラブとしてお引受けすることに同意致します。

2025年 9月 17日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

第2リジョン 第 1 ゾーン

大島川 ライオンズクラブ
会長 L. 二藤泰光



ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

地区ガバナー L. 大島尚久

次年度ホストクラブ同意書

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

2026年7月～2027年6月の地区キャビネット運営全般に關し、富良野ライオンズクラブ L. 広瀬 寛人が次期ガバナーに立候補し、当クラブがホストクラブとしてお引受けすることに同意致します。

2025年 9月 9日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

第2リジョン 第 1 ゾーン

旭川大雪 ライオンズクラブ
会長 L. 片岡 宏文



ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

地区ガバナー L. 大島尚久

次年度ホストクラブ同意書

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

2026年7月～2027年6月の地区キャビネット運営全般に関し、富良野ライオンズクラブ L. 広瀬 寛人が次期ガバナーに立候補し、当クラブがホストクラブとしてお引受けすることに同意致します。

2025年 9月 2日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

第2リジョン 第 / ゾーン

相川平和 ライオンズクラブ
会長 L. 大島 隆士 

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

地区ガバナー L. 大島尚久

次年度ホストクラブ同意書

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

2026年7月～2027年6月の地区キャビネット運営全般に關し、富良野ライオンズクラブ L. 広瀬 寛人が次期ガバナーに立候補し、当クラブがホストクラブとしてお引受けすることに同意致します。

2025年 9 月 4 日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

第2リジョン 第 1 ゾーン

ライオンズクラブ

当麻 会長 L. ~~長~~ 久り 著手



ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

地区ガバナー L. 大島尚久

次年度ホストクラブ同意書

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

2026年7月～2027年6月の地区キャビネット運営全般に關し、富良野ライオンズクラブ L. 広瀬 寛人が次期ガバナーに立候補し、当クラブがホストクラブとしてお引受けすることに同意致します。

2025年 8 月 27 日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

第2リジョン 第 / ゾーン

多別 ライオンズクラブ
会長 L. 鈴昌悟 

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

地区ガバナー L. 大島尚久

次年度ホストクラブ同意書

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

2026年7月～2027年6月の地区キャビネット運営全般に關

し、富良野ライオンズクラブ L. 広瀬 寛人が次期ガバナーに立候補し、当クラブがホストクラブとしてお引受けすることに同意致します。

2025年 8月 27日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

第2リジョン 第 1 ゾーン

率川 ライオンズクラブ
会長 L. 小林義一 

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

地区ガバナー L. 大島尚久

次年度ホストクラブ同意書

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

2026年7月～2027年6月の地区キャビネット運営全般に關し、富良野ライオンズクラブ L. 広瀬 寛人が次期ガバナーに立候補し、当クラブがホストクラブとしてお引受けすることに同意致します。

2025年 9月 8日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

第2リジョン 第 2 ゾーン

北海中央 ライオンズクラブ
会長 L. 徳永保彦



ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

地区ガバナー L. 大島尚久

次年度ホストクラブ同意書

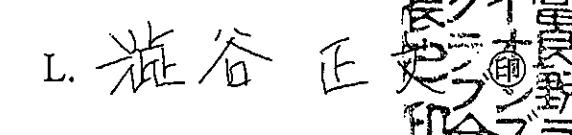
ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

2026年7月～2027年6月の地区キャビネット運営全般に關し、富良野ライオンズクラブ L. 広瀬 寛人が次期ガバナーに立候補し、当クラブがホストクラブとしてお引受けすることに同意致します。

2025年 // 月 // 日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

第2リジョン 第 2 ゾーン

富良野 ライオンズクラブ
会長 L. 游谷 正史

長野県ライオンズクラブ
正史

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

地区ガバナー L. 大島尚久

次年度ホストクラブ同意書

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

2026年7月～2027年6月の地区キャビネット運営全般に關し、富良野ライオンズクラブ L. 広瀬 寛人が次期ガバナーに立候補し、当クラブがホストクラブとしてお引受けすることに同意致します。

2025年 8月 21日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

第2リジョン 第 2 ゾーン

上富良野 ライオンズクラブ
会長 L. 奥田 哲也 

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

地区ガバナー L. 大島尚久

次年度ホストクラブ同意書

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

2026年7月～2027年6月の地区キャビネット運営全般に關し、富良野ライオンズクラブ L. 広瀬 寛人が次期ガバナーに立候補し、当クラブがホストクラブとしてお引受けすることに同意致します。

2025年 9月 2 日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

第2リジョン 第 2 ゾーン

旭川 ナイカミド ライオンズクラブ

会長 L. 田口秀史



ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

地区ガバナー L. 大島尚久

次年度ホストクラブ同意書

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

2026年7月～2027年6月の地区キャビネット運営全般に関し、富良野ライオンズクラブ L. 広瀬 寛人が次期ガバナーに立候補し、当クラブがホストクラブとしてお引受けすることに同意致します。

2025年 10月 23日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

第2リジョン 第 2 ゾーン

アリクリストル ライオンズクラブ
会長 L. 板井真吾 

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

地区ガバナー L. 大島尚久

次年度ホストクラブ同意書

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

2026年7月～2027年6月の地区キャビネット運営全般に関し、富良野ライオンズクラブ L. 広瀬 寛人が次期ガバナーに立候補し、当クラブがホストクラブとしてお引受けすることに同意致します。

2025年 12月 3日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

第2リジョン 第 2ゾーン

旭川バー・キヤン L. ライオンズクラブ

会長 L. 素 幸司



2026-2027年度 331-B地区 第一副地区ガバナー立候補者届出書

	届出年月日	2025年 12月 9日		
	所 属	第 4 R 第 1 Z 留萌みなと ライオンズクラブ		
	ふりがな 立候補者名	やなぎさわ ゆたか L. 柳澤 豊		
	生年月日	1960年 3月 1日 65歳		
	自 宅	〒 住 所	077-0031 留萌市幸町3丁目1-2	
		電 話	0164-42-8121	
		携 帯	090-3117-8127	
		E-mail	yyutaka@mte.biglobe.ne.jp	
	勤務先	〒 住 所	077-0031 留萌市幸町3丁目1-2	
		勤務先名	株式会社 不二水道	役職名
電 話		0164-42-1955		
E-mail		fiji-suk@mocha.ne.jp		
ライオン歴（年度順） ・入会 ・クラブ役職 ・準地区 ・複合地区役員 ・授賞 アワード	2004年 10月 2010年～2011年 2012年～2013年 2014年～2015年 2016年～2017年 2017年～2019年 2018年～2019年 2020年～2021年 2021年～2022年 2022年～2023年 2023年～2024年 2023年～6月 2024年～2025年 2025年～2026年 2025年 8月	留萌みなとライオンズクラブ 入会 クラブ幹事 第49代クラブ会長 クラブ会計 331-B地区留萌キャビネット 運営委員長 331複合地区YCE委員会 委員長 第55代クラブ会長 331-B地区 GSTコーディネーター 331複合地区アラート委員会 委員 331-B地区 GMTコーディネーター 331-B地区 GETコーディネーター 公認ガイドィング・ライオン 331-B地区 第4R第1Z ゾーン・チェアパーソン 331-B地区 第二副地区ガバナー 331-B地区 長期計画リサーチ副委員長 331-B地区 公益財団法人日本ライオンズ特別委員長 メリピン・ジョーンズ・フェロー 6回		
職歴 主要なものを列記し、 その役職名を併記	1998年6月 株式会社 不二水道 代表取締役			
最終学歴	留萌高等学校 定時制商業科 昭和54年3月 卒業			
公職・叙勲・賞罰	留萌商工会議所常議員 留萌商工事組合代表理事 留萌市建設協会副会長 留萌技能士会 会長			
家族 同居家族氏名・続柄 職業・年齢・性別	妻 柳澤啓美 (株)不二水道 取締役 66歳 長女 柳澤美樹 (株)不二水道 取締役 40歳			
現在、主として勤務している法人・団体等の内容 商号、本店、資本金等	株式会社 不二水道 代表取締役 資本金 2000万			
<p>ライオンズクラブ国際協会 331-B地区 地区ガバナー L. 大島 尚久</p> <p>私儀、ライオンズクラブ国際協会 331-B地区 第一副地区ガバナーとして立候補いたしました。 クラブ推薦状を添え、届出いたします。</p>				
<p>ライオンズクラブ 署名 </p>				
<p></p>				

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区
地区ガバナー L. 大島 尚久

留萌みなとライオンズクラブ
会長 L. 原田 則子

推 薦 状

2026-2027 年度 331-B 地区 第一副地区ガバナー立候補者として全会員の
承諾を得て、当クラブ会員 L. 柳澤 豊 を推薦いたします。

2025 年 12 月 9 日

第 4 リジョン 第 1 ゾーン 留萌みなと ライオンズクラブ

会長 原田 則子 

幹事 宮下 泰裕 

会計 梅田 三樹 

(注) 第一副地区ガバナー立候補者は、ライオンズクラブ国際協会付則第 9 条第 6 項により、次の資格を要します。

1. 所属単一地区又は準地区内のグッドスタンディングの正ライオンズクラブにおけるグッドスタンディングのであり、
2. 所属クラブの推薦、あるいは所属単一又は準地区内過半数のクラブの推薦を受け、
3. 現在、所属地区の第二副地区ガバナーを務めている者でなければならない。

2026-2027年度 331-B地区 第二副地区ガバナー立候補者届出書

	届出年月日	2025年 12月 2日			
	所 属	第5R第2Z 北見中央 ライオンズクラブ			
	ふりがな 立候補者名	あさの けいいち L. 浅野 敬一			
	生年月日	1959年 2月 28日 66歳			
	自 宅	〒	099-1435		
		住 所	北海道常呂郡訓子府町若富町 130		
		電 話	0157-47-3567		
	勤務先	〒	090-0837		
		住 所	北海道北見市中央三輪8丁目 13-3		
勤務先名		株式会社ケイアイエフ	役職名	代表取締役	
	電 話	0157-66-4588			
	E-mail	asano@k-i-f.co.jp			
ライオン歴 (年度順)	経歴				
・入会	2005年 8月	北見中央ライオンズクラブ入会			
・クラブ役職	2008年~2009年	クラブ幹事			
・準地区	2013年~2014年	第50代クラブ会長			
・複合地区役員	2015年~2016年	レオ・ライオネスクラブ副委員長			
・授賞 アワード	2016年~2017年	クラブ幹事			
	2016年~現在	オホーツクレオクラブ 顧問			
	2018年~2019年	331-B地区 第5R第2Zゾーン・チェアパーソン			
	2019年~2021年	331-B地区 FWT委員			
	2020年~2021年	クラブ幹事			
	2022年~2023年	一般社団法人日本ライオンズ 331地区アラート班長			
	2023年~2025年	331複合地区 アラート副委員長			
	2023年~2024年	331-B地区 アラート委員長、レオ・青少年育成委員長			
	2024年~2025年	一般社団法人日本ライオンズ 331地区アラート委員長			
	2025年~	331-B地区 レオ・青少年育成 アラート委員長			
	受賞歴	331複合地区 アラート・青少年育成委員長			
	2016年	331-B地区 レオ・青少年、アラート、YCE委員長			
	2024年	331-B地区 アラート委員長			
	2025年12月	ガバナー特別賞受賞			
		国際会長アワード リーダーシップ賞受賞			
		メルビン・ジョーンズ・フェロー 21回			
職歴 主要なものを列記し、 その役職名を併記	株式会社ケイアイエフ 代表取締役社長 株式会社タケザワ写真館 相談役				
最終学歴	星槎道都大学 社会福祉学部 1982年 3月 卒業				
公職・叙勲・賞罰					
家 族 同居家族氏名・続柄 職業・年齢・性別	妻 浅野 さとみ 65歳				
現在、主として勤務して いる法人・団体等の内容 商号、本店、資本金等	株式会社ケイアイエフ 代表取締役社長				
<p>ライオンズクラブ国際協会 331-B地区 地区ガバナー L. 大島 尚久</p> <p>私儀、ライオンズクラブ国際協会 331-B地区 第二副地区ガバナーとして立候補いたしましたく、 クラブ推薦状を添え、届出いたします。</p>					
<p>ライオンズクラブ 署名  </p>					

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区
地区ガバナー L. 大島 尚久

北見中央ライオンズクラブ
会長 L. 小池 唯夫

推 薦 状

2026-2027 年度 331-B 地区 第二副地区ガバナー立候補者として全会員の
承諾を得て、当クラブ会員 L. 浅野 敬一 を推薦いたします。

2025 年 12 月 2 日

第 5 リジョン 第 2 ゾーン 北見中央 ライオンズクラブ

会長 小池 唯夫

幹事 木倉 孝志

会計 増子 郁高

注) 第二副地区ガバナー立候補者は、ライオンズクラブ国際協会付則第 9 条第 6 項により、
次の資格を要します。

1. 所属単一地区又は準地区内のグッドスタンディングの正ライオンズクラブにおける
グッドスタンディングのであり、
2. 所属クラブの推薦、あるいは所属単一又は準地区内過半数のクラブの推薦を受け、
3. 第二副地区ガバナー就任の時点で、
 - (a) クラブ会長を全期又は過半の期間、そして理事会構成員として更に 2 年以上務め
かつ
 - (b) ゾーン・チェアパーソン、リジョン・チェアパーソン、地区グローバル・エクス
テンション・チームコーディネーター、地区グローバル指導力育成チーム・コー
ディネーター、地区グローバル会員増強チーム・コーディネーター、地区グロー
バル奉仕チーム・コーディネーター、地区 L C I F コーディネーター、あるいは
キャビネット幹事及び(又は)会計として全期又は過半の期間務めた者でなけれ
ばならない。
 - (c) 上記のいずれも、同時に達成させることはできない。

【議案第4号】

331-B地区一般会計中間報告書

2025年7月1日～2025年12月31日

【収入の部】

(単位:円)

科 目	本 年 度 予 算 額	執 行 額	備 考
前 年 度 繰 越 金	10,049,553	10,049,553	
運 営 準 備 前 受 金	5,000,000	5,000,000	
地 区 費	21,027,600	10,596,300	
地 区 大 会 費	3,823,200	1,926,600	
研 修 費	444,000	948,000	三役・事務局研修、テキスト代
オセアルフォーラム負担金	1,593,000	1,593,000	
雑 収 入		2,036,071	地区シェアリング交付金・LCIFスタンド
そ の 他		702,650	各事業登録料等
合 計	41,937,353	32,852,174	

【支出の部】

科 目	本 年 度 予 算 額	執 行 額	備 考
会 議 費 A	2,000,000	1,339,968	
会 議 費 B	910,800	910,800	
旅 費 A	1,700,000	1,176,260	
旅 費 B	1,150,000	777,240	
通 信 費 A	800,000	537,924	
通 信 費 B	105,600	105,600	
印 刷 費 A	1,500,000	1,265,480	
印 刷 費 B	105,600	105,600	
人 件 費	6,300,000	5,047,907	
事 務 所 費	1,200,000	593,540	
光 熱 費	315,000	182,627	
消 耗 品 費	250,000	177,201	
備 品 費	500,000	209,957	
贈 呈 費	500,000	265,716	
慶弔費	450,000	135,960	
交際費	300,000	240,880	
新 入 会 員 促 進 費	200,000	80,300	
引 繼 費	280,000	0	
雑 費 A	450,000	108,087	
雑 費 B	431,200	431,200	
広 報 費	1,500,000	957,000	
研 修 費	420,000	875,951	三役・事務局研修、テキスト代等
ア ワ 一 ド 費	200,000	0	
青 少 年 育 成 費	1,200,000	1,107,040	
地 区 大 会 費	3,824,125	1,912,525	
各 種 委 員 会 事 業 費	200,000	779,734	海洋ごみ事業費等
次 期 C A B 前 渡 金	5,000,000	0	
YCE キャンプ負担金	500,000	75,000	
GATコーディネーター費	600,000	280,677	
G M A 事 業	300,000	127,600	
オセアルフォーラム負担金	1,593,000	1,593,000	
予 備 費	200,000		
剩 余 金	6,952,028		
残 高		11,451,400	
合 計	41,937,353	32,852,174	

331-B地区一般会計貸借対照表
2025年12月31日 現在

(単位:円)

借 方		貸 方	
科目	金額	科目	金額
現 金		一 般 残 高	11,451,400
普 通 預 金	11,451,400	借 入 金	
仮 払 金		仮 受 金	
合 計	11,451,400	合 計	11,451,400

331-B地区特別会計(A:緊急援助資金)

収支中間報告書

2025年7月1日～2025年12月31日

(単位:円)

科 目	支 出	收 入	摘 要
(地区運用基金)			
前年度より繰越金		4,861,556	
会員収入		0	
緊急援助資金			
雑 収 入			
残 高	4,861,556		
合 計	4,861,556	4,861,556	

貸借対照表

2025年7月1日～2025年12月31日

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金		地区緊急援助資金	4,861,556
普 通 預 金	4,861,556		
合 計	4,861,556	合 計	4,861,556

331-B地区特別会計(B:献血運動推進費)

収支中間報告書

2025年7月1日～2025年12月31日

(単位:円)

科 目	支 出	收 入	摘 要
前年度より繰越金		1,795,755	
会員収入		796,500	1,593名×500円
献血運動推進事業費			
雑 収 入			
残 高	2,592,255		
合 計	2,592,255	2,592,255	

貸借対照表

2023年7月1日～2023年12月31日

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金		献血運動推進事業費	2,592,255
普 通 預 金	2,592,255		
雑 収 入			
合 計	2,592,255	合 計	2,592,255

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

一般会計・特別会計収支中間決算報告書

以下の通り、331-B 地区一般会計及び特別会計収支中間決算
(2025年7月1日～2025年12月31日)の報告を申し上げます。

2026年1月8日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

地区ガバナー

L. 大島 尚久



地区キャビネット幹事

L. 木村 宏幸



地区キャビネット会計

L. 大津 幸三



(議案第5号)

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

地区会計中間監査報告書

現金出納、預金出納、預金残高並びに諸帳簿、証拠書類の記帳は、
正確かつ適正に処理されていることを認めます。

2026年1月8日

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

地区会計監査委員

L. 淋代 靖人



地区会計監査委員

L. 小野 哲也



【議案第6号】

◆地区年次大会における決算審議に関する件について (説明)

第72回地区年次大会における2025年～2026年度331-B地区会計決算報告は、大会期日が会計年度途中のため、決算審議は次期第1回キャビネット会議に権限を委譲致したい。
よって、第72回地区年次大会に承認を求めたい。

【議案第7号】

◆献眼運動推進費に関する件について (説明)

NPO 旭川医大アイバンクに対する財政支援が不要になったため、名称と規程を変更し、引き続き視力保護・視力回復等に係る事業を行いたい。
名称及び規程変更案は下記の通り

2025～2026年度 331-B 地区 視力保護・視力回復等に係る事業費積立金 運用規程(案)

この規程は地区内において、視力保護・視力回復等に係る事業費積立金の適正且つ効率的運用を期すため、次の条項を設けるものである。

記

1.委員会構成

積立金運用決定に当たるための委員会は、地区ガバナー、第一副地区ガバナー、第二副地区ガバナー、キャビネット幹事、キャビネット会計、地区献血・献眼・薬物防止委員長をもって構成し、委員長は地区ガバナーがこれにあたる。

2.視力保護・視力回復等に係る事業費積立金の支出

地区内の視力保護・視力回復等に係る事業に対する啓発活動及び広報活動等の中から委員会の決議により採択する。

資金の使途及び金額はその都度決定する。

3.積立金運用報告

積立金の運用実施報告については、キャビネット会議において速やかに報告するものとする。

4.監査

地区特別収入による暫定特別会計として、地区監査委員会の監査を受けるものとする。

5.施行

本規程は地区キャビネットの任期に併せ、2025年7月1日より遡って施行する。

(現行の名称及び規程は、別紙にて配布)

よって、第72回地区年次大会で議案にいたします。

【議案第8号】

◆地区費等徴収金額の件について

2026年～2027年度 331-B 地区の地区費・地区大会費・献眼運動推進費について、下記の様に徴収したい。

(内訳)

地 区 費 会員一人当たり 月額	1,100円
地 区 大 会 費 会員一人当たり 月額	200円
(特別会計)	
献 眼 運 動 推 進 費 会員一人当たり 年額	0円
(但し、特典会員については上記地区費等の徴収はしない。)	

よって、第72回地区年次大会に 承認を求める。

【議案第9号】

◆331-B 地区緊急援助資金規則に基づく資金の補充について

(説明)

2003年6月30日付で施行された、331-B 地区緊急援助資金規則第2条3により、資金の基準額は500万円となっているが、本年度「東南アジア豪雨被災地」への緊急援助金として、1,622,000円を支出いたしました。

その結果、資金残高が2026年1月15日現在3,239,556円となり基準額を割ったため、次年度(2026-2027年度)331-B 地区会員に、年額1,100円の拠出をお願いしたい。

(但し、特典会員については徴収しない。)

よって、第72回地区年次大会で議案に致します。

大会名誉顧問		大会長・地区ガバナー	
		L. 大島 尚久 (釧路みなど)	
L. 中谷 宣巨 (釧路)		副大会長・第一副地区ガバナー	
L. 伊東 隆志 (北見)		L. 広瀬 寛人 (富良野)	
L. 藤原 回向 (稚内北斗)		副大会長・第二副地区ガバナー	
L. 阿部 昭 (士別)		L. 柳澤 豊 (留萌みなど)	
L. 香川 俊雄 (帶広中央)		大会委員長	
L. 奥山 壽雄 (白滝)		L. 高瀬 力 (釧路ぬさまい)	
L. 山田 正昭 (釧路ぬさまい)		大会副委員長	
L. 佐藤 信雄 (富良野)		L. 川人 正和 (釧路)	
L. 井ノ浦 義明 (稚内北斗)		L. 高橋 清美 (白糠)	
大会幹事		L. 田中 進 (標茶)	
L. 木村 宏幸 (釧路みなど)		L. 菅野 貴光 (釧路みなど)	
大会副幹事		L. 中川 大策 (釧路湿原)	
L. 大森 一道 (釧路みなど)		L. 島 孝治 (根室)	
L. 綿貫 裕介 (釧路みなど)		L. 松原 臣 (羅臼)	
L. 井田 正昭 (釧路みなど)		L. 久保田 康央 (釧路ぬさまい)	
L. 相原 幸雄 (釧路みなど)		L. 新谷 誠治 (中標津)	
L. 浅野 一弘 (釧路みなど)		L. 松尾 典彦 (釧路ゆうやけ)	
L. 浅野目 充 (釧路みなど)		大会事務局員	
L. 熊谷 明男 (釧路みなど)		伊藤 恵美	
L. 小原 修幸 (釧路みなど)		大会事務局長	
		L. 古谷 龍彦 (釧路ぬさまい)	
		大会事務局次長	
		L. 青木 秀史 (釧路ぬさまい)	
		大会事務局次長	
		L. 阿部 将和 (釧路ゆうやけ)	
		大会会計	
		L. 大津 幸三 (釧路みなど)	
		大会会計監査委員	
		L. 淋代 靖人 (根室)	
		L. 小野 哲也 (羅臼)	

大 会 部 会	部会名		部会長	副部会長
	総務	総務・登録 宿泊・売店	L. 青木 秀史 (釧路ぬさまい)	L. 村岡 正次 L. 前田 益夫 L. 有田 高行 L. 山吉 行雄
	大会記念誌		L. 残間 和義 (釧路湿原)	L. 川田 雄一 (釧路湿原)
	式典	企画・運営・受付 会場設営・接待 救護・駐車場	L. 阿部 将和 (釧路ゆうやけ)	L. 合林 拓郎 (釧路ゆうやけ)
	晚餐会	企画・運営・ 会場設営	L. 長谷川 伸 (釧路)	L. 藤井 芳和 (釧路)
	ゴルフ	企画・運営・ 表彰	L. 斎藤 昇一 (標茶)	L. 小林 浩 (標茶)

【議案第 11 号】

第 72 回地区年次大会委員長アワード（案）

1. 本登録第 1 号賞
2. 最多登録クラブ賞（ホストクラブ除く）
3. ライオンレディ最多登録賞
4. 登録最年長参加賞
5. 本登録第 72 号賞

【議案第12号】

ライオンズクラブ国際協会331-B地区 第72回地区年次大会 代議員総会プログラム(案)

日 時 2026年5月23日(土)

場 所	釧路市生涯学習センター まなぼっと
※ガバナー及び第一及び第二副地区ガバナーの信任投票受付	12:00 ~ 13:00
代議員登録受付	12:00 ~ 13:00
資格審査・議事運営・指名選挙・決議正副委員長会議	12:15 ~ 12:45
代議員総会	13:00 ~ 13:20
代議員分科会	13:30 ~ 14:10
代議員再開総会	14:20 ~ 14:50
大会式典登録受付	14:00 ~ 15:00
大会式典	15:10 ~ 17:00

【代議員総会】

司 会	大会副幹事	L. 大森 一道
1. 開会宣言	大会議長	L. 大島 尚久
2. 役員紹介	大会副幹事	L. 大森 一道
3. 大会議長挨拶	大会議長	L. 大島 尚久
4. 代議員資格審査結果報告	資格審査委員長	L. 大島 尚久
5. 大会議事規則及び議事運営説明	議事運営委員長	L. 木村 宏幸
6. ガバナー及び第一及び第二副地区ガバナーの信任投票	指名選挙委員長	L. 櫻井 正人
7. 決議委員会の構成について説明	決議委員長	L. 村山 聰

【分科会審議】

【代議員再開総会】

8. 代議員総会再開宣言	大会副幹事	L. 大森 一道
9. 信任投票開票結果報告	指名選挙委員長	L. 櫻井 正人
10. ガバナー及び第一及び第二副地区ガバナー当選者の宣言	大会議長	L. 大島 尚久
11. 各分科会決議答申	決議委員長	L. 村山 聰
12. 採決	大会議長	L. 大島 尚久
13. 地区ガバナーエレクト紹介	大会議長	L. 大島 尚久
14. 第一副地区ガバナーエレクト紹介	大会議長	L. 大島 尚久
15. 第二副地区ガバナーエレクト紹介	大会議長	L. 大島 尚久
16. 閉会宣言	大会議長	L. 大島 尚久

【議案第13号】

ライオンズクラブ国際協会331-B 地区

第72回地区年次大会

代議員総会 運営委員会構成(案)

大会議長	地区ガバナー	L. 大島 尚久	大会顧問	地区名誉顧問会議長	L. 中谷 宣巨
大会副議長	第一副地区ガバナー	L. 広瀬 寛人	大会顧問	地区名誉顧問会	L. 伊東 隆志
大会副議長	第二副地区ガバナー	L. 柳澤 豊	大会顧問	地区名誉顧問会	L. 藤原 回向
大会副議長	前ガバナー	L. 伊東 隆志	大会顧問	地区名誉顧問会	L. 阿部 昭
大会幹事		L. 木村 宏幸	大会顧問	地区名誉顧問会	L. 香川 俊雄
大会会計		L. 大津 幸三	大会顧問	地区名誉顧問会	L. 奥山 壽雄
			大会顧問	地区名誉顧問会	L. 山田 正昭
			大会顧問	地区名誉顧問会	L. 佐藤 信雄
			大会顧問	地区名誉顧問会	L. 井ノ浦義明

委員会	委員長	副委員長	委員・◎司会○記録(設営・案内)
資格審査	地区ガバナー L. 大島 尚久	地区会計 第1R 第1Z・Z C L. 渡部 候司 第1R 第2Z・Z C L. 長谷川松美	◎大会副幹事 L. 大森 一道
議事運営	大会幹事 L. 木村 宏幸	第3R 第1Z・Z C L. 大熊 秀之 第5R 第1Z・Z C L. 関東 正浩 第5R 第2Z・Z C L. 伊藤 光隆	○大会副幹事 L. 綿貫 裕介
指名選挙	G S T コーディネーター L. 櫻井 正人	第4R 第1Z・Z C L. 橋本 修司 第4R 第2Z・Z C L. 佐々木隆博 第4R 第3Z・Z C L. 岡谷 繁勝	
決議	G E T コーディネーター L. 村山 聰	G L T コーディネーター L. 小路 泰孝 第2R 第1Z・Z C L. 佐藤 利博 第2R 第2Z・Z C L. 田中 香織	

【議案第14号】

ライオンズクラブ国際協会331-B地区

第72回地区年次大会

決議委員会・分科会構成 (案)

【第一分科会】

分科会	委員長	副委員長	委員・◎司会○記録	顧問
会計	地区G L T コーディネーター L. 小路 泰孝	大会会計 L. 大津 幸三 会則・コンブライанс委員長 L. 高橋 哲也 献血・献眼・ 薬物防止委員長 L. 斎藤 修嗣 第1R第1Z・Z C L. 渡部 候司 第1R第2Z・Z C L. 長谷川松美 地区W Y P T コーディネーター L. 木下 裕幸	◎大会副幹事 L. 大森 一道 ○会則・コンブライанс 副委員長 L. 西池 聰 献血・献眼・ 薬物防止副委員長 L. 宮北 晃悦	L. 中谷 宣巨 L. 奥山 壽雄 L. 山田 正昭 L. 佐藤 信雄
会則・ コンブライанс				
献血・献眼・ 薬物防止				

【第二分科会】

分科会	委員長	副委員長	委員・◎司会○記録	顧問
長期計画リサーチ	長期計画リサーチ委員長 L. 伊東 隆志	大会幹事 L. 木村 宏幸 国際大会・国際協調・ LCIF委員長 L. 石田健太郎 オセアルフォーラム特別 委員長 L. 杉本 隆英 アラート委員長 L. 浅野 敬一 第2R第1Z・Z C L. 佐藤 利博 第2R第2Z・Z C L. 田中 香織 第3R第1Z・Z C L. 大熊 秀之	◎大会副幹事 L. 綿貫 裕介 ○国際大会・国際協調・ LCIF副委員長 L. 佐々木良吉 オセアルフォーラム特別 副委員長 L. 島 孝治 L. 佐藤 邦彦 L. 寺中 賢武	L. 香川 俊雄 L. 井ノ浦義明
国際大会・国際 協調・LCIF				
オセアルフォーラ ム特別				
アラート				

【第三分科会】

分科会	委員長	副委員長	委員・◎司会○記録	顧問
レオ・青少年	地区GMT コーディネーター L. 矢吹 定夫	レオ・青少年委員長 L. 藤井 芳和 Y C E 委員長 L. 小野寺一史 M・I T 委員長 L. 棚田 欣也 平和ポスターコンテスト 委員長 L. 吉岡 幸二 第4R第1Z・Z C L. 橋本 修司 第4R第2Z・Z C L. 佐々木隆博 第4R第3Z・Z C L. 岡谷 繁勝 第5R第1Z・Z C L. 関東 正浩 第5R第2Z・Z C L. 伊藤 光隆	◎大会副幹事 L. 小原 修幸 ○大会副幹事 L. 浅野目 充 レオ・青少年副委員長 L. 清野 芳明 Y C E 副委員長 L. 佐藤 豪一 M・I T 副委員長 L. 舟山 和宏 L. 馬場 英樹 平和ポスターコンテスト 副委員長 L. 松並 正幸	L. 阿部 昭 L. 藤原 回向
Y C E				
M・I T				
平和ポスター コンテスト				

【議案第15号】

ライオンズクラブ国際協会331-B地区

第72回地区年次大会

代議員推薦名簿

第	R・第	Z	1月末現在会員数	名
クラブ名		LC		
会長署名			貴クラブ代議員数	名

下記の会員は、当クラブにおいて正式に指名され任命された代議員及び補欠の代議員であり
それぞれ下記の決議委員会(分科会)に派遣することを推薦いたします。

分科会所属代議員氏名

[第一分科会] 会計 会則・コンプライアンス 献血・献眼・薬物防止	代議員			
	補欠			
	オブザーバー			
[第二分科会] 長期計画リサーチ 国際大会・国際協調・LCIF オセアルフォーラム特別 アラート	代議員			
	補欠			
	オブザーバー			
[第三分科会] レオ・青少年 YCE M・IT 平和ポスターコンテスト	代議員			
	補欠			
	オブザーバー			

クラブ代議員以外の有資格者(現地区ガバナー、前・元地区ガバナー)

ご氏名	
ご氏名	

※貴クラブの控えは、コピーをお願い致します。

※代議員の分科会の所属が変更になる場合もありますのでご了承ください。

返信日 2026年 月 日

締切日:2026年3月19日(木)厳守

【議案第 16 号】

防災準備交付金申請書

【一般情報】

- ・申請日：2025年2月16日
- ・事業が行われる場所：北海道釧路市、根室市、釧路町、白糠町、標茶町、羅臼町、中標津町（北海道道東地区2市5町）
【関係クラブ】釧路LC、白糠LC、標茶LC、釧路みなとLC、釧路湿原LC、根室LC、羅臼LC、釧路ぬさまいLC、中標津LC、釧路ゆうやけLC
- ・申請金額：\$ 12,720
- ・申請地区：331-B

【事業の説明、目標および目的】

1. 地区における自然災害の歴史はどのようなものですか？これまでの自然災害の頻度と深刻度をご記入ください

北海道の道東地区は、日本列島の中でも地震やそれに伴う津波の発生リスクが高く、過去に甚大な被害を経験しています。また、大雨による水害や冬の暴風雪も発生しています。

（自然災害の主な種類、頻度、深刻度）

道東地区における主な自然災害とその特徴は以下の通りです。

① 地震と津波

千島海溝や日本海溝沿いでは、大規模なプレート境界型地震が繰り返し発生しており、道東地区はその影響を強く受けています。

・頻度：歴史的に見ると、十勝沖や根室沖では数十年に一度の頻度でマグニチュード 8 クラスの巨大地震が発生しています。

・深刻度：1993年釧路沖地震（M7.5）：釧路地方を中心に家屋損壊などの被害が発生しました。2003年十勝沖地震（M8.0）：十勝地方を中心に大きな被害をもたらし、広範囲で停電なども発生しました。

釧路・道東沖では、今後 30 年以内に M8～8.6 程度の十勝沖地震（発生確率 20%程度）や M7.8～8.5 程度の根室沖巨大地震（発生確率 80%程度）、さらには M8.8 以上の超巨大地震（30 年以内確率 7～40%）が発生する可能性があり、特に千島海溝沿いの巨大地震による大津波への警戒が重要で、釧路市においては人的被害想定が市民の半数の 77,000 人に及び、自治体も防災対策を強化しています。地盤が軟弱な地域も多く、地震・津波対策が切迫している状況です。

【千島海溝巨大地震の被害想定】

[北海道庁による被害想定](#)

[北海道大学教授のレポート](#)

・津波被害：地震発生時には津波のリスクが非常に高く、過去の地質学的記録からも壊滅的な津波が繰り返し襲来していたことが分かっています。天保 14 年（1843 年）の根室南方沖地震津波や、チリ地震津波（1960 年）なども被害をもたらしました。

② 風水害（台風・豪雨）

・頻度：台風が勢力を保ったまま接近することは稀ですが、北上する過程で温帯低気圧に変わった後や、停滞前線の影響で集中豪雨が発生することがあります。

・深刻度：1981 年（昭和 56 年）8 月の洪水（56 水害）：台風 12 号と 15 号の影響による記録的な豪雨で、十勝川流域などで甚大な氾濫被害が発生しました。

③ 冬期の災害（豪雪・暴風雪）

北海道特有の冬の厳しい気象条件も重要な災害要因です。

・頻度：ほぼ毎年、冬型の気圧配置が強まる時期に発生します。

・深刻度：記録的大雪や暴風雪は、交通網の寸断、長時間の停電、特に道東地域では、吹き溜まりによる影響も大きくなることがあります。

④ 火山噴火

道東には複数の活火山が存在します（例：雌阿寒岳、摩周湖周辺など）。

・頻度：大規模な噴火は稀ですが、有史以来、噴火活動は続いています。

・深刻度：噴火が発生した場合、降灰による広範なインフラ被害や、避難生活の長期化が懸念されます。

2. 地区内のライオンズクラブ及び、その他の地域組織の既存の緊急計画をご説明ください。事業の対象地域におけるこれまでの救援活動にライオンズクラブが関与したことがあれば、それについてご説明ください。

道東地区の 10 ライオンズクラブは、災害時に地方自治体や社会福祉協議会との連携をスムーズにするため「災害時における福祉・ボランティア活動支援に関する相互連携協定」の締結を進めしており、主に資機材の提供、ボランティアセンターの運営支援、緊急物資の配布などの、救援活動を計画しています。また、331-B 地区アラート委員会では、66 クラブ全てに 1 名ずつアラート委員を設置し、災害時に迅速に対応出来るようにしています。

他の地域組織については、それぞれ独自の緊急計画に乗っ取り、防災訓練等を行っています。ライオンズクラブは相互応援協定に基づき対応します。

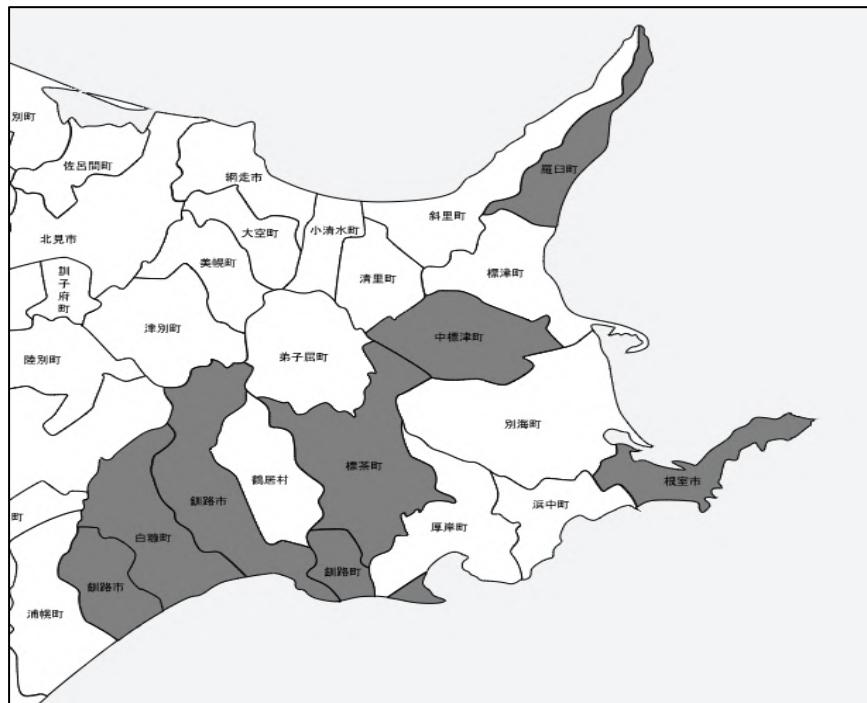
国土交通省の防災訓練

対象地域における、これまでの救援活動にライオンズクラブが関与したことはありません。

3. 防災準備を支援するライオンズの行動計画について概説してください

a. 防災準備活動の対象となる地理的地域を明記してください

① 釧路市② 釧路町③ 白糠町④ 標茶町⑤ 中標津町⑥ 羅臼町⑦ 根室市
道東地区 10 ライオンズクラブのある 2 市 5 町



b. 推定される受益者数は何人ですか？

- ・段ボールベッドによる受益者 80 人
- ・トイレによる受益者 30 人収容の避難所に 2 セットを 50 か所 750 人
- ・段ボールベッドによる組み立ての実習
30 人の小学生に 10 か所で訓練 300 人

合計で 1130 人（ただし避難所に人数により多寡がある）

c. 事業はどのようなスケジュールで実施されますか？

- 12月下旬 各クラブから自治体に説明。
各クラブにマッチング資金提供と金額の確認
- 1月中旬 各自治体に希望する品目と数の確認
- 1月下旬 品物の見積と自治体の保管場所について確認
- 2月上旬 キャビネット会議で審議
- 3月末 各自治体の保管場所について実地検分
- 4月末 最終確認と発注
- 5月 2市5町に贈呈式
- 6月中旬 納品後、保管場所の確認
段ボールベッドの組み立て訓練を隨時小学校等で実施

d. その事業は地域社会全体の緊急・防災準備体制にどのように組み込まれますか？

各自治体の保管場所に備蓄し防災体制を整える一助とする

e. 他に参加する組織があれば、背景情報を提供し、事業を支援するその役割についてご説明ください。

防災士ネットワークが行う段ボール組み立て訓練やトイレの使用方法についての防災訓練に協力し防災準備態勢を整える

f. 特にこの事業では、ライオンズやLCIFの貢献であることがどのように表示されますか？

年次大会で2市5町の各市長、町長をお招きし寄贈式を行う予定です。

2市5町の新聞社に記事の掲載をお願いするとともに、釧路根室管内の各自治体に寄贈するため各自治体の広報誌に大きく取り上げていただくよう働き奉仕のインパクトをアピールする。

LCIF交付金事業という、ラベルを作成し物品に一つずつ貼る。

【事業予算】

収入 (1 \$ 157 円)			支出 (1 \$ 157 円)		
資金源	金額 \$	備考	経費項目	金額 \$	経費に関する説明
釧路 LC	318	50,000 円	1 釧路市	5,088	簡易ベッド、トイレ他、送料
釧路みなと LC	318	50,000 円	2 釧路町	1,272	簡易ベッド、トイレ他、送料
釧路ぬさまい LC	318	50,000 円	3 白糠町	1,272	簡易ベッド、トイレ他、送料
釧路ゆうやけ LC	318	50,000 円	4 標茶町	1,272	簡易ベッド、トイレ他、送料
釧路湿原	318	50,000 円	5 根室市	1,272	簡易ベッド、トイレ他、送料
白糠 LC	318	50,000 円	6 中標津町	1,272	簡易ベッド、トイレ他、送料
標茶 LC	318	50,000 円	7 羅臼町	1,272	簡易ベッド、トイレ他、送料
根室 LC	318	50,000 円			
中標津 LC	318	50,000 円			
羅臼 LC	318	50,000 円			
LCIF	9,540	見込み			
合計	12,720		合計	12,720	

【申請書の承認】

- ・第3回キャビネット会議 議事録を添付します。

- ・地区ガバナーの署名

ここに、私がLCIF防災準備交付金の交付基準と交付金申請書を確認したことを証明します。私の知る限り、ここに提示された情報は正確であり、記述された通りの必要が存在します。私は、本申請書を承認するとともに、資金が交付された場合には、交付金管理責任者として、確実にその資金が適正かつ効果的に使用され、正当な会計処理、ならびにライオンズクラブ国際財団への定期的な報告が行われるよう、全力を尽くします。

地区ガバナー氏名 :	大島 尚久	地区名 :	331-B 地区
住 所 :	北海道釧路市中島町 6-25		
電話番号 :	0154-68-5647	FAX番号 :	0154-68-5648
Eメール :	kushirocab331b@marimo.or.jp		
署名	Oshima Naohisa	日付	

第三回キャビネット会議 提出議案

議案・提案・質問 無し

各コーディネーター
各委員会 報告



地区GMTコーディネーター報告

L. 矢吹定夫

各ライオンズクラブに「会員拡大」を目的として「SWOT分析」「会員動向集計表」「行動計画」等の作成をお願いし実行して頂きました。

- ① 「SWOT分析」は、各クラブの強み、弱み、機会、脅威を把握していただき今後のクラブ運営に役立てください。
- ② 「会員動向集計表」は、各クラブの年齢構成、会員種別、女性会員等の情報をライオンポータルより抽出している為、正確な入力を入力管理者（事務局員等）にお願いします。（生年月日、姓名の漢字入力等）
- ③ 「行動計画」の作成は、全会員に依頼し現在も進行中であり、各ゾーン・チェアパーソンに取りまとめをお願いしているところであります。

「会員拡大」は、クラブ会員が暮らしている地域の社会奉仕活動を目的とした仲間を増やし、生涯の友人を作り、個人としての成長や仕事に活かせる経験をする為にも必要不可欠です。

より良い地域のニーズに合ったアクティビティ（奉仕活動）を考案し実行する為には、若い力が必要です。

まずは、自分の所属するクラブの「会員拡大」をお願い致します。

地区GETコーディネーター報告

L. 村山聰

昨年は、ゾーン・チェアパーソン、ゾーン委員を始め、各クラブ役員の皆さんには、会員増強に向けた取組についてご協力を頂きありがとうございました。

引き続き継続していただき、下期には結果を出していかなければならぬと思っていますのでよろしくお願ひします。

現在の状況ですが、第4R第2Zに於いてWEBクラブ結成に向けて行動をしているところであります。この地域で20名の人材を確保するには厳しいところでは有りますが、現在内諾を頂いているメンバーを中心に拡大していきたいと思っております。今月には2回目目の懇談説明会を開催し、さらに新しいメンバーを見つけていきたいと思います。また、先月には名寄大学に訪問をさせていただき、家村学長にキャンパスクラブの説明をさせていただき協力をお願いしてきました。併せてスペシャルオリンピックス北海道の阿部雅司理事長に名寄大学SOサークルを中心にスペシャリティークラブのお願いをしているところであります。

また、佐々木ZCには土別LCに幌加内支部結成に向けて取組をしていただいているところであります。

いずれにいたしましても中々厳しい状況では有りますが、下期に於いては結果を出していきたいと思いますので、ご協力頂きますようよろしくお願ひいたします。

地区G L Tコーディネーター報告

L. 小 路 泰 孝

日々ライオンズクラブにおける奉仕活動、キャビネット業務に、ご尽力を賜り誠にありがとうございます。

釧路キャビネットの地区G L Tコーディネーターとして半期が経過し、目標としておりました、ライオンポータルの推進とセミナーの開催につきまして、皆様のご支援とご助力を頂きながら、少しずつ前に進んでおります。

昨年は、オセアルフォーラム札幌での、ライオンポータルセミナーに参加し、また11月26日には、Lion Portal アップデートについて、ウェビナーにて理解を深める中、ポータル内の未整備や、機能の不便さは多々感じており、更なる機能向上を期待している状況でありますが、ライオンポータル会員全員取得に向けて、皆様への更なるご利用をお願い申し上げます。

さて次にG L Tセミナーについてですが、既に各クラブへご案内をさせて頂いておりますが、Z o o mにて3月7日（土）開催を予定しており、準備を進めております。講師には、元国際理事の濱野ライオンをお招きし、クラブ活性化やリーダーシップ等の講話をいただく予定でございます。

地域のリーダーである各クラブの三役、及び第一副会長をはじめ、今後のリーダーを目指されている会員の皆様が対象になっておりますが、Z C、Z 委員はもちろんのこと各コーディネーター、各委員長の皆様も、是非、ご参加をお願い申し上げます。

残りの半期も331-B地区活性化のため、獅子奮迅の勢いで活動していく所存でございますので、さらなるご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

地区G S Tコーディネーター報告

L. 櫻 井 正 人

半期が過ぎ大島ガバナーのもと、7月からスタートしました献血250万ml キャンペーンも半年が過ぎ12月末現在で1,510,629mlとなり目標まで約100万mlとなっています。達成まで改めてご協力お願い致します。

次に薬物乱用防止教育講師養成の講座の件ですが、昨年の11月29日に終了しております。今回は釧路の会場と初めてのZOOMでの開催ではございましたが、特別大きな事故もなく無事に終了することができました。これもひとえに、この認定講座に携わって頂いた関係者の皆様、そして早くから準備をし、段取りして下さった斎藤委員長、宮北副委員長をはじめとするキャビネット構成員の方々のおかげだと感じております。ありがとうございました。

次に、環境保全に関わる事業の推進で、今期地区シェアリング交付金を活用して小学生を対象に海洋プラスチックゴミ問題の授業を地区内の3か所（留萌、網走、釧路）で行っております。

すでに授業は昨年の9月にて終了しておりますが、その授業内容をDVDに録画し331-B地区内の小学校に配布し海洋プラスチックゴミ問題に早い段階で関心を持っていただきたいと思い取り組んでいます。1月現在ですがDVDの制作は90%以上終わっております。完成次第地区内の小学校にお届けできるように段取りをしていきたいと思っています。

最後に、中古眼鏡リサイクル事業の件ですが1月現在で1,147個集まっています。第4回のキャビネット会議まで集めますので各クラブに声掛け等をして頂き回収に引き続きご協力よろしくお願ひいたします。

地区LCIFコーディネーター報告

L. 坂 本 齊

皆さま、こんにちは。LCIFコーディネーターの坂本です。

上半期のLCIF寄付金は、地区目標15万ドルに対し11万ドルを超えるという、大変嬉しい成果となりました。LCIFスタンドや懇親会での温かいご寄付、各クラブの皆さまの継続的なご協力、そして地区シェアリング交付金・クラブシェアリング交付金を上手に活用していただいたことが、この成果につながっております。また、シェアリング交付金事業やレオクラブの活動が、地域の子どもたちに奉仕の心を広げる大切な機会としてしっかりと根付いてきていることも、非常に心強く感じております。

地区運営の中では、クラブ周年事業とLCIF寄付の組み合わせ、地区チャリティボウリング大会、そしてクリスマス例会や新年会での寄付促進など、各クラブの皆さまが前向きに取り組んでくださり、心より感謝申し上げます。地区全体で寄付推進の流れが着実に広がっていることを実感しております。

下半期に向けましては、寄付推進の取り組みをさらに進めるとともに、次世代への意識づくりにも力を入れてまいります。日頃よりご尽力いただいているZC・Z委員の皆さまに改めて感謝申し上げ、大島ガバナー、広瀬第一副地区ガバナーのご指導のもと、引き続きLCIFと地区の発展のために努めてまいります。

地区WYPTコーディネーター報告

L. 熊 谷 一 行

今期WYPT副コーディネーターを務めさせて頂いております、標茶LC所属L.熊谷一行です。

女性会員の入会の状況ですが、12月までの半期で14名の入会が有りました。各LC1名以上の女性会員増強の達成に向けて、入会の可能性のある方のリスト作りや勧誘活動を、再度粘り強

く続けて頂きたいと思います。女性会員拡大アワードは、女性会員の勧誘活動で、顕著な成果を挙げたクラブ会長が表彰されます。具体的には、期間内（2025年10月6日～2026年2月28日と2026年3月1日～6月30日の2回に分けて）で、ゴールド・ピンでの表彰が5名以上、シルバー・ピンが3～4名、ブロンズ・ピンが1～2名の女性会員入会のクラブ会長が表彰されます。

HD1000ですが、実績全体の過半数を北見白樺LCさんが占めていますが、1R・2R・3R・4R・5Rと331B地区全体に活動実績が広がってきています。各地域のLC会員以外の方にも、小児ガン患者への支援活動であるHD1000を知って頂くためにも、地域の美容室等にHDキットを確実に配布して頂きたいのと、掲示用ポスターも各クラブに配布しましたので、更なる広報活動をお願い致します。

長期計画リサーチ委員会

委員長 L. 伊 東 隆 志

謹賀新年

皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、大島ガバナーよりお受けしました次の諮問事項3点につきまして、そろそろ答申書を提出していきたいと考えております。

1. 副ゾーン・チェアパーソン制について
2. キャビネット事務局 事務員の固定化について
3. ガバナー候補の発掘（特に3リジョン）

この3点について、大島ガバナーに答申書を取りまとめてまいりますので、よろしくお願ひいたします。

地区大会委員長

委員長 L. 高瀬 力

第72回地区年次大会 本登録を1月9日に全クラブに通知いたしました。〆切は2月27日（金）となっておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。また、大会記念バッジも合わせて、購入のお願いをいたしました、例年通り、抽選番号を付けて抽選を行いますので、たくさんの購入をお願い致します。

最後にホストクラブ・各部会で大会に向けて万全を期すよう準備を進めておりますので、多数のL・L Lのご登録をお願い申し上げます。

会則・コンプライアンス委員会

委員長 L. 高橋 哲也

コンプライアンス規定については、引き続き 331 複合地区におけるコンプライアンス委員会において、日本ライオンズ会則委員会で作成された、規定案に沿って 331 複合地区に合うように改定して作成中であります。

331 複合地区での年次大会で決議をいただくべく、第 3 回ガバナー協議会に上程し、決議をいただく予定であります。

国際大会・国際協調・LCIF 委員会

委員長 L. 石田 健太郎

国際大会について、すでにご案内している通り、第 108 回目の国際大会は香港で 7/3 (金) ~ 7/7 (火) の日程で行われる予定です。公式行事会場は「アジアワールド・エキスポ」です。大会スケジュールも国際協会のホームページに載っていますのでご参照ください。早期登録期間は終了しましたが登録は随時行っていますので引き続き多くのライオンの登録をお願いすると共に、現地で新しいガバナー誕生をお祝いしましょう。

LCIF について、チャリティボウリング大会のご案内をしておりましたが、2025/12/31 時点の集計で約 30 名のライオンにご参加いただいております。まだまだ各リジョンやクラブで計画されていると思います。キャビネットで集計しておりますのでボウリング大会終了後は速やかにキャビネットまでご連絡をお願いします。また、4/4 (土) に複合の決勝大会も予定されております。多くのライオンのご参加よろしくお願ひいたします。

献血・献眼・薬物防止委員会

委員長 L. 齋藤 修嗣

・献血 250 万 ml の報告ですが、櫻井コーディネーターから報告があった通り、あと 100 万 ml となりましたので、引き続きよろしくお願ひいたします。

・11/29 開催の薬物乱用防止教育認定講師養成講座についてですが、登録数、会場 43 名、ZOOM 参加 12 ヶ所が 54 名、当日欠席 8 名で合計 89 名の講師が認定されました。地域の小中学校で講師としての活躍を期待しております。引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。

YCE委員会

委員長 L. 小野寺一史

YCE 委員会からは 2026 夏期 YCE 事業について 12 月末現在の決定事項及び、派遣、来日生募集等の状況のご報告および、ホストファミリー募集のご協力お願いでございます。

1. 来日生について

12 月末現在、MD331 地区には、スイス 3 名、スペイン 4 名、フィンランド 4 名、ハンガリー 1 名、フランス 2 名、計 14 名の受け入れ要請があります。

したがって、昨年同様 B 地区で 4 名～5 名の受入体制を整えなくてはなりません。

2. 派遣生募集について

12 月末現在、331-B 地区から釧路みなとライオンズクラブ、土別ライオンズクラブの 2 クラブから 2 名の派遣を予定しており、現在派遣国の選定の手続きを進めています。新たに派遣希望の生徒がおられるクラブは、3 月 20 日ごろ応募締切の国が大半ですのでお急ぎ各リジョンの YCE 委員までご連絡をお待ちしております。

3. 2026 夏期 YCE 事業日程について

(1) 第 1 ファミリーステイ : 2026 年 7 月 11 日 (土) ~7 月 18 日 (土) まで

(2) YCE サマーキャンプ

開催期間 : 2026 年 7 月 18 日 (土) ~7 月 23 日 (木) まで

開催場所 : JICA 札幌 (AC 完備宿泊研修施設) 予約済

(3) 第 2 ファミリーステイ : 2026 年 7 月 23 日 (木) ~8 月 1 日 (土) まで

M・I・T 委員会

委員長 L. 模田 欣也

当委員会で作成いたしますエコー誌は、8 月、10 月、2 月号と発行を終え、現在 4 月号の準備をしています。引き続き、各クラブの活動報告、キャビネット行事など、明るく楽しく掲載させて頂きますので、ご協力をよろしくお願いいたします。あと、年次大会のガバナーズアワードの一つに情報活動賞 (例会会報誌等) がございます、会報誌の審査は 3 月に行いますので、例会会報誌をキャビネットまでお送りください。どうぞよろしくお願いいたします。

オセアルフォーラム特別委員会

委員長 L. 杉 本 隆 英

オセアルフォーラム札幌の最終人数の報告をいたします。

331-B 地区は 35 地区の中で 2 番目に多い登録でした。ご協力ありがとうございました。

【全体人数】

【日本の内訳】

1. フォーラム登録数 [10月25日 17時時点]

Dist.204	(グアム、北マリワナ諸島など)	27
MD300	(台湾)	850
MD301	(フィリピン)	254
Dist.303	(中国・香港、マカオ)	134
MD308・309	(シンガポール、マレーシア、ブルネイ)	144
MD310	(タイ)	102
MD330-337	(日本) * MD 別内訳不明	6940
MD354-356	(韓国)	1471
MD380-383		354
MD385-389	(中国・深圳、広東、大連、青島、北京、浙江、瀋陽、陝西)	
	(モンゴル)	16
その他	(米国、パキスタン、バングラデシュ、インド、ブルネイ、イスラム、エクアドル、オーストラリア、コンゴ、スリランカ、ネパール、キプロス、レバノン・LCI ほか)	70
		10471

フォーラム登録数

		MD合計
MD330	330-A	262
	330-B	329
	330-C	157
MD331	331-A	1,355
	331-B	403
	331-C	217
MD332	332-A	101
	332-B	107
	332-C	37
	332-D	157
	332-E	61
	332-F	40
MD333	333-A	133
	333-B	82
	333-C	125
	333-D	77
	333-E	287
MD334	334-A	200
	334-B	185
	334-C	232
	334-D	219
	334-E	181
MD335	335-A	125
	335-B	234
	335-C	276
	335-D	243
MD336	336-A	94
	336-B	115
	336-C	146
	336-D	146
MD337	337-A	182
	337-B	84
	337-C	116
	337-D	58
	337-E	61
GUEST		38
TOTAL		6,865

次回オセアルフォーラムは、2026年11月12-15日

マレーシア・ペナンです。ご参加のほどよろしくお願ひいたします。

平和ポスターコンテスト委員会

委員長 L. 吉 岡 幸 二

平和ポスター委員会のご報告申し上げます。89枚のポスターが集まり、最優秀賞1点、優秀賞5点、佳作10点の選考をいたしました。今回、残念ながら331複合の代表には、選ばれませんでした。応募された作品は、年次大会で全ての作品を掲示し、合わせて受賞の発表をしたいと思います。

アラート委員会

委員長 L. 浅 野 敬 一

北海道、東北三陸沖地震が発生しました。東北では震度6強という強い地震が発生し、その後も地震が続きました。被害状況につきましては、他の地区からの支援を要請するほどのものではないとの報告を受けております。

しかし、いつ大きな地震が来るか全くわからない状況が日本では続いております。

アラート委員会としましては、連絡網を密にし、災害時の状況把握を迅速に収集できるよう取り組んでおります。

まずは自分自身や親族の身を守り、避難経路等日頃から確認をお願いします。

特に沿岸地域におきましては、大規模地震による津波、火災、停電時の防災意識を高めてください。

北海道においては、局地的な大雪に見舞われ、極寒の中停電が起こっております。

防寒対策に重点を置いて、日頃の備えをお願いいたします。

公益財団法人 日本ライオンズ特別委員会

特別委員長 L. 柳 澤 豊

今期で6年目になる、公益財団法人日本ライオンズですが、会員1人2,000円のお願いに対し現時点でB地区では、9クラブ(443,000円)の寄付をいただいております。

引き続きクラブへの周知をよろしくお願ひいたします。

參 考 資 料



(参考資料)

2025～2026 年度

331-B 地区献眼運動推進費積立金運用規程

この規程は地区内において、推進費積立金の適正且つ効率的運用を期すため、次の条項を設けるものである。

記

1. 委員会構成

積立金運用決定に当たるための委員会は、地区ガバナー、第一副地区ガバナー、第二副地区ガバナー、キャビネット幹事、キャビネット会計、地区献血・献眼・薬物防止委員長をもって構成し、委員長は地区ガバナーがこれにあたる。

2. 推進費積立金の支出

地区内の献眼運動に対する啓発活動及び広報活動、NPO 旭川医大アイバンクに対する財政支援などの中から、委員会の決議により採択する。

資金の使途及び金額は、その都度決定する。

3. 積立金運用報告

積立金の運用実施報告については、キャビネット会議において速やかに報告するものとする。

4. 監査

地区特別収入による暫定特別会計として、地区監査委員会の監査を受けるものとする。

5. 施行

本規程は地区キャビネットの任期に併せ、2025 年 7 月 1 日より施行する。



Lions Clubs International FOUNDATION

300 W 22ND STREET • OAK BROOK ILLINOIS 60523-8842 USA • 630.571.5466 • WWW.LCIF.ORG

2025年11月10日

地区ガバナー各位

地区LCIFコーディネーター各位

新しいシェアリング交付金 寄付レベルの枠組みについて

お世話になっております。地区およびクラブシェアリング交付金は、クラブが直接自らのコミュニティ奉仕事業のために申請し、使用することができる交付金を通じて地域コミュニティでのクラブ奉仕事業に力を与えるとともに、クラブにLCIFを身近に感じていただく目的で2018年に導入されたプログラムです。その申請件数は年々増加し、日本においても年間200件以上が申請されるプログラムになりました。

このプログラムをさらに有効に活用いただけるものとするため、LCIF理事会は以下の通りシェアリング交付金の可能資金となる寄付レベルの枠組みを変更いたしました。今年度(2025～2026年度)中(2025年7月1日～2026年6月30日)およびそれ以降に行われる寄付については、来年度以降、新たな寄付および交付レベルが適用されます。クラブまたは地区の寄付額が多ければ多いほど、交付金として申請できる金額も大きくなります。これまで通り、交付には、LCIFの承認が必要となります。

クラブ寄付額(年度中)

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| • US\$5,000～\$9,999.99の寄付 | 15%を交付金として利用可 |
| • US\$10,000～\$19,999.99の寄付 | 20%を交付金として利用可 |
| • US\$20,000以上の寄付 | 30%を交付金として利用可 |

地区寄付額(年度中)※US\$5,000未満のクラブ寄付は地区寄付に算入されます。

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| • US\$10,000～\$19,999.99の寄付 | 15%を交付金として利用可 |
| • US\$20,000～\$29,999.99の寄付 | 20%を交付金として利用可 |
| • US\$30,000以上の寄付 | 30%を交付金として利用可 |

シェアリング交付金を利用するための最低寄付額は、これまで通りクラブではUS\$5,000、地区ではUS\$10,000(一年度につき)です。交付金事業はLCIFの承認を受ける必要があり、「奉仕に力を」資金(用途無指定)への寄付のみが対象となります。災害指定された寄付は100%指定目的に使用されるため、シェアリング交付金資金の対象にはなりません。

よろしくお願いいたします。

ライオンズクラブ国際財団
LCIFTokyo@lionsclubs.org

LCIF-New DCG Framework
Notice.JA

WE CARE. WE SERVE. WE ACCOMPLISH.

釧路キャビネット ガバナー基本方針

地区ガバナー L. 大島 尚久

【 基 本 方 針 】

- ・新しい事業を開拓

地域が豊かになるための奉仕事業

- ・環境保全に関わる事業の推進

植樹の推進

海に面した地域では海洋プラスチックごみに関する研修会の開催
地区で一斉ごみ拾い日を決めて実施

- ・M1. 5実現への取り組み【ASK2の実践】

[新会員目標 330名 - 純増 20名 - 新クラブ 2]

新クラブを二つ結成

新入会員を増強して純増を達成し会員減少に歯止めをかける

メンターの育成

新会員の入会促進への仕掛けづくり

新しい会員の発想を取り入れる仕掛けづくり

- ・LCIFに対する取り組み [15万ドル]

チャリティーゴルフ、ボウリング、LCIF スタンドの開設

広く浅く多くのライオンにLCIFの意義を知ってもらい寄付を募る

- ・オセアルフォーラムの成功

参加したくなる、参加しやすい仕掛けづくり

- ・小児がんの子供たちへの支援【HD1000活動】

目標へアドネーション 1000 件

- ・献血促進活動の取り組み

献血 250 万 ml キャンペーン

- ・青少年育成に対する取り組み

レオクラブへの支援、YCEへの支援

- ・充実した例会の開催【4T活動】

楽しい！ためになる！頼りになる先輩を見つける！助け合える仲間を見つける！

- ・ライオンズ活動を通して仲間を作ろう【GGV作戦】

合同例会！ 合同事業！ 例会訪問の推進

- ・ライオンズクラブのすばらしさを発信【IPT活動】

いつもピンをつける！

SNSの利用

The logo of the Lions International organization, featuring a stylized 'L' inside a circle with the words 'LIONS INTERNATIONAL' around it.

2025-2026年度ライオズクラブ国際協会331-B地区キャラビネット組織表

前地区ガバナー	L. 伊東 隆志（北見）
地区ガバナー	L. 大島 尚久（釧路みなど）

地区	コードイネーター	地区	コードイネーター
地区 G M T	コードイネーター	L. 矢吹 定夫 (帯広平原)	L. 矢吹 定夫 (帯広平原)
副コードイネーター	L. 太田 好啓 (帯広平原)	L. 村山 聰 (名寄)	L. 村山 聰 (名寄)
地区 G E T	コードイネーター	L. 石田 十羽完 (名寄)	L. 石田 十羽完 (名寄)
副コードイネーター	L. 小路 泰樹 (留萌みなど)	L. 梅田 三樹 (留萌みなど)	L. 梅田 三樹 (留萌みなど)
地区 G L T	コードイネーター	L. 櫻井 正人 (釧路)	L. 櫻井 正人 (釧路)
副コードイネーター	L. 川人 正和 (釧路)	L. 川人 正和 (釧路)	L. 川人 正和 (釧路)
地区 G S T	コードイネーター	L. 坂本 寛人 (富良野)	L. 坂本 寛人 (富良野)
副コードイネーター	L. 広瀬 裕幸 (醸茶)	L. 木下 裕幸 (醸茶)	L. 木下 裕幸 (醸茶)
地区 L C I F	コードイネーター	L. 熊谷 一 行 (標茶)	L. 熊谷 一 行 (標茶)
副コードイネーター			
地区 W Y P T	コードイネーター		
副コードイネーター			

所属クラブ	
1R	L.渡 部 候 司 (鉄 路 湿 原)
2R	L.長 谷 川 松 美 (中 標 津)
3R	L.佐 藤 利 博 (当 麻)
4R	L.田 中 香 織 (堀 川 中 央)
5R	L.大 熊 秀 之 (音 更)
1L	L.橋 本 修 司 (羽 幌)
2L	L.佐 々 木 隆 博 (士 別)
3L	L.岡 谷 繁 勝 (稲 内 北 斗)
4L	L.闘 東 正 浩 (佐 呂 間)
5L	L.伊 藤 光 隆 (北 見 中 央)

地区 M I T・Y C E 委員	
第1R	L.松嶋 正幸 (中標津)
第2R	L.北橋 実(旭川大雪)
第3R	L.加藤 礼市(帯広中央)
第4R	L.東義幸(留萌萌木)
第5R	L.關東 事正浩(佐呂間)

地区大会委員会	
委員長	高瀬 力 (剣路ぬさまい)
大会事務局長	古谷 龍彦 (剣路ぬさまい)
大会事務局次長	青木 秀史 (剣路ぬさまい)
大会事務局次長	阿部 将和 (剣路ゆうやけ)

第二副地区ガバナー
L.柳澤 豊(留萌みなど)

YCE委員	正幸（中標津） 正完（旭川大雪） 市（帯広中央） 義幸（留萌みどり） 正浩（足見・足見）	グローバル 健康・環境 健康・病

【国際テーマ】

We Serve 我々は奉仕する	【国際会長メッセージ】
Lead to Serve, Serve to Lead	リーダーシップこそ奉仕、
奉仕こそリーダーシップ	地区ガバナー L. 大島 尚久
	【ガバナースローガン】



2025 – 2026

ライオンズクラブ国際協会
鉢川路キヤビネツ

〒085-0031 鋸路市中島町6番25号
TEL 0154-68-5647 FAX 0154-68-5648
E-mail: kushirocab3311@marimo.or.jp



We Serve

釧路キャビネット事務局

〒085-0031 釧路市中島町6番25号

TEL (0154) 68-5647・FAX (0154) 68-5648

E-mail: kushirocab331b@marimo.or.jp